

2023 政策学部 履修要項

同志社大学

同志社大学

17 5/6週(107日)

1月8日(月)	冬期休暇終了
8日(月)	成人の日(休日)
9日(火)	講義再開
23日(火)	創立者永眠の日
29日(月)	講義最終日
30日(火)	期末試験開始
2月12日(月)	振替休日(試験日)
17日(土)	期末試験終了
3月上旬	卒業可否通知
3月15日(金)	在学生成績通知(注3)
20日(水)	秋学期卒業式・学位授与式
21日(木)	
22日(金)	
31日(日)	
	秋学期終り

(注3) 成績通知日以降、翌年度4月の履修科目登録期間までに、先行登録期間が設定される。

	I	II	III	IV	V
授業時間	9:00～10:30	10:45～12:15	13:10～14:40	14:55～16:25	16:40～18:10
	VI	VII			
	18:25～19:55	20:10～21:40			

新入生のみなさんへ

私たちは、先を見通すことが難しい不透明な世界に生きています。AI 関連技術の急速な進歩、グローバル化による国境を越えた人・モノ・資金そして情報の移動によって、これまで人類が経験したことのない変化に直面しています。そのような社会が既に到来していながら「ネットで検索して、新しい情報をキャッチしていれば、どうにかなる」と高をくくっている新入生がいるかもしれません。しかし、それでは変化にただ振り回されるばかりで、自律的かつ自立的で、意味ある人生を歩むことができた、とその声を身近な人びとにすら悔いなく伝えることができないのではないのでしょうか。

変化の時代にあっては、先例に倣う仕草ではなく、国や地域のあり方や組織の戦略を主体的に変革していく「構想力」と「実践力」が求められます。構想力を身につけるためには、状況を的確に把握する分析力、常識に縛られずにアイデアを生み出す発想力、それを形にしていく論理的な思考力が重要です。そして、実践力を高めるには、多様な考えを持った人びととの間に信頼関係を築くコミュニケーション能力を磨くとともに、成功・失敗も含めた体験を重ねていくことが極めて重要となります。

政策学部のカリキュラムでは、学部が掲げる理想の人材を社会に輩出するために、バラエティ豊かな科目が用意されています。新入生のみなさんは、1 年次から 2 年次の春学期にかけては、政策学部での学びにおいて必要とされる基本的な知識や能力を身につけることを意識して科目を履修してください。そして、2 年次の秋学期以降は、多様な科目群の中から、自分自身の問題意識やキャリアイメージに合った科目を選択し、専門的かつ実践的な学びを提供する演習に参加して欲しいと思います。

政策学部では、多様な関心を持った学生に対して、それぞれが満足のいく形で学習計画を立てられるカリキュラムが提供されています。履修にあたっては、相当な自由を認めていますが、それは学生の一人一人が明確な目的意識をもって主体的に学習計画を立てることを前提にしています。目的意識のないまま漫然と履修していくと、雑多な科目を学んだだけに終わる危険性があります。大学において、科目の登録や履修はすべて学生の自己責任のもとで行われることになっています。履修要項に示された必要単位数、選択必修などの履修要件を満たさないと卒業が認定されません。新入生のみなさんは、この履修要項を何度も読み返して、自分自身にとって理想の学習計画を立ててください。加えて、政府と経済界は 2026 年春入社以降の就職活動について、専門性の高い人材確保のために従来の日程ルールの見直しに入っています。より高度の専門性を有する人材となるために、総合政策科学研究科への進学を念頭においた学習計画も考えてみてください。

みなさんの学生生活を実りあるものとし、社会にイノベーションを起こすような人材に育っていくように、政策学部としてもサポートしていきたいと思っています。

2023 年 4 月

政策学部長 柿本 昭人

政策学部

目指すべき人材(物)像、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー

〔目指すべき人材（物）像〕

政策学部政策学科は、社会諸科学相互の連携による学際的な知識や方法を学び、地域社会や国際社会における問題解決の中心で活躍できる基礎力を身に付けて、公的機関や民間企業などの政策や戦略の立案等において活躍する人材の育成を目指す。

〔DP（ディプロマポリシー）〕

＜学力の三要素・領域＞下記の資質・能力を備えた学生に学士（政策学）学位を授与します。

（知識・技能）

- ・地域社会やグローバル社会が直面する課題に対し、社会科学横断的な知識と具体的課題を客観的に調査・分析する技能を身につけ、学術的知見とエビデンスに基づいて本質を理解できる。

（思考力・判断力・表現力）

- ・学際的な知識や調査分析能力を生かし、地域社会やグローバル社会の課題を発見し解決する手段を考えられる。

（主体性・多様性・協働性）

- ・他者との対話や議論を通じて、自らを地域社会、グローバル社会の一員と考え、当事者意識をもって行動することができる。

〔CP（カリキュラムポリシー）〕

＜カリキュラム総説＞ DPでの資質・能力を備えるために、下記のカリキュラムを設けます。

（編成・運営方針）

- ・地域社会やグローバル社会が直面する課題の解決に貢献できる人物を育成するために、カリキュラムは選択科目Ⅰ～Ⅲを中心に構成され、切れ目のない少人数クラスと社会科学横断的かつ段階的な科目履修によって、専門的な学問的知見とエビデンスに基づく政策論を学ぶ。
- ・選択科目Ⅰでは、課題理解のための基礎知識・技能を（28単位）、選択科目Ⅱでは、多様な政策課題とそれらに対する専門的な知識と解決方法を学ぶ（64単位）。
- ・上記を補完・強化し、より幅広い視点を得るための授業科目を選択科目Ⅲに配す。

<学力の三要素・領域>

(知識・技能)

- ・選択科目Ⅰのうち、初年度オリエンテーション科目（4単位）では、少人数クラスで大学での学習・研究や社会との関わりを学ぶ一方、様々な政策課題を扱う講義科目により、政策課題の多様性と課題解決のためのアプローチの多様性を学ぶ。
- ・選択科目Ⅰのうち、1年次の受講を想定している基礎科目は、選択必修科目である。行政・政治、法律、経済学、組織論関連の四分野8科目中、6科目（12単位）以上を履修することが必須とされており、すべての学生が社会科学の各分野を幅広く学ぶ。
- ・選択科目Ⅰのうち、1年次から2年次にかけて履修することが想定されている導入科目では、社会科学の幅広い分野のやや進んだ内容を学び、知識と考え方を高める。
- ・1年次秋学期と2年次春学期には、基礎能力養成科目（アカデミック・スキル）を履修する。少人数のクラスで実施され、社会調査、データ分析、議論の仕方、プレゼンなど、地域社会やグローバル社会の問題発見と解決のために必要な能力を身につける。

(思考力・判断力・表現力)

- ・選択科目Ⅱは2年次以降に履修し、そのうち展開科目では学際的な知見を高め、具体的な政策課題を分析・考察するための能力を高める。
- ・選択科目Ⅱのうち、2年次後半からの演習において、政策課題の調査分析、プレゼンと議論を繰り返し、課題解決のための政策提案をする能力を高める。
- ・講義や演習活動で得られた知識と能力を、地域社会やグローバル社会での政策課題解決に結びつけるためのPBL教育を学部全体で推進している。

(主体性・多様性・協働性)

- ・選択科目Ⅱに科目設定されているフィールド・リサーチにおいては、学生自身で発見した現場に出かけ、政策課題の分析を解決策の提案につなげる能力を高める。
- ・選択科目Ⅰに属する政策トピックスでは、学外の資源も活用しながら、最先端の話題を多角的にとらえるための考え方と技能を学ぶ。この科目は1・2年次の履修を想定しているが、演習、展開科目などを履修し、知識や技能を得た3年次生や4年次生にとっても、あらためて応用力を高めることができるようになる。
- ・選択科目Ⅱの展開科目は、レベルや内容に応じてA、B、C、D群に分けられており、C群では外書講読、D群では大学院授業を履修することができ、より高度な知識・能力の取得を促す。

履修要項 目次項目

履修要領について【全年次生対象】	1
はじめに／1. 単位制、セメスター制、授業について／2. 卒業・学士学位授与について／ 3. 履修校地について／4. 免許・資格課程について／5. 単位認定制度について	
I. カリキュラムや科目登録について【政策学科 2023 ～ 2008 年度生、国際専修コース対象】	
I - 1. カリキュラムについて	4
1. 政策学科カリキュラム（2008 年度以降生）、政策学科国際専修コースカリキュラム（2011 年度以降生）／ 2. 特色／3. 成績評価（GPA 制度）について／ 4. 各科目群の取り扱い／5. 年次別登録単位数について／6. 卒業必要単位数、履修体系について	
I - 2. 科目登録手順の概要	15
標準的な履修方法／年次別履修計画と年間登録単位数（目安）／履修手順	
I - 3. 学びの指針	18
I - 4. 政策学科・政策学科国際専修コース開講科目一覧	19
II. 充実した学生生活を過ごすために【全年次生対象】	
授業支援について	68
政策学部専任教員研究室（新町キャンパス溪水館 2 階・臨光館 4 階、烏丸キャンパス志高館 2 階）／ 政策学部専任教員オフィスアワー／政策学部事務室（新町キャンパス臨光館 1 階）／ 掲示板／情報処理環境利用ユーザ ID／政策学会／授業用レジュメ等印刷室／ゼミ準備室	
在学留学、早稲田大学学生交流について	69
やむを得ず休学等を考えることとなった場合	69
やむを得ない事情が生じた場合に第 2 年次から第 3 年次に転学部を考える	69
大学院進学について	69
総合政策科学研究科／早期卒業制度について	
公務員試験について	70
付 記	I
学業履修について／同志社大学学則／学部一般内規／外国留学に関する諸規程／ 同志社大学政策学部早期卒業制度運用内規 交通機関の不通と暴風警報・特別警報発表に伴う授業・試験の実施について（司法研究科以外）	

はじめに

高校までの授業は、クラス全員が決められた時間割に沿って同じ科目の授業を受けるものでしたが、大学における履修とは、まず皆さんが自分自身で学修目的をたててから、目的にあった開講科目を見つけて時間割を作成し、学修することを意味します。したがって同じ政策学部生でも、それぞれの学修計画によって受講する科目も時間割も全く異なってきます。

1. 単位制、セメスター制、授業について

学部ごとの教育課程（カリキュラム）に定められた授業科目を登録・履修し試験に合格することにより、それぞれの授業科目所定の単位を得て、4年間の修業年限中に卒業に必要な単位数を修得していく制度が「単位制」です。また、「登録」とは、定められた期間中に、自分が履修する科目を決めて学部に届け出ることをいいます。

「セメスター制」は、1年を春学期・秋学期の2つの学期に分け、学期ごとに完結する授業を行い、試験を実施して成績評価するシステムのことです。4年間で8つの学期を積み上げて卒業することになります。同志社大学における授業時間は1講時について90分とし、これを2時間と計算します。ですから例えば授業時間が「週2時間」という科目は、90分の授業が週1回行われるということです。週2時間の授業を一学期間行う講義科目は、通常2単位が設定されます。

2. 卒業・学士学位授与について

政策学部において4年（修業年限）以上在学し、定められたカリキュラムにしたがって科目を履修することで卒業に必要な単位を修得した場合は、同志社大学学則第15条によって、「学士（政策学）（同志社大学）」の学位が授与され、卒業となります。

3. 履修校地について

政策学部はすべての科目を4年間、今出川・新町キャンパスで履修します。

科目によっては京田辺キャンパスで履修することも可能ですが、時間割を組む際に両キャンパスの移動時間を考慮しなくてはなりませんので注意が必要です。

4. 免許・資格課程について

同志社大学には、教職課程、図書館司書課程、学校図書館司書教諭課程、博物館学芸員課程といった免許・資格課程が設置されています。所定の科目を履修すれば、これらの免許・資格を取得することが可能です。ただし、免許資格課程の履修にあたっては卒業に必要な単位に加え、各免許資格課程で定められた所要単位を修得しなければなりません。授業だけでなく、日々の準備学習や復習など授業時間外の学習の重要性を考慮したうえで、1年次から計画的に履修することが求められます。詳しくは本学免許資格課程センターが発行している『免許・資格関係履修要項』を参照してください。

5. 単位認定制度について

(1) 入学前修得単位の認定について

入学前に、他大学もしくは本学の他の学部で修得された単位（科目等履修生として修得した単位を含みます）を、同志社大学学則第9条の4にもとづいて、政策学部において修得したものとして認定します。認定を希望する場合は、『政策学部登録要領』を参照し所定の期間内に申請手続きをしてください。この制度は新生にしか適用されませんので注意してください。

(2) 外国語科目の単位認定について

入学前および在学中に、「TOEIC[®] Listening & Reading Test」、「TOEFL iBT[®] テスト」、「IELTS（アカデミック・モジュール）」、「実用英語技能検定試験」、「国際連合公用語英語検定試験」で下表の水準以上の成果を修めた場合は、外国語（教育）科目 A 群の単位として 8 単位を限度に認定します。

試験の種類	《4 単位認定基準》	《8 単位認定基準》
TOEIC [®] Listening & Reading Test	730 以上 850 未満	850 以上
TOEFL iBT [®] テスト	72 以上 100 未満	100 以上
IELTS（アカデミック・モジュール）	6 以上 7.0 未満	7.0 以上
実用英語技能検定	準Ⅰ級	Ⅰ級
国際連合公用語英語検定	A 級	特 A 級

①申請手続き時期等詳細は『政策学部登録要領』を参照してください。

②申請には合格証明書やスコアカード（公式認定証）の原本が必要です。

※TOEFL[®]テスト・TOEIC[®]Listening & Reading Test は、公式認定証（TOEFL[®] テストの Official Score Report・TOEIC[®] Listening & Reading Test の Official Score Certificate）が発行される正式な試験を受験する必要があります。TOEFL[®] テストの ITP または TOEIC[®] Listening & Reading Test の団体特別受験制度（Institutional Program）、いわゆる「カレッジ TOEIC」などを利用された場合、公式認定証が発行されないので注意してください。なお、公式認定証の発行に関しては、TOEFL[®] テストについては ETS Japan 合同会社に、TOEIC[®] Listening & Reading Test については一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会（IIBC）に問い合わせてください。

③合格証明書やスコアカードについては、認定を受けようとする年度（4 月～翌 3 月）またはその前年度（4 月～翌 3 月）に取得したもののしか認めません。ただし、新入生に限り入学時前年の 1 月～3 月に取得したのも認めます。

④例えば TOEIC[®] Listening & Reading Test で 800 点取得したことによって 4 単位を認定された方が、さらに TOEIC[®] Listening & Reading Test で 850 点以上を取得した場合、4 単位の追加認定を受けることができます。

ただし、異なる検定試験で同レベルの水準の成績を取得しても追加認定はできません。TOEIC[®] Listening & Reading Test で 750 点取得し 4 単位の認定を受けた方が、TOEFL iBT[®] テストで 80 点を取得しても 4 単位の追加認定の対象にはなりません。

⑤単位認定を受けたうえで、さらに外国語（教育）科目 A 群の科目を履修しても構いません。単位認定とあわせ 8 単位を超えた分は卒業必要単位数に含まれます。

⑥履修条件（特定科目を履修済みである、または履修中であること等）がついた科目を履修する場合、単位認定では履修条件を満たすことはできません。このような科目を履修する予定のある人は、登録要領等で履修条件を確認し、必要であれば外国語（教育）科目 A 群の科目等を履修してください。

I. カリキュラムや科目登録について

【 政策学科 】

- 2023 ～ 2008 年度生
- 国際専修コース

履修要領について

1. 政策学科カリキュラム（2008 年度以降生）

政策学科国際専修コースカリキュラム（2011 年度以降生）

	第1年次		第2年次	
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター
選 択 科 目 I ・ II ・ III	選択科目Ⅰ オリエンテーション科目 First Year Experience 政策学入門	選択科目Ⅰ 基礎能力養成科目 アカデミック・スキル1 (読解・分析) アカデミック・スキル2 (読解・分析・伝達)	【A群】 演習Ⅰ 【B群】	
	選択科目Ⅰ 基 礎 科 目 政策思想 政治学入門 現代日本政治 法学入門 現代経済入門 経済学入門 組織論入門 統計学入門 【国際教育インスティテュートA群ーⅠ】 科目詳細は開講科目一覧を参照		【A群】 公共性論 政策形成論 政策分析 国際法 地域政策 行政法（総論） 開発政策 アジア経済論 社会保障政策 意思決定論 人的資源管理 応用マクロ経済学 [20～] 現代国際政治 [21～]	
	選択科目Ⅰ 導 入 科 目 第2年次から履修可 【A群】 政策過程論 日本外交 憲法(統治) 行政法入門 憲法(人権) 私法入門 ミクロ経済学 [～19] 現代の生活問題 人と組織 入門ミクロ経済学 [20～] 経営学入門 社会調査入門 マクロ経済学 [～19] 入門マクロ経済学 [20～]		【B群】 政策実施論 政策評価論 応用政策分析 国際平和と政策論 応用公共経済学 国際協力政策 国際機構 行政組織論 科学技術政策 文化政策 観光政策 ジェンダーと福祉 ジェンダーと社会構造 教育政策 リスク管理政策	
	【国際教育インスティテュートA群ーⅡ】 科目詳細は開講科目一覧を参照 【B群】 キャリアデザイン1 キャリアデザイン※ 政策トピックス※ ※クラスにより第1年次から履修可		【E群】【国際教育インスティテュートB群】 科目詳細は開講科目一覧を参照	
	選択科目Ⅲ 他学部設置科目、チュービンゲン大学IES科目、大学コンソーシアム京都単位互換科目、同志社女子大学単位互換科目、図書館司書課程・学校図書館司書課程に関する科目の一部(2018年度以降生のみ)			

全学共通教養教育科目	外国語教育科目	【A群】【B群】 英語	【C群】【D群】 英語以外の外国語＜ドイツ語、
	外国語教育科目以外の科目	【E群】 同志社科目、キャリア形成支援科目、国際教養科目、クリエイティブ・ジャパン科目、	

自由科目	免許・資格関係科目
	■教員免許科目として必要な科目を設置 <取得できる免許教科…中学教諭一種(社会)、高校教諭一種(公民)>

※ **白抜き** は国際専修コースのみ対象のカリキュラムです。

※ 『〔～〇〇〕』は『2000年度以前生』を、
『〔〇〇～〕』は『2000年度以降生』を表しています。

第3年次		第4年次	
第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター
選択科目Ⅱ 卒業研究プロジェクト			
演習Ⅱ	演習Ⅲ	卒業研究演習Ⅰ	卒業研究演習Ⅱ
			卒業論文
		アカデミック・ライティング	
	フィールド・リサーチ		
	リサーチ・ペーパー		
	プロジェクト演習		
選択科目Ⅱ 展開科目			
政治行動学 行政学 地方自治論 政府体系論 国際政治学 行政法（救済） 国際貿易 国際金融入門 公共経済学 社会保障制度 現代社会と組織 経営組織論 応用ミクロ経済学 [20～]			
行政理論 国際政治史 比較政治学 グローバル経済論 国際金融市場政策 NGO・NPO論 現代組織論 環境政策 京都観光論 環境マネジメント ジェンダー政策 スポーツ法政策			
【C群】 コミュニティ創造政策 行政責任論 比較政策論 公務員制度 行政苦情救済論 政策法務 雇用関係法 環境法 資本市場政策 金融政策 金融制度 ベンチャー政策 外書講読（英）			
【D群】 政策特殊講義Ⅰ 政策特殊講義Ⅱ			
日本語・日本文化教育科目、教職課程における教科に関する科目の一部（2014年度以降生のみ） 国際教育インスティテュート設置科目			

フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語（2013年度以降生）>
※外国人留学生在が履修する日本語1、日本語2、ビジネス日本語C、ビジネス日本語Dを含む

人文科学系科目、社会科学系科目、自然・人間科学系科目、先端・複合領域科目、プロジェクト科目、保健体育科目

※その他に、博物館学芸員課程、図書館司書課程、学校図書館司書教諭課程も設置

2. 特色

従来の社会科学系学部の大半が、伝統的学問の体系を基礎に学部が編成されていたのに対して、政策学部は、社会における実際の政策課題を基礎に学部の教育体系を組み立てていることが特徴です。しかしながら、いわゆる「実学」重視ではなく、まず社会を科学的に眺めて、そこにある問題を発見できるようにするための「基礎的トレーニング」を徹底して行います。その基礎に立って、様々な政策の企画・立案・実施・評価活動を行い、それらの活動を担う組織やネットワークを編成・管理・運営するために必要な知識や技術を積み上げることが、本学部の教育方針です。

つまり、時流に乗った特定の知識や技術を身につけただけの「即戦力」として珍重されるような人材を養成するのではなく、基礎能力や潜在能力の向上に重点を置き、しっかりと身につけた基礎の上に、どのような状況におかれても問題解決の中心となつて的確かつ柔軟に対応できる人材を養成できるカリキュラムを設定しています。

具体的には、まず講義科目として、①社会の諸現象を社会科学的に見る目を養いながら、本学部で学ぶことの意義や楽しさを理解するための基礎科目、②社会での問題解決プロセスで必要となる理論や手法を修得し、より高度な科目に進むための準備となる導入科目、③社会の諸問題に対する問題解決活動に積極的に関わるために必要となる、より専門的な諸理論、手法、そして実践的応用を学ぶ展開科目という三段階の講義群が、四年間にわたって体系的に学べるように編成されています。

基礎科目には、政治・行政、法律、経済学、組織論などの社会科学全般にわたる入門講義が設けられています。政策学部の学生すべてが、社会科学横断的な基礎知識を得ることと、それぞれの学問分野からみた現代社会の諸問題にふれ、基本的な発想のしかたや面白さを学ぶことを目的としており、1年次（第1、第2セメスター）の履修を想定しています。

導入科目には、A群として、やはり社会科学横断的な講義科目が設けられています。またB群として、最先端の話題をやさしく解説する政策トピックスという科目があります。専門的・実践的な学習にしっかりと備えることを目的としており、1・2年次の履修を想定しています。

展開科目には、政策形成・実施・評価、グローバル経済、社会保障、環境、ジェンダー、スポーツなど、現代社会の多様な政策課題に对应していくための特色ある科目が配置されています。A～D群に分かれており、A、B群は2年次（第3セメスター）から、C、D群は3年次（第5セメスター）から履修することができます。基礎科目や導入科目で学んだことを、発展させ応用していくことが求められます。学生の関心に沿った科目選択を手助けするために、広範な政策領域を「国際貢献を考える」、「地域連携を考える」等のテーマごとに分類し、それらに関係する科目を提示した『政策レファレンス』を作成していますので、P.18を参照してください。

政策学部での学習を段階的に進めるには、社会現象を社会科学の視点から把握し理解するための基礎となる能力が必要です。文献や資料を探索し、データを収集・分析する能力、グループワークなどコミュニケーションを通じて解決策を考える能力、文章や口頭でのプレゼンテーションによって他者からの批判に耐え、政策を改善する能力などです。

これらは少人数クラスでの重点的な学習機会が設けられており、1年次春学期（第1セメスター）に登録が義務づけられているFirst Year Experienceが、それにあたります。また同時期に、すべての政策学部教員が担当する政策学入門が、オムニバス講義で実施されますので、両者を履修することで、素早く効率的に政策学部へのオリエンテーションが果たされることでしょう。

さらに1年次秋学期（第2セメスター）から、読解、分析、伝達の3つの主題を切り口にして各担当教員の専門分野を題材に学んでいくアカデミック・スキル1、2という科目が複数クラス開講されます。すべての学生が少人数クラスに所属し、文章作成、ディベート、英語でのプレゼンテーション、統計的分析などの能力を高めることができます。

2年次秋学期（第4セメスター）から、同じく少人数クラスで演習（ゼミ）が始まります。通算2年半におよぶ同一担当教員の演習と卒業研究演習を通して、問題関心と研究意欲を高め、講義科目や少人数クラスで得た知識、手法、応用力を活かして、各人の研究課題に取り組むことを目的としています。それら4年間の集大成として、最後に、卒業論文をまとめ、提出することを求めます。

上記に加え、国際専修コースでは、2014年度以前生は「日本の社会・文化クラスター」「日本の経済・ビジネスクラスター」「日本の法・政策と国際協力クラスター」の3クラスター、2015年度以降生は「日本の

社会・文化コンセントレーション」「日本の経済・ビジネスコンセントレーション」「日本の法・政策と国際協力コンセントレーション」の3コンセントレーションを軸に設置される国際教育インスティテュート設置科目の中から政策学部が履修を認める科目を履修します。これらの科目はすべて英語で授業が行われますので高度な英語能力が必要とされます。

政策学部のカリキュラムは、学際的で段階的な講義科目と、1年次から4年次まで通した少人数クラスによる指導とが有機的に組み合わせられています。その特色と趣旨をよく理解して、皆さんの問題発見能力と問題解決能力を高め、自らの問題関心を追求していくような履修計画を立ててください。

3. 成績評価（GPA 制度）について

概要

各科目の成績評価を以下の判定基準にしたがい5段階（A,B,C,D,F）で評価し、各成績評価段階に4.0～0.0の評点（Grade Point）を付与して、1単位あたりの評点平均値＝GPA（Grade Point Average）を算出します。GPAは、不合格を意味するF評価の成績も含めて以下の計算式で算出しますが、F評価であった科目を再履修してD以上の評価を得た場合、最後に付いたF評価のみ新たな評価に置きかえて算出されます。

判定基準

評価	評点	判定内容
A	4.0	特に優れた成績を示した
B	3.0	優れた成績を示した
C	2.0	妥当と認められる成績を示した
D	1.0	合格と認められる最低限度の成績を示した
F	0.0	合格と認められるに足る成績を示さなかった

*評価には上記段階評価のほかに「合格」「認定」「不合格」という評価があります。

GPA 算出方法

$$(\text{A} \times 4.0 + \text{B} \times 3.0 + \text{C} \times 2.0 + \text{D} \times 1.0 + \text{F} \times 0.0) / (\text{A} + \text{B} + \text{C} + \text{D} + \text{F})$$

（A～FはA～Fの評価が付いた科目の単位数の合計）

GPA に算入されない科目

(1) 合格／不合格評価の科目

「First Year Experience」、「政策学入門」、「フィールド・リサーチ」、「リサーチ・ペーパー」、「データサイエンス概論」、「同志社の良心とダイバーシティ」、「Intensive Courses for TOEFL (Practice) *」、「Intensive Courses for TOEFL (Tutorial) *」
→合格／不合格評価科目は卒業必要単位数に算入されます。

※は2022年度以降、開講されません。

(2) 認定／不合格評価の科目

「大学コンソーシアム京都単位互換科目」、「同志社女子大学単位互換科目」

(3) 自由科目

政策学部が自由科目として設置している免許・資格関係科目等

成績の記載

段階評価	段階評価以外の評価	成績通知書への記載	成績証明書への記載
A	合格 認定	あり	あり
B		あり	あり
C		あり	あり
D		あり	あり
F	不合格	あり	なし
	*履修中止	あり	なし

成績通知書は学期末に
学生本人がDUETからダウンロードできます。

成績証明書は就職活動等本人の必要
に応じて申し込みの上、交付されます。（有料）

*授業開始後1カ月程度授業を受講し、望ましい評価が得られないと判断した科目について、定められた科目を除いて履修を中止することが可能です。これを「履修中止」制度とよびます。

「履修中止」は評価ではありませんが、登録の履歴として成績通知書には記載されます。

4. 各科目群の取り扱い

	選択科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 全学共通教養教育科目	自由科目	
			※免許・資格関係科目
学部登録単位数算入	○	○	×
卒業単位数算入	○	×	×
G P A 算入	○	×	×
免許・資格に有効	○	○	○

＊自由科目は、Mをつけて登録すれば免許資格関係科目となり、所定の登録単位数には算入されず、別枠で登録されます。

＊免許資格関係科目の登録種別欄で「M」を選択して登録（M登録）するには、履修を希望する免許資格課程の「仮登録（一般登録期間にDUETにて可能）」もしくは「課程登録（説明会出席等の所定手続が必要）」を必ず行わなければなりません。手続方法は免許資格課程や年次によって異なるので免許資格課程センターの掲示等で確認を行ってください。

＊「仮登録」もしくは「課程登録」を行った課程で定められている科目に限りM登録を行うことが可能となります。「仮登録」もしくは「課程登録」が完了していない場合、M登録することはできず登録エラーとなるので注意してください。

5. 年次別登録単位数について

学期および年間で登録できる単位数は下表のとおりです。必ずこの範囲内で登録してください。自由科目もこの登録単位数に含まれます。

	1年次	2年次	3年次	4年次
年間最高登録単位数	40 単位	44 単位	46 単位	46 単位
学期最高登録単位数	30 単位	34 単位	36 単位	36 単位
学期最低登録単位数	2 単位	2 単位	2 単位	2 単位

なお、免許・資格関係科目として登録する場合は、下表のとおり学部登録単位数とは別枠で科目登録できます（ただし、卒業単位数には算入されません）。2 課程とは、教職課程と図書館司書課程のように異なった課程をさします。教職課程の2教科（例：社会・公民科と英語科）ではありません。

年間最高登録単位数	全学年
1 課程	18 単位
2 課程（2教科ではない）	22 単位

6. 卒業必要単位数、履修体系について

(1) 政策学科卒業必要単位数

卒業に必要な単位数は124単位です。選択科目Ⅰから28単位以上、選択科目Ⅱから64単位以上、全学共通教養教育科目から12単位以上、合計124単位以上を履修しなければなりません。ただし、選択科目Ⅰについては、基礎科目12単位以上を含めて同Ⅰ－1から20単位以上、選択科目Ⅱについては、同Ⅱ－1から64単位以上、全学共通教養教育科目については、外国語教育科目のうちA群から8単位以上、C群から4単位以上を履修しなければなりません。各科目群の詳細はP.19以降の「開講科目一覧」で確認してください。

科目群				必要単位の内訳		合計	
選択科目Ⅰ	選択科目Ⅰ－Ⅰ			20 単位以上		28 単位以上	124 単位以上
	オリエンテーション科目						
	基礎能力養成科目						
	基礎科目			12 単位以上			
	導入科目		A 群				
	選択科目Ⅰ－Ⅱ						
導入科目		B 群					
選択科目Ⅱ	選択科目Ⅱ－Ⅰ			64 単位以上		64 単位以上	
	卒業研究プロジェクト	A 群					
		B 群					
	展開科目	A 群					
		B 群					
		C 群					
	選択科目Ⅱ－Ⅱ						
展開科目		D 群					
選択科目Ⅲ	他学部設置科目、チュービンゲン大学 IES 科目、大学コンソーシアム単位互換科目、同志社女子大学単位互換科目、日本語・日本文化科目、教職課程における教科に関する科目の一部（2014 年度以降生のみ）、図書館司書課程・学校図書館司書課程に関する科目の一部（2018 年度以降生のみ）						
全学共通教養教育科目	外国語教育科目		A 群	8 単位以上		12 単位以上	
			B 群				
			C 群	4 単位以上			
			D 群				
	同志社科目、キャリア形成支援科目、国際教養科目、クリエイティブ・ジャパン科目、人文科学系科目、社会科学系科目、自然・人間科学系科目、先端・複合領域科目、プロジェクト科目、保健体育科目		E 群				

自由科目	免許・資格関係科目	卒業単位には算入されない
------	-----------	--------------

(注)

- ①必ず上記表の内訳にしたがって、卒業単位数合計を満たしてください。
- ②上記表の内訳欄が空白(選択科目Ⅲなど)の科目群から卒業必要単位として認められる科目を修得した科目は、卒業必要単位数合計(124単位)に算入されます。
- ③オリエンテーション科目、基礎能力養成科目、卒業研究プロジェクトはP.4～5「政策学科カリキュラム表」の定められたセメスターで履修する必要があります。
- ④外国語教育科目C群は同一外国語で4単位以上履修する必要があります。
(2つの異なる外国語の入門Ⅰを履修してもC群の4単位を満たしたことはありません)
- ⑤全学共通教養教育科目E群保健体育科目のスポーツ・パフォーマンスⅠは、2単位まで卒業必要単位数に算入します。3単位目からは卒業必要単位数には算入されませんが、GPAの対象にはなりません。
- ⑥自由科目は卒業必要単位に算入しません。自由科目とは、政策学部が設置している免許・資格関係科目をいいます。
- ⑦「合格」「不合格」で評価される科目(A、B、C、D、Fの段階評価を行わず、「合格」「不合格」の評価を行う科目)は、卒業必要単位合計数(124単位)に算入します。

(2) 政策学科国際専修コース 卒業必要単位数

卒業に必要な単位数は124単位です。選択科目Ⅰから28単位以上、選択科目Ⅱから64単位以上、全学共通教養教育科目から12単位以上、合計124単位以上を履修しなければなりません。ただし、選択科目Ⅰについては、基礎科目12単位以上（うち国際教育インスティテュートA群－Ⅰからは4単位以上履修することが必要）を含めて同Ⅰ－Ⅰから20単位以上履修することが必要です。さらに、選択科目Ⅱについては、同Ⅱ－Ⅰから64単位以上（うち展開科目E群国際教育インスティテュートB群からは16単位以上履修することが必要）、全学共通教養教育科目については、外国語教育科目のうちA群から8単位以上、C群から4単位以上を履修しなければなりません。各科目群の詳細はP.19以降の「開講科目一覧」で確認してください。

科目群				必要単位の内訳		合計
選択科目Ⅰ	選択科目Ⅰ－Ⅰ			20単位以上		28 単位 以上
	基礎科目	オリエンテーション科目				
		基礎能力養成科目				
		基礎科目			12単位以上	
		導入科目	A群	国際教育インスティテュートA群－Ⅰ 国際教育インスティテュートA群－Ⅱ	4単位以上	
	選択科目Ⅰ－Ⅱ					
選択科目Ⅱ	選択科目Ⅱ－Ⅰ			64単位以上		64 単位 以上
	卒業研究プロジェクト	A群				
		B群				
		A群				
		B群				
	展開科目	C群				
		E群	国際教育インスティテュートB群	16単位以上		
	選択科目Ⅱ－Ⅱ					
選択科目Ⅲ	展開科目		D群			124 単位 以上
	他学部設置科目、チュービンゲン大学 IES 科目、大学コンソーシアム単位互換科目、同志社女子大学単位互換科目、日本語・日本文化科目、国際教育インスティテュート設置科目、教職課程における教科に関する科目の一部（2014年度以降生のみ）、図書館司書課程・学校図書館司書課程に関する科目の一部（2018年度以降生のみ）		国際インスティテュートA・B群以外で政策学部が履修を認める科目			
全学共通教養教育科目	外国語教育科目	A群		8単位以上		12 単位 以上
		B群				
		C群		4単位以上		
		D群				
	同志社科目、キャリア形成支援科目、国際教養科目、クリエイティブ・ジャパン科目、人文科学系科目、社会科学系科目、自然・人間科学系科目、先端・複合領域科目、プロジェクト科目、保健体育科目		E群			

自由科目	免許・資格関係科目	卒業単位には算入されない
------	-----------	--------------

(注)

- ①必ず上記表の内訳にしたがって、卒業単位数合計を満たしてください。
- ②上記表の内訳欄が空白（選択科目Ⅲなど）の科目群から卒業必要単位として認められる科目を修得した科目は、卒業必要単位数合計（124単位）に算入されます。
- ③オリエンテーション科目、基礎能力養成科目、卒業研究プロジェクトはP.4～5「政策学科国際専修コースカリキュラム表」の定められたセメスターで履修する必要があります。
- ④外国語教育科目C群は同一外国語で4単位以上履修する必要があります。
（2つの異なる外国語の入門Ⅰを履修してもC群の4単位を満たしたことはありません）
- ⑤全学共通教養教育科目E群保健体育科目のスポーツ・パフォーマンスⅠは、2単位まで卒業必要単位数に算入します。3単位目からは卒業必要単位数には算入されませんが、GPAの対象にはなります。
- ⑥自由科目は卒業必要単位に算入しません。自由科目とは、政策学部が設置している免許・資格関係科目をいいます。
- ⑦「合格」「不合格」で評価される科目（A、B、C、D、Fの段階評価を行わず、「合格」「不合格」の評価を行う科目）は、卒業必要単位合計数（124単位）に算入します。

(3) 履修体系

1) 選択科目Ⅰ（オリエンテーション科目、基礎能力養成科目、基礎科目、導入科目）

政策学部での学習に必要な基礎を徹底して身につけるための科目で、1年次から2年次春学期（第1～第3セメスター）にかけて履修するよう設置しています。オリエンテーション科目、基礎能力養成科目、基礎科目、導入科目からなり、合計28単位以上（選択科目Ⅰ－Ⅰからの20単位を含む）が卒業必要単位数です。

①オリエンテーション科目

選択科目Ⅰのなかで、オリエンテーション科目であるFirst Year Experience (FYE) と政策学入門は、全学生の登録が義務づけられています。FYEでは、文献・資料の検索の仕方やパソコン実習などにより、すべての学生が学内資源を一定以上の水準で活用できるようにします。また、グループワークによりコミュニケーション能力を高め、プレゼンテーションの機会を設けるなど、政策学部生に必要な基礎的な能力を習得します。政策学入門は、多くの教員によって行われるオムニバス講義（リレー講義）で、様々な政策課題があること、それに対して様々なアプローチの仕方や解決策の可能性があることに触れてもらいます。いずれも、4年間の学習をスムーズに進めるために不可欠な科目ですので登録必修としています。それぞれ2単位科目で、あわせて4単位ですが、万一、単位修得できなかった場合は、基礎科目または導入科目A群の科目で不足分を埋め合わせなくてはなりません。

②基礎能力養成科目

政策学部で専門的に学ぶための技能を養う選択科目であるアカデミック・スキル（AS）Ⅰ，Ⅱが、少人数クラスで開講されます。読解（日本語文献や外国語文献の読解など）、分析（社会調査やデータ分析など）、伝達（ディベートやプレゼンテーションなど）、の3つの主題に分けられ、1年次秋学期（第2セメスター）にASⅠとして読解、分析のクラスが、2年次春学期（第3セメスター）にASⅡとして読解、分析、伝達のクラスが複数の担当教員によって開かれます。多様な政策領域から各担当教員の専門分野を題材に学び、すべてのクラスで発表やレポート提出が求められます。細かい授業内容は教員によって異なりますので、学生はシラバスを見て受講クラスを選択希望することができます。ただし、希望者多数の場合は抽選となり別クラスを選択せざるをえない場合もあります。ASⅠ、ASⅡのいずれも2単位科目で、あわせて4単位ですが、万一修得できなかった場合は、基礎科目または導入科目A群の科目で不足分を補う必要があります。

③基礎科目

政策学部生として、すべての学生に履修してもらいたいと考える講義科目です。12単位以上を修得することが、卒業要件として義務づけられています。

国際専修コース生は、国際教育インスティテュートA群－Ⅰから4単位以上修得したうえで、あわせて12単位以上を修得することが卒業要件として義務付けられています。

④導入科目

1年次春学期（第1セメスター）から履修可能なやや専門性の高い科目で、2年次以降の展開科目への導入の役割を果たします。導入科目は、原則として毎年開講される講義科目であるA群と、専門的内容をやさしく講義する政策トピックス、キャリアデザインなどを含むB群とからなります。A群のうち、憲法（統治）、行政法入門、ミクロ経済学（2019年度以前生）、マクロ経済学（2019年度以前生）、入門ミクロ経済学（2020年度以降生）、入門マクロ経済学（2020年度以降生）については2年次の履修を想定しています。国際専修コース生は、A群として国際教育インスティテュートA群－Ⅱの科目もあわせて履修することができます。

2) 選択科目Ⅱ（卒業研究プロジェクト、展開科目）

少人数クラスの卒業研究プロジェクトと、やや高度な講義科目である展開科目とからなる選択科目です。それらを合わせて64単位以上（選択科目Ⅱ－Ⅰからの64単位を含む）が卒業必要単位数です。

①卒業研究プロジェクト

2 年次秋学期（第 4 セメスター）から演習Ⅰ、演習Ⅱ、演習Ⅲ、卒業研究演習Ⅰ、卒業研究演習Ⅱ（各 2 単位×5）と卒業論文（2014 年度以前生は 6 単位、2015 年度以降生は 2 単位）が設けられており、政策学部での学習の集大成となる重要な科目です（これらを A 群と呼んでいます）。少人数クラスや講義科目で得た学際的な知識や分析手法を駆使して、関心テーマに取り組んでいただきたいと思います。原則として演習Ⅰから卒業研究演習Ⅱに至るまでの 5 科目 2 年半の間、同一教員のクラスに所属します。演習Ⅰ（2 年次秋学期）から演習Ⅱ（3 年次春学期）にすすむ際のクラス変更は、演習Ⅰ担当教員が承認し、演習Ⅱ担当予定教員が受入を認めれば可能としていますが、クラスの定員充足ならびに継続的学習の観点から、必ずしも変更や途中参加を保証するものではありません。そして、卒業論文は卒業研究演習Ⅰ・Ⅱを登録しており、演習担当者より「卒業論文」の登録が認められている学生のみ、4 年次生の春学期に一般登録することができます。

演習を履修している学生は、現地調査などを企画・実施しその結果をレポートする※フィールド・リサーチ（2 単位、3 年次から 4 年次「第 5 セメスターから第 8 セメスター」まで）、サブゼミとして担当教員以外の演習を履修したり、合同ゼミに参加したりするプロジェクト演習（2 単位、3 年次「第 5、6 セメスター」）、卒業研究にむけての中間報告の意味合いをもつリサーチ・ペーパー（2 単位、3 年次秋学期「第 6 セメスター」のみ）などを登録・履修することができます（これらを B 群と呼んでいます）。※ 2013 年度より、一定の条件を満たす「海外におけるフィールド・リサーチ」に対して補助を行っています。以上、卒業研究プロジェクトについての詳細は政策学部掲示板、ホームページ、登録要領等を参照してください。

選択科目Ⅱ-Ⅰのうち、卒業研究プロジェクトの A 群はそれだけで 2014 年度以前生は 16 単位、2015 年度以降生は 12 単位に達する非常に重要な科目です。すべての政策学部生が演習を履修し卒業論文を提出することを望みますが、万一履修できなかった学生は、不足分を展開科目 A、B、C 群（国際専修コース生は E 群も必要）から埋め合わせなくてはなりません。

ただし、休学等のやむを得ない事情により演習科目を履修できなかった学生は、卒業論文の執筆に相当する「アカデミック・ライティング」を履修することができます。履修にあたっては、登録を希望する学期に卒業見込みとなることや、研究計画書の提出が必要になりますので、必ず登録要領等で詳細を確認してください。

②展開科目

専門的な理論や実践的な応用について学ぶ講義科目で、A～E 群に分けられています。A 群は 2 年次（第 3 セメスター）から履修でき、入門的な科目も含まれているのに対して、B 群はその応用、C 群は 3 年次（第 5 セメスター）以降を対象にしたやや高度な科目ですので、できれば A 群、B 群、C 群の順に履修すると体系的に学ぶことができます。また、E 群は、国際専修コース生のみが履修可能な国際教育インスティテュート B 群の科目となっています。国際専修コース生は国際教育インスティテュート B 群の科目から 16 単位以上履修したうえで、あわせて 64 単位以上を履修しなければなりません。

なお、D 群の政策特殊講義Ⅰ・Ⅱは同志社大学大学院総合政策科学研究科の授業で、3 年次以降でないと履修できない高度な科目のため、一定以上の GPA が必要とされます。GPA の基準等詳細は『政策学部登録要領』を確認してください。

■「政策特殊講義Ⅰ・Ⅱ」を同志社大学大学院総合政策科学研究科入学後に、大学院科目として認定を希望する方へ

同志社大学大学院総合政策科学研究科入学後に、修得した単位を大学院科目として認定を希望する方は、自由科目（先行登録時に登録種別欄へ Z を記入）として登録してください（一旦、学部で単位を修得すると、同じ科目を大学院で認定、または再度履修して単位を修得することはできません）。

※自由科目として登録すると、政策学部の卒業単位に含まれません。

※単位認定は総合政策科学研究科委員会で行います。カリキュラムの変更など、審査の結果によっては単位認定されない場合があります。

※同志社大学大学院総合政策科学研究科入学後の単位認定については、当該研究科の履修の手引きを参照してください。

3) 選択科目Ⅲ（他学部設置科目、チュービンゲン大学 IES 科目、大学コンソーシアム京都単位互換科目、同志社女子大学単位互換科目、日本語・日本文化教育科目、国際教育インスティテュート設置科目、教職課程における教科に関する科目の一部（2014 年度以降生のみ）、図書館司書課程・学校図書館司書課程に関する科目の一部（2018 年度以降生のみ））

これらの科目は政策学部設置科目を学ぶ過程において、幅広い教養知識を身につけ、自己の問題関心をより高めていくことを目的に設置しています。

① 他学部設置科目

同志社大学の各学部専門科目の中で、他学部が政策学部の学生にも履修を認めている科目があります。履修可能な科目は『政策学部時間割表』、当該学部『履修要項』で確認してください。

② チュービンゲン大学 IES 科目

本学の海外キャンパスである EU キャンパス（ドイツ・チュービンゲン大学）で開講する科目です。「ヨーロッパ・スタディーズ EU キャンパスプログラム」に参加することにより履修できます。IES とは International and European Studies の略称で、英語で行っている科目です。

③ 大学コンソーシアム京都単位互換科目

財団法人大学コンソーシアム京都に加盟している京都地域の各大学・短期大学の講義科目を履修できる制度です。このうち、JR 京都駅前のキャンパスプラザ京都で開講される科目をプラザ科目、加盟大学のキャンパスで開講される科目をオンキャンパス科目といいます。

④ 同志社女子大学単位互換科目

同じ学校法人内の大学である同志社女子大学の講義科目を履修できる制度です。

⑤ 日本語・日本文化教育科目

政策学部外国人留学生（正規学生）は、日本語Ⅰ（読解、語彙、文章表現、口頭表現、文法）、日本語Ⅱ（読解、語彙、文章表現、口頭表現、文法）、ビジネス日本語 C・D（2015 年度以降生のみ）の単位を修得した場合は全学共通教養教育科目の外国語教育科目 C 群の単位に代えることができます（ただし、英語圏からの留学生は外国語教育科目 A 群の単位に代えることができます）。外国人留学生が外国語教育科目から母国語を履修しても卒業単位に参入しません。開講科目等詳細については国際教養教育院事務室が発行する『日本語・日本文化教育科目履修の手引き』を参照してください。

⑥ 国際教育インスティテュート設置科目

国際教育インスティテュート A・B 群以外で国際専修コース生が履修できる国際教育インスティテュート科目があります。履修可能な科目は、『政策学部時間割表』や『Course Timetable for 2022 - Institute of Liberal Arts』で確認してください。

〈2014 年度以降生のみ〉

教職課程における教科に関する科目の一部が、選択科目Ⅲに設定されています。詳細は、開講科目一覧で確認してください。

〈2018 年度以降生のみ〉

図書館司書課程・学校図書館司書課程に関する科目の一部が、選択科目Ⅲに設定されています。詳細は、開講科目一覧で確認してください。

4) 全学共通教養教育科目（外国語教育科目、同志社科目、キャリア形成支援科目、国際教養科目、クリエイティブ・ジャパン科目、人文科学系科目、社会科学系科目、自然・人間科学系科目、先端・複合領域科目、プロジェクト科目、保健体育科目）

卒業必要単位数は外国語教育科目のA群8単位、C群4単位を含め、12単位以上必要です。C群は同一外国語で4単位以上履修する必要があります（2つの異なる外国語の入門Iを履修してもC群の4単位を満たしたことはありません）。それぞれに定められた卒業必要単位数を超えて修得した単位は、卒業必要単位に算入します。これらの科目は、幅広い知識と教養を身につけることを目的としています。

政策学部では卒業に必要な単位の修得に関して、**すべての科目を今出川校地で履修すること**を想定してカリキュラムが編成されています。

ただし、全学共通教養教育科目群では科目によって今出川校地と京田辺校地の両校地で、あるいは京田辺校地のみに開講されるクラスがあります。各自で時間割を組む際に両キャンパスの移動時間、ならびに自身の卒業要件科目の単位修得状況を十分に考慮する必要がありますので注意してください。

●全学共通教養教育科目とは

全学共通教養教育科目とは、全ての学部学生を対象とした共通の教養教育科目のことです。全学共通教養教育科目では、本学の建学の精神である「良心教育」を、「キリスト教主義」「自由主義（自治自立の精神）」「国際主義」という三つの教育理念に基づき、リベラルアーツ教育の伝統を受け継ぎながら現代において展開しており、幅広い学問分野にわたり、充実した科目を開設しています。詳細は全学共通教養教育センターが発行する『全学共通教養教育科目履修要項』を参照してください。

5) 自由科目

自由科目は卒業必要単位に算入されませんし、GPAの対象にもなりませんが、登録単位数には算入されます。

I - 2. 科目登録手順の概要

標準的な履修方法（政策学科）

1 年次 春・秋	2 年次 春・秋	3 年次 春・秋	4 年次 春・秋
・オリエンテーション科目 ・基礎能力養成科目 ・基礎科目 ・導入科目 A 群・B 群 ・全学共通教養教育科目 A 群・C 群 を中心に ・全学共通教養教育科目 E 群 ・選択科目Ⅲ を加えて、自分の興味関心のある科目を履修する。	・基礎能力養成科目 ・卒業研究プロジェクト A 群 ・導入科目 A 群・B 群 ・展開科目 A 群・B 群 ・全学共通教養教育科目 A 群・C 群 を中心に ・全学共通教養教育科目 B 群・D 群・E 群 ・選択科目Ⅲ を加えて、自分の興味関心のある科目を履修する。	・卒業研究プロジェクト A 群 ・展開科目 A 群・B 群・C 群 を中心に ・全学共通教養教育科目 B 群・D 群・E 群 ・卒業研究プロジェクト B 群 ・選択科目Ⅲ を加えて、自分の興味関心のある科目を履修する。	・卒業研究プロジェクト A 群 ・展開科目 A 群・B 群・C 群 を中心に ・全学共通教養教育科目 B 群・D 群・E 群 ・卒業研究プロジェクト B 群 ・選択科目Ⅲ を加えて、自分の興味関心のある科目を履修する。

年次別履修計画と年間登録単位数（目安）

下表のとおり最低卒業必要単位数は 124 単位ですが、これに各人の希望する科目を加え、年次別の年間登録単位数目安（38～46 単位）となるよう余裕を持って登録履修するよう心がけてください。

科目群			1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	卒業必要単位数					
選択科目Ⅰ	選択科目Ⅰ－1							20 単位以上	28 単位以上			
		オリエンテーション科目		4								
		基礎能力養成科目			2	2						
		基礎科目		10	6							
		導入科目	A 群		6	2						
	選択科目Ⅰ－2											
	導入科目	B 群			2	2						
選択科目Ⅱ	選択科目Ⅱ－1							64 単位以上	64 単位以上			
		卒業研究プロジェクト	A 群				2	2		2	2	(注)4or 8
			B 群					2		2		
		展開科目	A 群									
			B 群									
			C 群									
	選択科目Ⅱ－2											
	展開科目	D 群										
選択科目Ⅲ	他学部設置科目、チュービンゲン大学 IES 科目、大学コンソーシアム単位互換科目、同志社女子大学単位互換科目、日本語・日本文化科目、教職課程における教科に関する科目の一部（2014 年度以降生のみ）、図書館司書課程・学校図書館司書課程に関する科目の一部（2018 年度以降生のみ）											
全学共通教養教育科目	外国語教育科目	A 群	3	3	1	1			8 単位以上	12 単位以上		
		B 群										
		C 群	2	2					4 単位以上			
		D 群										
	同志社科目、キャリア形成支援科目、国際教養科目、クリエイティブ・ジャパン科目、人文科学系科目、社会科学系科目、自然・人間科学系科目、先端・複合領域科目、プロジェクト科目、保健体育科目		E 群									
+							124 単位					

（注）2014 年度以前生は 8 単位、2015 年度以降生は 4 単位。

標準的な履修方法（政策学科国際専修コース）

1 年次春・秋	2 年次春・秋	3 年次春・秋	4 年次春・秋
・オリエンテーション科目 ・基礎能力養成科目 ・基礎科目 (国際教育インスティテュートA群－I) ・導入科目 A群(国際教育インスティテュートA群－II) ・B群 ・全学共通教養教育科目 A群・C群	・基礎能力養成科目 ・卒業研究プロジェクト A群 ・導入科目 A群・B群 ・展開科目 A群・B群 E群(国際教育インスティテュートB群) ・全学共通教養教育科目 A群・C群	・卒業研究プロジェクト A群 ・展開科目 A群・B群・C群 E群(国際教育インスティテュートB群)	・卒業研究プロジェクト A群 ・展開科目 A群・B群・C群 E群(国際教育インスティテュートB群)
を中心に	を中心に	を中心に	を中心に
・全学共通教養教育科目 E群 ・選択科目Ⅲ	・全学共通教養教育科目 B群・D群・E群 ・選択科目Ⅲ	・全学共通教養教育科目 B群・D群・E群 ・卒業研究プロジェクト B群 ・選択科目Ⅲ	・全学共通教養教育科目 B群・D群・E群 ・卒業研究プロジェクト B群 ・選択科目Ⅲ
を加えて、自分の興味関心のある科目を履修する。	を加えて、自分の興味関心のある科目を履修する。	を加えて、自分の興味関心のある科目を履修する。	を加えて、自分の興味関心のある科目を履修する。

年次別履修計画と年間登録単位数（目安）

下表のとおり最低卒業必要単位数は124単位ですが、これに各人の希望する科目を加え、年次別の年間登録単位数目安(38～46単位)となるよう余裕を持って登録履修するよう心がけてください。

科目群				1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	卒業必要単位数			
選択科目Ⅰ	選択科目Ⅰ－Ⅰ							20 単位以上			
	オリエンテーション科目		4					28 単位以上			
	基礎能力養成科目			2	2						
	基礎科目		8	6	2						
		国際教育インスティテュートA群－Ⅰ	2	2							
	導入科目	A 群	国際教育インスティテュートA群－Ⅱ	2	4	2					
選択科目Ⅱ	選択科目Ⅰ－2							64 単位以上			
	導入科目	B 群			2	2					
	卒業研究プロジェクト 展開科目	A 群				2	2		2	(注)4 or 8	
		B 群					2		2		
		A 群									
		B 群									
C 群											
選択科目Ⅲ	展開科目		E 群	国際教育インスティテュートB群		6	6	2	2		
	選択科目Ⅱ－2										
	展開科目		D 群								
	他学部設置科目、チュービンゲン大学 IES 科目、大学コンソーシアム単位互換科目、同志社女子大学単位互換科目、日本語・日本文化科目、国際教育インスティテュート設置科目、教職課程における教科に関する科目の一部(2014 年度以降生のみ)、図書館司書課程・学校図書館司書課程に関する科目の一部(2018 年度以降生のみ)		国際インスティテュート A・B 群以外で政策学部が履修を認める科目								
	全学共通教養教育科目	外国語教育科目	A 群		3	3	1	1			8 単位以上
			B 群								
C 群				2	2					4 単位以上	
D 群											
全学共通教養教育科目	同志社科目、キャリア形成支援科目、国際教養科目、クリエイティブ・ジャパン科目、人文科学系科目、社会科学系科目、自然・人間科学系科目、先端・複合領域科目、プロジェクト科目、保健体育科目		E 群							12 単位以上	
					+				124 単位		
				各人が希望する科目							
				↓							
年間登録単位数(目安)				38～40	42～44	44～46	44～46				

(注) 2014 年度以前生は 8 単位、2015 年度以降生は 4 単位

- ・年次別履修計画はあくまでも一例です。
- ・各科目群の必要単位数だけでは、卒業必要単位数(124 単位)を履修できません。各人の興味関心にしたがって選択科目Ⅰ、Ⅱ、Ⅲおよび全学共通教養教育科目から適宜選択・履修してください。
- ・選択科目Ⅱの展開科目 A・B・C 群の履修にあたっては P.18 の「政策レファレンス」を参照してください。

履修手順

履修計画は 1 年間の学習活動だけでなく、将来の進路にも関わりますので慎重に行う必要があります。

履修計画を立てるには『政策学部登録要領』等を熟読し、登録に必要な情報を確実に得ることが重要です。そのうえで必要と思われる説明会や先行登録に必ず参加してください。また、履修相談なども設けてありますので、疑問や不明な点がある場合は遠慮なく相談に来てください。

以下に登録までの手順を簡単に示しています。詳細は『政策学部登録要領』を確認してください。

1. 『政策学部履修要項』、『政策学部登録要領』、『同志社大学シラバス』、『政策学部時間割表』で登録日程、履修体系など内容をよく確認する。
2. 大学がクラスを指定する科目（FYE 等）について、各自の受講曜日講時を確認する。
3. 上記のクラス指定科目が入っていない曜日講時に開講される科目について、シラバス等で講義内容を調べ、各自の履修目的にあった科目を探す。
4. 外国語・全学共通教養教育科目説明会、教職課程・司書課程説明会や履修相談などの日程を確認し、履修を希望する場合は参加する。
5. 先行登録が必要な科目（「外国語入門Ⅰ・Ⅱ」、「教職コンピュータ実習」等）を確認し、履修を希望する場合は WEB 先行登録または所定の日時・場所で先行登録する。
6. クラス指定科目、先行登録科目以外について一般登録する。
* 「First Year Experience」等のクラス指定科目や「外国語入門Ⅰ・Ⅱ」等の各自が先行登録を行った科目は既に登録済ですので、それ以外の一般登録科目のみ WEB で登録してください。
* 最低登録必要単位数、最高登録単位数などを確認してください。
7. 登録科目を受講する
登録エラーのある科目は受講できません。

科目ナンバリングについて

各科目には科目ナンバリングが定義されています。科目ナンバリングとは、授業科目に番号、分類を付与することで、学修の段階や順序がわかるように表示したものであり、DUET などで確認できます。詳細は以下の URL を確認してください。

<https://clf.doshisha.ac.jp/numbering/numbering.html>



I - 3. 学びの指針

政策レファレンス

～これから広範な政策領域を学んでいくにあたっての指針～

これから政策を学んでいくみなさんに、広範な政策領域の中から自らの興味関心を見極める指針として、選択科目Ⅱの展開科目A群からD群を中心とした「政策レファレンス」を策定しています。複数テーマを常に意識しながら、1年次から計画的に学習するようにしてください。

■国際貢献を考える

途上国の開発問題や地球環境問題などの解決のために、世界各国の協力関係が欠かせなくなっている。国際社会において日本が果たすべき役割を、政治、経済、外交などの複合的な観点から考える。

基礎科目

導入科目

- 【展開 A 群】 国際政治学、国際貿易、国際金融入門、開発政策、現代国際政治、政策分析、国際法
- 【展開 B 群】 政策評価論、国際協力政策、国際政治史、応用政策分析、国際金融市場政策、グローバル経済論、国際機構、国際平和政策論、比較政治学
- 【展開 C 群】 行政責任論、比較政策論、外書講読(英)
- 【展開 D 群】 政策特殊講義Ⅰ、政策特殊講義Ⅱ
- 【他学部設置科目】 国際経済法(法)、※国際労働法(法)

※隔年開講

■地域連携を考える

過疎問題、限界集落、耕作放棄地問題、地域防災・防犯、環境汚染問題など、地域、すなわちローカル・グローバル両方の「社会」における課題を地域間連携・国際連携の視点で考える。

基礎科目

導入科目

- 【展開 A 群】 政策過程論、政策形成論、公共性論、政治行動学、行政学、地方自治論、政府体系論、地域政策、行政法(総論)、行政法(救済)、国際政治学、現代国際政治
- 【展開 B 群】 政策実施論、政策評価論、国際政治史、環境政策、文化政策、環境マネジメント、応用公共経済学、開発政策、アジア経済論、NGO・NPO 論、ジェンダー政策、ジェンダーと社会構造、スポーツ法政策、教育政策、リスク管理政策、国際平和政策論、比較政治学
- 【展開 C 群】 コミュニティ創造政策、行政苦情救済論、金融政策

■人権と安全・安心を考える

メディア、企業、紛争、自然災害等によって侵害される人権を、いかにして「生得」の権利として保障するか、精神・身体・経済の各領域のみならず、自己決定権などの「新しい人権」を含めて考える。

基礎科目

導入科目

- 【展開 A 群】 公共性論、国際政治学、現代国際政治、社会保障制度、人的資源管理、行政法(総論)、行政法(救済)
- 【展開 B 群】 政策評価論、国際政治史、国際平和政策論、比較政治学、ジェンダー政策、ジェンダーと社会構造
- 【展開 C 群】 行政苦情救済論、雇用関係法

■環境を考える

グローバル社会の中で、国際社会と国内の地域社会と両方を視野に入つつ、環境問題とその対策(環境政策)を考える。

基礎科目

導入科目

- 【展開 A 群】 政策形成論、地方自治論、公共性論、政策分析、公共経済学、国際政治学、開発政策
- 【展開 B 群】 政策評価論、国際機構、環境政策、科学技術政策、環境マネジメント、応用公共経済学、グローバル経済論、国際協力政策、NGO・NPO 論、政策法務
- 【展開 C 群】 コミュニティ創造政策、比較政策論、行政苦情救済論、環境法

■人を活かす経営を考える

企業、行政などの組織と人について学ぶ。組織の構造や機能と組織を構成する個人の行動が、どのように結びつき組織が運営されているかを理解し、考える機会として欲しい。

基礎科目

導入科目

- 【展開 A 群】 現代社会と組織、人的資源管理、意思決定論、経営組織論
- 【展開 B 群】 現代組織論、行政組織論、NGO・NPO 論、ジェンダー政策、ジェンダーと社会構造
- 【展開 C 群】 雇用関係法、ベンチャー政策、コミュニティ創造政策
- 【他学部設置科目】 産業関係論(1)・(2)(社会)、労働管理論(1)・(2)(社会)、労働市場論(1)・(2)(社会)

■京都創生を考える

わが国の公共政策、地域政策、文化政策(協働型まちづくりや観光振興)に関わるプロトタイプとして京都を位置づけ、さらには新たな京都の創造に向けての一助となるような考察を展開することを目指す。

基礎科目

- 【展開 A 群】 公共性論、地方自治論、地域政策
- 【展開 B 群】 NGO・NPO 論、文化政策、観光政策、環境政策、教育政策、京都観光論
- 【展開 C 群】 コミュニティ創造政策、ベンチャー政策、公務員制度
- 【他学部設置科目】 商店立地論(商)、日本美術史(1)・(2)(文)
- 【全学共通教養教育科目】 日本史(1)・(2)、プロジェクト科目1・2

■スポーツと文化創造を考える

スポーツや文化は、国境を越え世界の人々を結びつける。また、過去の歴史や伝統と、現在や未来を結びつける働きももつ。日本の地域社会の豊かさの観点や、国際関係の面から、スポーツと文化を考える。

基礎科目

導入科目

- 【展開 A 群】 地方自治論、地域政策、公共経済学、経営組織論、人的資源管理
- 【展開 B 群】 行政法論、応用公共経済学、行政組織論、行政法論、NGO・NPO 論、文化政策、スポーツ法政策
- 【展開 C 群】 コミュニティ創造政策、政策法務、行政苦情救済論、雇用関係法
- 【展開 D 群】 政策特殊講義Ⅱ、政策特殊講義Ⅲ

■政府や地方自治体の運営に携わる

国会議員や地方議員、国際公務員・国家公務員・地方公務員を目指し、政策の立案や評価のプロセスを実践的に学ぶ。早い時期から将来の目標を見据えることで、日々の学びが公務員試験などに結びつくことが期待される。

基礎科目

法学入門、政治学入門

導入科目

B 群 キャリアデザイン1～実践的キャリア論～

- 【導入 A 群】 憲法(人権)、憲法(統治)、入門ミクロ経済学、入門マクロ経済学
- 【展開 A 群】 地方自治論、行政法(総論)、行政学、応用ミクロ経済学、応用マクロ経済学
- 【展開 B 群】 政策評価論、行政法論、行政組織論
- 【展開 C 群】 公務員制度、行政責任論

■専門職・プロフェッショナルを目指す

政策学部を3年間、総合政策科学研究科を1年間で修了し、最短4年で「修士」学位を取得できる。大学院修了者は、研究者、公務員、ジャーナリスト、独立行政法人、研究開発法人など様々な分野で活躍している。

基礎科目

導入科目

B 群 キャリアデザイン1～実践的キャリア論～

- 【展開 C 群】 外書講読(英)
- 【展開 D 群】 政策特殊講義Ⅰ、政策特殊講義Ⅱ

※早期卒業制度は学部1年次秋学期もしくは2年次春学期終了時までの申請が必要です。希望する学生は、演習(ゼミ)担当教員に相談してください。

★上記各レファレンスには、各々関連する科目として「大学コンソーシアム京都単位互換科目」があります。なお、他学部設置科目については、当該科目を開設学部からの指示により、政策学部生が登録履修できない場合があります。

I - 4. 政策学科 開講科目一覧 政策学科国際専修コース 開講科目一覧

政策学部において「学士（政策学）（同志社大学）」の学位を取得するために学修すべき科目（卒業に必要な単位を修得できる科目）をすべて掲載しています。

開講科目一覧表の各欄について

**期間
時間** 欄 …………… その科目の講義が実施される期間と、週当たりの時間数を表しています。
〈例〉

春 2： 春学期に週 1 回 90 分の講義を実施

隔週春 4：春学期に隔週で 90 分の講義を 2 講時連続で実施

**開講
校地** 欄 …………… 今：今出川校地
田：京田辺校地
交流セ：大学のまち交流センター（キャンパスプラザ京都）
を表しています。

※シラバスで授業実施方法（対面授業／ネット配信授業等）を確認のうえ登録すること。

**配当
年次** 欄 …………… その科目が履修可能な年次を表しています。例えば「1～」は 1 年次生だけでなく 2 年次生以降も履修可能ですが、「1」は 1 年次生のみしか履修することができません。

**他学部生
履修可否** 欄 …………… 政策学部以外の学生が政策学部設置科目を履修する際に履修が可能であるかを表しています。

備 考 欄 …………… 先行登録などの記載がある科目は、必ず『政策学部登録要領』等を参照してください。

〈例〉

① **2015 年度生～** の記載がある科目は 2008～2014 年度生は登録できません。

② 「2008 年度生のみ」の記載がある科目は、配当年次が「1 年次～」でも 2009～2023 年度生は登録できません。

グレーの科目 …… 本年度は開講されない科目を表しています。

他学部で開講される科目について

政策学部のカリキュラムでは他学部で開講される科目を履修することが可能です。登録履修が可能な科目の一部は政策学部科目と同様に『政策学部時間割表』に掲載しています。ただし、配当年次や履修条件が設定されている場合があったり、『政策学部時間割表』に掲載していない科目もありますので、登録履修する場合は、その学部の『履修要項』『登録要領』を参照してください（政策学部事務室に全学部の『履修要項』を置いています）。

選択科目 I

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
選択科目Ⅰ－１										
[オリエンテーション科目]										
10702001	001	First Year Experience	①	2	OFER FELDMAN	春 2	今	1	否	大学で登録済 <

登録コード		科目名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
10702002	000	政 策 学 入 門		2	入江 容子 OFER FELDMAN 吉田 徹 柿本 昭人 川口 章 川井 圭司 川上 敏和 風間 規男 久保 真人 真山 達志 根岸 祥子 野間 敏克 岡本由美子 大島佳代子 太田 肇 多田 実 田中 宏樹 山谷 清志 月村 太郎 足立 光生 井口 貢 川浦 昭彦 武蔵 勝宏 小谷 真理 畑本 裕介 藤本 哲史 三好 博昭 中田 喜文 野田 遊 新見 陽子 田中 秀樹 富樫 耕介 中尾 祐人 大和田順子 小阪 真也 増淵あさ子 伊川 萌黄 三上 真嗣	春 2	今	1	否	大学で登録済 ※教員による オムニバス 講義

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
[基礎能力養成科目]										
10702003	001	アカデミック・スキル1(読解) 「男性を考える:男性学入門」	①	2	夏 世明	秋 2	今	1	否	⑦、⑧クラス は英語により 授業を行う 先行登録 ※詳細は 「政策学部登録要綱」 を参照のこと
〃	002	アカデミック・スキル1(読解) 「日本における「マイノリティ」問題を考える」	②		増渕あさ子					
〃	003	アカデミック・スキル1(読解) 「デジタル・テクノロジーと民主主義について考える」	③		山内 富美					
〃	004	アカデミック・スキル1(読解) 「現代社会と法制度を読み解く」	④		石川 愛世					
〃	005	アカデミック・スキル1(読解) 「比較行政学入門」	⑤		三上 真嗣					
〃	006	アカデミック・スキル1(読解) 「戦後の日米関係」	⑥		北村 知史					
〃	007	アカデミック・スキル1(読解) 「探究型学習による文献読解/グループ研究」	⑦		伊川 萌黄					
〃	008	アカデミック・スキル1(読解) 「探究型学習による文献読解/グループ研究」	⑧		伊川 萌黄					
〃	009	アカデミック・スキル1(読解) 「現代グローバル経済を読み解く」	⑨		田宮 憲					
〃	010	アカデミック・スキル1(読解) 「戦後の日米関係」	⑩		北村 知史					
〃	011	アカデミック・スキル1(読解) 「現代グローバル経済を読み解く」	⑪		田宮 憲					
〃	012	アカデミック・スキル1(読解) 「国際人権・人道法政策入門」	⑫		小阪 真也					
〃	013	アカデミック・スキル1(読解) 「国際人権・人道法政策入門」	⑬		小阪 真也					
〃	014	アカデミック・スキル1(読解) 「食文化論」	⑭		大和田順子					
〃	015	アカデミック・スキル1(読解) 「日本の公共政策と国際行政」	⑮		三上 真嗣					
〃	101	アカデミック・スキル1(分析) 「社会課題解決とSDGsを考えるーヒアリング調査と分析」	⑩①	2	中島 恵理					
〃	102	アカデミック・スキル1(分析) 「教育の政策論的分析入門」	⑩②		中村 智帆					
〃	103	アカデミック・スキル1(分析) 「アンケートによるデータ収集と分析」	⑩③		松村 憲一					
〃	104	アカデミック・スキル1(分析) 「社会課題解決とSDGsを考えるーヒアリング調査と分析」	⑩④		中島 恵理					
〃	105	アカデミック・スキル1(分析) 「社会ネットワークデータの収集と分析」	⑩⑤		中嶋 学					
〃	106	アカデミック・スキル1(分析) 「社会ネットワークデータの収集と分析」	⑩⑥		中嶋 学					
〃	107	アカデミック・スキル1(分析) 「基礎数学」	⑩⑦		三好 博昭					
〃	108	アカデミック・スキル1(分析) 「Excelで学ぶ社会科学の基礎分析」	⑩⑧		夏 世明					
〃	109	アカデミック・スキル1(分析) 「現代社会と法制度を考える」	⑩⑨		石川 愛世					

登録コード		科目名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
10702003	110	アカデミック・スキル1(分析) 「政策分析とは何だろう？」	⑪⑩	2	中村 智帆	秋 2	今	1	否	先行登録 ※詳細は 「政策学部登録要綱」 を参照のこと
//	111	アカデミック・スキル1(分析) 「統計ソフトRを用いた統計的因果推論の実践」	⑪⑪		伊川 萌黄					
//	112	アカデミック・スキル1(分析) 「政策学の思考方法を学ぶ」	⑪⑫		山谷 清志					
//	113	アカデミック・スキル1(分析) 「日本ではなぜ賃金が上がらず、インフレも生じないのか」～グラフから解明しよう～」	⑪⑬		小巻 泰之					
//	114	アカデミック・スキル1(分析) 「国際法政策入門」	⑪⑭		小阪 真也					
10702004	001	アカデミック・スキル2(読解) 「アカデミックなスキルとはなにか? ～生かせる学習技術を身に付ける」	①	2	谷 亮治	春 2	今	2	否	先行登録
//	002	アカデミック・スキル2(読解) 「子どもの政策について読み解く」	②		中村 智帆					
//	003	アカデミック・スキル2(読解) 「社会ネットワークデータの解釈および議論」	③		中嶋 学					
//	004	アカデミック・スキル2(読解) 「日本の戦後と冷戦世界」	④		増渕あさ子					
//	005	アカデミック・スキル2(読解) 「探究型学習による文献読解 / グループ研究」	⑤		伊川 萌黄					
//	006	アカデミック・スキル2(読解) 「経営組織の基本調査法」	⑥		夏 世明					
//	007	アカデミック・スキル2(読解) 「戦後の日米関係」	⑦		北村 知史					
//	008	アカデミック・スキル2(読解) 「政策の評価指標を読み解くー安全保障・開発協力・科学技術外交のコントロール」	⑧		三上 真嗣					
//	101	アカデミック・スキル2(分析) 「世界の文化と宗教の多様性」	⑩①	2	飯塚 宜子					
//	102	アカデミック・スキル2(分析) 「対象に適切な〈物差し〉をあてがう」	⑩②		柿本 昭人					
//	103	アカデミック・スキル2(分析) 「判例精読分析」	⑩③		中尾 祐人					
//	104	アカデミック・スキル2(分析) 「社会科学のための多変量データ解析」	⑩④		中田 喜文					
//	105	アカデミック・スキル2(分析) 「統計ソフトRを用いた統計的因果推論の実践」	⑩⑤		伊川 萌黄					
//	106	アカデミック・スキル2(分析) 「国際人権・人道法と問題解決メカニズム」	⑩⑥		小阪 真也					
//	107	アカデミック・スキル2(分析) 「公共政策の評価手法」	⑩⑦		三上 真嗣					
//	108	アカデミック・スキル2(分析) 「自治体における公共サービスとオープンデータ活用」	⑩⑧		山内 富美					
//	109	アカデミック・スキル2(分析) 「判例精読分析」	⑩⑨		中尾 祐人					

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
10702004	201	アカデミック・スキル 2(伝達) 「グローバルな環境問題と私たちの暮らし」	②01	2	飯塚 宜子	春 2	今	2	否	②08、②09 クラス は英語により 授業を行う 先行登録
//	202	アカデミック・スキル 2(伝達) 「自分の思いを伝える方法を学ぶ」	②02		久保 友美					
//	203	アカデミック・スキル 2(伝達) 「公共スペースに関する課題について理解する」	②03		山内 富美					
//	204	アカデミック・スキル 2(伝達) 「政策ディベート」を通して日本の教育や社会的課題の課題を考える」	②04		中村 智帆					
//	205	アカデミック・スキル 2(伝達) 「現代グローバル経済の問題点を考える」	②05		田宮 憲					
//	206	アカデミック・スキル 2(伝達) 「社会ネットワークデータの解釈とプレゼンテーション」	②06		中嶋 学					
//	207	アカデミック・スキル 2(伝達) 「現代グローバル経済の問題点を考える」	②07		田宮 憲					
//	208	アカデミック・スキル 2(伝達) 「映像から読み解く「現代世界と差異」」	②08		増淵あさ子					
//	209	アカデミック・スキル 2(伝達) 「映像から読み解く「現代世界と差異」」	②09		増淵あさ子					
//	210	アカデミック・スキル 2(伝達) 「論点を立てて考察する」	②10		山内 富美					
[基礎科目]										
10702011		政 策 思 想		2	柿本 昭人	春 2	今	1 ～	否	
10702012		政 治 学 入 門		2	吉田 徹	春 2				
10700311		現 代 日 本 政 治		2	野田 遊	秋 2				
10702013		法 学 入 門		2	武蔵 勝宏	春 2				
10702014		現 代 経 済 入 門		2	野間 敏克	春 2				
10702015		経 済 学 入 門		2	川上 敏和	秋 2				
10702016		組 織 論 入 門		2	太田 肇	春 2				
10702017		統 計 学 入 門		2	多田 実	秋 2				
[〈国際教育インスティテュート A 群－I〉]										
12001302		Introduction to the Japanese Economy		2	I-Chun CHEN	秋 2	今	1 ～	否	国際専修コース生 (2015年度以降生) のみ履修可
12001303		Macroeconomics	●		Colin DAVIS	春 2				
12001304		Microeconomics	▲		Colin DAVIS	秋 2				
12001306		Introduction to Business Administration	■		Marc BREMER	秋 2				
12001403		Introduction to Japanese Law			Colin P.A. JONES	秋 2				
12001404		Power and Politics in Japan			Gill STEEL	春 2				

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
[導入科目 A 群]										
10702031		政 策 過 程 論		2	風間 規男	秋 2	今	1 ~	否	(注) 国際専修コース生 は、前項と同じ マーク(●、▲、■) 同士の科目のう ち、どちらか1 科目のみしか履修 できない。 2019年度以前生のみ 2020年度生～ 2019年度以前生のみ 2020年度生～
10702032		日 本 外 交		2	楠 綾子	秋 2		2 ~		
10700321		憲 法 (統 治)		2	大島佳代子	秋 2		1 ~		
10700322		憲 法 (人 権)		2	大島佳代子	秋 2		1 ~		
10702033		私 法 入 門		2	川井 圭司	春 2		2 ~		
10702034		行 政 法 入 門		2	松本未希子	春 2				
10701031		ミ ク ロ 経 済 学	▲	4	川上 敏和 三好 博昭	通年2				
10701035		入門ミクロ経済学	▲	2	川上 敏和	春 2				
10701032		マ ク ロ 経 済 学	●	4	川浦 昭彦 小巻 泰之	通年2				
10701036		入門マクロ経済学	●	2	川浦 昭彦	春 2				
10702035		現代の生活問題		2	畑本 裕介	秋 2				
10702036		人 と 組 織		2	久保 真人	秋 2				
10702037		経 営 学 入 門	■	2	田中 秀樹	秋 2		1 ~		
10702038		社 会 調 査 入 門		2	松村 憲一	秋 2				
〈国際教育インスティテュート A 群－Ⅱ〉										
12001207		Introduction to Globalization		2	Gregory POOLE	春 2	今	1 ~	否	国際専修コース生 (2015年度以降生) のみ履修可
12001402		Winners and Losers: Introduction to Political Theory			Garth WARRIES	春 2				
12001405		Introduction to Comparative Policymaking			Aysun UYAR	秋 2		2 ~		
12001414		Political Behavior, Campaigns and Elections			Gill STEEL	秋 2				
選択科目 I－2										
[導入科目 B 群]										
10702061		キャリアデザイン1 「実践的キャリア論」			足立 光生	秋 2	今	1・2	否	
10702062	201	キャリアデザイン2 「インターンシップ」	②①	2	多田 実 関 智宏	通年集中	交流セ	1 ~	否	※登録にあつた ての詳細は「政 策学部登録要 領」を参照の こと
//	001	キャリアデザイン2 「インターンシップ」	①	2	三吉 勉 浮村 眞弓 鶴見 香織 松川 晴美 今村 大樹	春集中	田	2・3		
//	051	キャリアデザイン2 「インターンシップ」	⑤①	2	三吉 勉 浮村 眞弓 鶴見 香織 松川 晴美 今村 大樹		今			
//	002	キャリアデザイン2 「インターンシップ」	②	2	休講					
//	052	キャリアデザイン2 「インターンシップ」	⑤②	2	休講					
10702118	001	政 策 ト ピ ッ ク ス 「自治体における公共施設の活用を考える」	①	2	壬生 裕子	春 2	今	2 ~	可	⑦、⑩クラス は英語により 授業を行う。 ※④、⑧、⑨、 ⑬、⑭、⑮、⑯ クラスは先行 登録
10702119	002	政 策 ト ピ ッ ク ス 「自治体における市民参加を考える」	②		壬生 裕子	春 2				
10702643	003	政 策 ト ピ ッ ク ス 「公共政策と政治哲学－米国ブッシュ政権の外交政策とシオ・シュトラウスの思想」	③		早瀬 善彦	春 2				
10702605	004	政 策 ト ピ ッ ク ス 「は都市問題を PBL 利用・最新マーケティング手法を活用して文化政策の問題を発見・解決する」	④		多田 実	通年集中	交流セ			
10702614	005	政 策 ト ピ ッ ク ス 「府省・大学政策連携講座－国の行政機関による政策課題への取組み－」	⑤		三上 真嗣	秋 2	今			
10702644	006	政 策 ト ピ ッ ク ス 「企業が直面する課題から考える PBL」	⑥		風間 規男	春 2				

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
10702646	007	政 策 ト ピ ッ ク ス 「エネルギー政策に関する現代課題」	⑦	2	伊川 萌黄	秋 2	今	2 ～	可	⑦、⑩クラス は英語により 授業を行う。 ※④、⑧、⑨、 ⑬、⑭、⑮、⑯ クラスは先行 登録
10702627	008	政 策 ト ピ ッ ク ス 「地方創生メディアプロデュース論Ⅰ」	⑧		川本 勇 真山 達志	春 2				
10702628	009	政 策 ト ピ ッ ク ス 「地方創生メディアプロデュース論Ⅱ」	⑨		川本 勇 真山 達志	秋 2				
10702629	010	政 策 ト ピ ッ ク ス 「人間心理と政治・社会的プロセスと決断における理性と感情」	⑩		OFER FELDMAN	秋 2	海外			
10702631	011	政 策 ト ピ ッ ク ス 「新型コロナウイルスと自治体政策」	⑪		上田 誠	春 2	今			
10702632	012	政 策 ト ピ ッ ク ス 「移行期の正義を考える」	⑫		小阪 真也	秋 2				
10702633	013	政 策 ト ピ ッ ク ス 「SDGs 時代のサステナブルな地域づくり」	⑬		大和田順子	秋 2				
10702647	014	政 策 ト ピ ッ ク ス 「[コロナ禍とその後の社会] について学際的に考える」	⑭		川上 敏和 田中 秀樹 川口 章 三好 博昭 藤本 哲史 大島佳代子 柿本 昭人	春 2				
10702635	015	政 策 ト ピ ッ ク ス 「キャリアデザイン特論：様々な仕事の視点」	⑮		畑本 裕介	春 2				
10702636	016	政 策 ト ピ ッ ク ス 「KOP とめぐる、[京都の仕事] ～イノベーション、社会課題解決、伝統文化～」	⑯		川井 圭司	春集中	1 ～			
10702637	017	政 策 ト ピ ッ ク ス 「トリドール・JAL とコラボする産学連携 PBL (問題発見解決型学習)」	⑰		多田 実	春隔週 4	2 ～			
10702638	018	政 策 ト ピ ッ ク ス 「京セラ・小川珈琲とコラボする産学連携 PBL (問題発見解決型学習)」	⑱		多田 実	秋隔週 4				
10702639	019	政 策 ト ピ ッ ク ス 「AR(拡張現実)を活用した新しい広告媒体への挑戦」	⑲		多田 実	秋隔週 4	1 ～	否		
10702640	020	政 策 ト ピ ッ ク ス 「ソーシャル・イノベーションの理論と実践」	⑳		大和田順子	秋 2	2 ～	可		
10702641	021	政 策 ト ピ ッ ク ス 「沖縄の「基地問題」を考える」	㉑		増渕あさ子	秋 2				

選択科目 II

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
[選択科目Ⅱ－1]										
[卒業研究プロジェクト A群]										
10700101	001	演 習 I 「自治体組織の課題解決」	①	2	入江 容子	秋 2	今	2	否	※開講予定ク ラスを掲載 しています。 選考・登録 方法等の詳 細は、5月 下旬に発表 予定です。
//	003	演 習 I 「政治と政策を比較する」	③		吉田 徹					
//	005	演 習 I 「第二次世界大戦後から現在に至る文化の変容と社会の変容」	⑤		柿本 昭人					
//	006	演 習 I 「ジェンダーと人的資源管理」	⑥		川口 章					
//	007	演 習 I 「スポーツの法と政策」	⑦		川口 章					
//	008	演 習 I 「環境と経済」	⑧		川上 敏和					
//	010	演 習 I 「政策立案工房」	⑩		風間 規男					
//	011	演 習 I 「人と組織」	⑪		久保 真人					
//	012	演 習 I 「自治体の政策形成」	⑫		真山 達志					
//	014	演 習 I 「世界のマネーと国際社会の政策課題(1)」	⑭		根岸 祥子					
//	015	演 習 I 「日本の経済政策」	⑮		野間 敏克					
//	016	演 習 I 「SDGsとグローバル・パートナーシップの在り方-導入」	⑯		岡本由美子					
//	017	演 習 I 「時事問題を法的に考える」	⑰		大島佳代子					
//	019	演 習 I 「マーケティング・クリエイティブ基礎」	⑲		多田 実					
//	020	演 習 I 「地域経営①」	⑳		田中 宏樹					
//	024	演 習 I 「国際政治入門」	㉔		月村 太郎					
//	025	演 習 I 「企業、投資、市場の基礎を学ぼう」	㉕		足立 光生					
//	026	演 習 I 「文化政策と観光政策」	㉖		井口 貢					
//	029	演 習 I 「現代社会の諸問題」	㉙		川浦 昭彦					
//	030	演 習 I 「法学入門」	③⑩		武藏 勝宏					
//	032	演 習 I 「環境問題をめぐる法と政策」	③⑫		小谷 真理					
//	034	演 習 I 「生活保障」	③⑭		畑本 裕介					
//	035	演 習 I 「家族・子ども・ジェンダー」	③⑮		藤本 哲史					

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
10700101	036	演 習 I 「シンクタンク研究員体験」	③⑥	2	三好 博昭	秋 2	今	2	否	※開講予定ク ラスを掲載 しています。 選考・登録 方法等の詳 細 は、5 月 下旬に発表 予定です。
//	037	演 習 I 「データサイエンスとは何か？」	③⑦		中田 喜文					
//	038	演 習 I 「市民ニーズと行政サービス」	③⑧		野田 遊					
//	039	演 習 I 「 国 際 開 発 」	③⑨		新見 陽子					
//	040	演 習 I 「人材マネジメント」	④⑩		田中 秀樹					
//	041	演 習 I 「国際関係論入門」	④⑪		富樫 耕介					
//	042	演 習 I 「行政法研究」	④⑫		中尾 祐人					
10700111	001	演 習 II 「自治体組織の課題解決」	①	2	入江 容子	春 2	今	3	否	※⑦クラスは 演習Ⅲ⑦ク ラスと合わ せて登録の こと
//	003	演 習 II 「比較政治学の応用と実践」	③		吉田 徹					
//	005	演 習 II 「第二次世界大戦後から現在に至る文化の変容と社会の変容」	⑤		柿本 昭人					
//	006	演 習 II 「ジェンダーと人的資源管理」	⑥		川口 章					
//	007	演 習 II 「スポーツの法と政策」	⑦		川井 圭司					
//	008	演 習 II 「環境経済学Ⅰ」	⑧		川上 敏和					
//	010	演 習 II 「政策立案工房」	⑩		風間 規男					
//	011	演 習 II 「人 と 組 織 」	⑪		久保 真人					
//	012	演 習 II 「自治体の政策形成」	⑫		真山 達志					
//	014	演 習 II 「世界のマネーと国際社会の政策課題(2)」	⑭		根岸 祥子					
//	015	演 習 II 「日本の経済政策」	⑮		野間 敏克					
//	016	演 習 II 「SDGsとグローバル・パートナーシップ展開Ⅰ」	⑯		岡本由美子					
//	017	演 習 II 「社会問題を法的に考える(1)」	⑰		大島佳代子					
//	018	演 習 II 「個人を生かす組織Ⅱ」	⑱		太田 肇					
//	019	演 習 II 「マーケティング・クリエイティブ実践」	⑲		多田 実					
//	020	演 習 II 「地域経営②」	⑳		田中 宏樹					
//	022	演 習 II 「政策学の応用」	㉒		山谷 清志					

登録コード		科目名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
10700111	024	演 習 Ⅱ 「国際政治基礎研究(1)」	②4	2	月村 太郎	春 2	今	3	否	
//	025	演 習 Ⅱ 「企業、投資、市場の基礎を学ぼう」	②5		足立 光生					
//	026	演 習 Ⅱ 「文化政策と観光政策」	②6		井口 貢					
//	029	演 習 Ⅱ 「現代社会の諸問題」	②9		川浦 昭彦					
//	030	演 習 Ⅱ 「法律基本科目」	③0		武藏 勝宏					
//	032	演 習 Ⅱ 「環境問題をめぐる法と政策」	③2		小谷 真理					
//	034	演 習 Ⅱ 「生活保障」	③4		畑本 裕介					
//	035	演 習 Ⅱ 「家族・子ども・ジェンダー」	③5		藤本 哲史					
//	036	演 習 Ⅱ 「シンクタンク研究員体験」	③6		三好 博昭					
//	037	演 習 Ⅱ 「データサイエンス入門2」	③7		中田 喜文					
//	038	演 習 Ⅱ 「市民ニーズと政策」	③8		野田 遊					
//	039	演 習 Ⅱ 「国際開発」	③9		新見 陽子					
//	040	演 習 Ⅱ 「人材マネジメント」	④0		田中 秀樹					
//	041	演 習 Ⅱ 「国際関係論」	④1		富樫 耕介					
//	042	演 習 Ⅱ 「行政法研究」	④2		中尾 祐人					
10700121	001	演 習 Ⅲ 「自治体組織の課題解決」	①	2	入江 容子	秋 2	今	3	否	※⑦クラスは 演習Ⅱ⑦ク ラスと合わ せて登録の こと
//	003	演 習 Ⅲ 「比較政治学調査研究の基礎」	③		吉田 徹					
//	005	演 習 Ⅲ 「第二次世界大戦後から現在に至る文化の変容と社会の変容」	⑤		柿本 昭人					
//	006	演 習 Ⅲ 「ジェンダーと人的資源管理」	⑥		川口 章					
//	007	演 習 Ⅲ 「スポーツの法と政策」	⑦		川口 章					
//	008	演 習 Ⅲ 「環境経済学2」	⑧		川上 敏和					
//	010	演 習 Ⅲ 「政策立案工房」	⑩		風間 規男					
//	011	演 習 Ⅲ 「人と組織」	⑪		久保 真人					
//	012	演 習 Ⅲ 「自治体の政策形成」	⑫		真山 達志					

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
10700121	014	演 習 Ⅲ 「世界のマネーと国際社会の政策課題 (3)」	⑭	2	根岸 祥子	秋 2	今	3	否	
//	015	演 習 Ⅲ 「日 本 の 経 済 政 策」	⑮		野間 敏克					
//	016	演 習 Ⅲ 「SDGsとグローバルパートナーシップ-展開」	⑯		岡本由美子					
//	017	演 習 Ⅲ 「社会問題を法的に考える (2)」	⑰		大島佳代子					
//	018	演 習 Ⅲ 「個人を生かす組織 3」	⑱		太田 肇					
//	019	演 習 Ⅲ 「マーケティング・クリエイティブ応用」	⑲		多田 実					
//	020	演 習 Ⅲ 「地 域 経 営 ③」	⑳		田中 宏樹					
//	022	演 習 Ⅲ 「政策評価の研究」	㉒		山谷 清志					
//	024	演 習 Ⅲ 「国際政治基礎研究 (2)」	㉔		月村 太郎					
//	025	演 習 Ⅲ 「企業、投資、市場の基礎を学ぼう」	㉕		足立 光生					
//	026	演 習 Ⅲ 「文化政策と観光政策」	㉖		井口 貢					
//	029	演 習 Ⅲ 「現代社会の諸問題」	㉙		川浦 昭彦					
//	030	演 習 Ⅲ 「法 律 基 本 科 目」	㉚		武藏 勝宏					
//	032	演 習 Ⅲ 「環境問題をめぐる法と政策」	㉜		小谷 真理					
//	034	演 習 Ⅲ 「生 活 保 障」	㉞		畑本 裕介					
//	035	演 習 Ⅲ 「家族・子ども・ジェンダー」	㉟		藤本 哲史					
//	036	演 習 Ⅲ 「シンクタンク研究員体験」	㊱		三好 博昭					
//	037	演 習 Ⅲ 「データサイエンス入門 3」	㊲		中田 喜文					
//	038	演 習 Ⅲ 「市民ニーズと政策」	㊳		野田 遊					
//	039	演 習 Ⅲ 「国 際 開 発」	㊴		新見 陽子					
//	040	演 習 Ⅲ 「人材マネジメント」	㊵		田中 秀樹					
//	041	演 習 Ⅲ 「国 際 関 係 論」	㊶		富樫 耕介					
//	042	演 習 Ⅲ 「行 政 法 研 究」	㊷		中尾 祐人					

登録コード		科目名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
10700131	001	卒業研究演習Ⅰ 「自治体組織の課題解決」	①	2	入江 容子	春 2	今	4	否	※⑦クラスは 卒業研究演 習Ⅱ⑦クラ スと合わせ て登録のこ と
//	002	卒業研究演習Ⅰ 「政治行動に関する研究方法を学ぶ」	②		OFER FELDMAN					
//	003	卒業研究演習Ⅰ 「アカデミックライティングの基礎」	③		吉田 徹					
//	005	卒業研究演習Ⅰ 「第二次世界大戦後から現在に至る文化の変容と社会の変容」	⑤		柿本 昭人					
//	006	卒業研究演習Ⅰ 「ジェンダーと人的資源管理」	⑥		川口 章					
//	007	卒業研究演習Ⅰ 「スポーツの法と政策」	⑦		川井 圭司					
//	008	卒業研究演習Ⅰ 「論文の書き方1」	⑧		川上 敏和					
//	010	卒業研究演習Ⅰ 「政策立案工房」	⑩		風間 規男					
//	011	卒業研究演習Ⅰ 「人と組織」	⑪		久保 真人					
//	012	卒業研究演習Ⅰ 「行政学と政策研究」	⑫		真山 達志					
//	014	卒業研究演習Ⅰ 「世界のマネーと国際社会の政策課題(4)」	⑭		根岸 祥子					
//	015	卒業研究演習Ⅰ 「日本の経済政策」	⑮		野間 敏克					
//	016	卒業研究演習Ⅰ 「SDGsとグローバルパートナーシップ-応用1」	⑯		岡本由美子					
//	017	卒業研究演習Ⅰ 「レポートの書き方」	⑰		大島佳代子					
//	018	卒業研究演習Ⅰ 「個人を生かす組織4」	⑱		太田 肇					
//	019	卒業研究演習Ⅰ 「学術的な独創性を」	⑲		多田 実					
//	020	卒業研究演習Ⅰ 「地域経営①」	⑳		田中 宏樹					
//	022	卒業研究演習Ⅰ 「学術論文を執筆する能力の準備」	㉒		山谷 清志					
//	024	卒業研究演習Ⅰ 「国際政治応用研究(1)」	㉔		月村 太郎					
//	025	卒業研究演習Ⅰ 「企業戦略、投資戦略、ならびに資本市場政策」	㉕		足立 光生					
//	026	卒業研究演習Ⅰ 「文化政策と観光政策」	㉖		井口 貢					
//	029	卒業研究演習Ⅰ 「現代社会の諸問題」	㉙		川浦 昭彦					
//	030	卒業研究演習Ⅰ 「法律基本科目」	㉚		武蔵 勝宏					
//	032	卒業研究演習Ⅰ 「環境問題をめぐる法と政策」	㉜		小谷 真理					

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
10700131	034	卒業研究演習Ⅰ 「生活保障」	③④	2	畑本 裕介	春 2	今	4	否	
//	035	卒業研究演習Ⅰ 「家族・子ども・ジェンダー」	③⑤		藤本 哲史					
//	036	卒業研究演習Ⅰ 「シンクタンク研究員体験」	③⑥		三好 博昭					
//	037	卒業研究演習Ⅰ 「データサイエンスを社会課題解決に使う1」	③⑦		中田 喜文					
//	038	卒業研究演習Ⅰ 「市民ニーズと政策」	③⑧		野田 遊					
//	039	卒業研究演習Ⅰ 「国際開発」	③⑨		新見 陽子					
//	040	卒業研究演習Ⅰ 「人材マネジメント」	④⑩		田中 秀樹					
//	041	卒業研究演習Ⅰ 「国際関係論」	④⑪		富樫 耕介					
//	042	卒業研究演習Ⅰ 「行政法研究」	④⑫		中尾 祐人					
10700141	001	卒業研究演習Ⅱ 「自治体組織の課題解決」	①	2	入江 容子	秋 2	今	4	否	※⑦クラスは 卒業研究演 習Ⅰ⑦クラ スと合わせ て登録のこ と
//	002	卒業研究演習Ⅱ 「卒業論文執筆への指導」	②		OFER FELDMAN					
//	003	卒業研究演習Ⅱ 「アカデミックライティングの応用」	③		吉田 徹					
//	005	卒業研究演習Ⅱ 「第二次世界大戦後から現在に至る文化の変容と社会の変容」	⑤		柿本 昭人					
//	006	卒業研究演習Ⅱ 「ジェンダーと人的資源管理」	⑥		川口 章					
//	007	卒業研究演習Ⅱ 「スポーツの法と政策」	⑦		川口 章					
//	008	卒業研究演習Ⅱ 「論文の書き方2」	⑧		川上 敏和					
//	010	卒業研究演習Ⅱ 「政策立案工房」	⑩		風間 規男					
//	011	卒業研究演習Ⅱ 「人と組織」	⑪		久保 真人					
//	012	卒業研究演習Ⅱ 「行政学と政策研究」	⑫		真山 達志					
//	014	卒業研究演習Ⅱ 「世界のマネーと国際社会の政策課題(5)」	⑭		根岸 祥子					
//	015	卒業研究演習Ⅱ 「日本の経済政策」	⑮		野間 敏克					
//	016	卒業研究演習Ⅱ 「SDGsとグローバルパートナーシップ-応用2」	⑯		岡本由美子					
//	017	卒業研究演習Ⅱ 「論文の書き方」	⑰		大島佳代子					
//	018	卒業研究演習Ⅱ 「個人を生かす組織5」	⑱		太田 肇					

登録コード		科目名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
10700141	019	卒業研究演習Ⅱ 「研究論文で社会貢献を」	①9	2	多田 実	秋 2	今	4	否	
//	020	卒業研究演習Ⅱ 「地域経営②」	②0		田中 宏樹					
//	022	卒業研究演習Ⅱ 「学術論文を執筆する能力の獲得」	②2		山谷 清志					
//	024	卒業研究演習Ⅱ 「国際政治応用研究(2)」	②4		月村 太郎					
//	025	卒業研究演習Ⅱ 「企業戦略、投資戦略、ならびに資本市場政策」	②5		足立 光生					
//	026	卒業研究演習Ⅱ 「文化政策と観光政策」	②6		井口 貢					
//	029	卒業研究演習Ⅱ 「現代社会の諸問題」	②9		川浦 昭彦					
//	030	卒業研究演習Ⅱ 「法律基本科目」	③0		武藏 勝宏					
//	032	卒業研究演習Ⅱ 「環境問題をめぐる法と政策」	③2		小谷 真理					
//	034	卒業研究演習Ⅱ 「生活保障」	③4		畑本 裕介					
//	035	卒業研究演習Ⅱ 「家族・子ども・ジェンダー」	③5		藤本 哲史					
//	036	卒業研究演習Ⅱ 「シンクタンク研究員体験」	③6		三好 博昭					
//	037	卒業研究演習Ⅱ 「データサイエンスを社会課題解決に使う2」	③7		中田 喜文					
//	038	卒業研究演習Ⅱ 「市民ニーズと政策」	③8		野田 遊					
//	039	卒業研究演習Ⅱ 「国際開発」	③9		新見 陽子					
//	040	卒業研究演習Ⅱ 「人材マネジメント」	④0		田中 秀樹					
//	041	卒業研究演習Ⅱ 「国際関係論」	④1		富樫 耕介					
//	042	卒業研究演習Ⅱ 「行政法研究」	④2		中尾 祐人					
10700152	001	卒業論文	①	2	入江 容子	秋 2	今	4	否	2015年度以降 生のみ履修可 詳細は 「政策学部登録要綱」 を参照のこと。
//	002	//	②		OFER FELDMAN					
//	003	//	③		吉田 徹					
//	005	//	⑤		柿本 昭人					
//	006	//	⑥		川口 章					
//	007	//	⑦		川口 章					
//	008	//	⑧		川上 敏和					
//	010	//	⑩		風間 規男					
//	011	//	⑪		久保 真人					
//	012	//	⑫		真山 達志					
//	014	//	⑭		根岸 祥子					
//	015	//	⑮		野間 敏克					
//	016	//	⑯		岡本由美子					

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
10700152	017	卒 業 論 文	⑪	2	大島佳代子	秋 2	今	4	否	2015 年度以降 生のみ履修可 詳細は 「政策学部登録要領」 を参照のこと。
//	018	//	⑫		太田 肇					
//	019	//	⑬		多田 実					
//	020	//	⑭		田中 宏樹					
//	022	//	⑮		山谷 清志					
//	024	//	⑯		月村 太郎					
//	025	//	⑰		足立 光生					
//	026	//	⑱		井口 貢					
//	029	//	㉑		川浦 昭彦					
//	030	//	㉒		武蔵 勝宏					
//	032	//	㉓		小谷 真理					
//	034	//	㉔		畑本 裕介					
//	035	//	㉕		藤本 哲史					
//	036	//	㉖		三好 博昭					
//	037	//	㉗		中田 喜文					
//	038	//	㉘		野田 遊					
//	039	//	㉙		新見 陽子					
//	040	//	㉚		田中 秀樹					
//	041	//	㉛		富樫 耕介					
//	042	//	㉜		中尾 祐人					
10700161	001	アカデミック・ライティング 「論文執筆の技法を学ぶ」	①	2	太田 肇	春 2	今			先行登録 ※詳細は 「政策学部登録要領」 を参照のこと
//	002	アカデミック・ライティング 「論文執筆の技法を学ぶ」	②		山谷 清志	秋 2				
//	003	アカデミック・ライティング 「論文執筆の技法を学ぶ」	③		OFER FELDMAN	秋 2				
[卒業研究プロジェクト B 群]										
10702147	001	フィールド・リサーチ	①	2	入江 容子	秋集中	今	3 ～	否	※詳細は 「政策学部登録要領」 を参照のこと ※演習担当者の クラスを 登録すること
//	002	//	②		OFER FELDMAN					
//	003	//	③		吉田 徹					
//	005	//	⑤		柿本 昭人					
//	006	//	⑥		川口 章					
//	007	//	⑦		川口 章					
//	008	//	⑧		川上 敏和					
//	010	//	⑩		風間 規男					
//	011	//	⑪		久保 真人					
//	012	//	⑫		真山 達志					
//	014	//	⑭		根岸 祥子					
//	015	//	⑮		野間 敏克					
//	016	//	⑯		岡本由美子					
//	017	//	⑰		大島佳代子					
//	018	//	⑱		太田 肇					
//	019	//	⑲		多田 実					
//	020	//	⑳		田中 宏樹					
//	022	//	㉒		山谷 清志					
//	024	//	㉔		月村 太郎					
//	025	//	㉕		足立 光生					
//	026	//	㉖		井口 貢					

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
10702147	029	フィールド・リサーチ	(29)	2	川浦 昭彦	秋集中	今	3～	否	※詳細は 「政策学部登録要綱」 を参照のこと ※演習担当者の クラスを 登録すること
//	030	//	(30)		武藏 勝宏					
//	032	//	(32)		小谷 真理					
//	034	//	(34)		畑本 裕介					
//	035	//	(35)		藤本 哲史					
//	036	//	(36)		三好 博昭					
//	037	//	(37)		中田 喜文					
//	038	//	(38)		野田 遊					
//	039	//	(39)		新見 陽子					
//	040	//	(40)		田中 秀樹					
//	041	//	(41)		富樫 耕介					
//	042	//	(42)		中尾 祐人					
//	101	//	(101)	2	入江 容子	春集中				
//	102	//	(102)		OFER FELDMAN					
//	103	//	(103)		吉田 徹					
//	105	//	(105)		柿本 昭人					
//	106	//	(106)		川口 章					
//	107	//	(107)		川井 圭司					
//	108	//	(108)		川上 敏和					
//	110	//	(110)		風間 規男					
//	111	//	(111)		久保 真人					
//	112	//	(112)		真山 達志					
//	114	//	(114)		根岸 祥子					
//	115	//	(115)		野間 敏克					
//	116	//	(116)		岡本由美子					
//	117	//	(117)		大島佳代子					
//	118	//	(118)		太田 肇					
//	119	//	(119)		多田 実					
//	120	//	(120)		田中 宏樹					
//	122	//	(122)		山谷 清志					
//	124	//	(124)		月村 太郎					
//	125	//	(125)		足立 光生					
//	126	//	(126)		井口 貢					
//	129	//	(129)		川浦 昭彦					
//	130	//	(130)		武藏 勝宏					
//	132	//	(132)		小谷 真理					
//	134	//	(134)		畑本 裕介					
//	135	//	(135)		藤本 哲史					
//	136	//	(136)		三好 博昭					
//	137	//	(137)		中田 喜文					
//	138	//	(138)		野田 遊					
//	139	//	(139)		新見 陽子					
//	140	//	(140)		田中 秀樹					
//	141	//	(141)		富樫 耕介					
//	142	//	(142)		中尾 祐人					

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
10702148	201	リサーチ・ペーパー	②01	2	入江 容子	秋集中	今	3	否	※詳細は 「政策学部登録要綱」 を参照のこと ※演習担当者の クラスを登録 すること
//	203	//	②03		吉田 徹					
//	205	//	②05		柿本 昭人					
//	206	//	②06		川口 章					
//	207	//	②07		川口 章					
//	208	//	②08		川上 敏和					
//	210	//	②10		風間 規男					
//	211	//	②11		久保 真人					
//	212	//	②12		真山 達志					
//	214	//	②14		根岸 祥子					
//	215	//	②15		野間 敏克					
//	216	//	②16		岡本由美子					
//	217	//	②17		大島佳代子					
//	218	//	②18		太田 肇					
//	219	//	②19		多田 実					
//	220	//	②20		田中 宏樹					
//	222	//	②22		山谷 清志					
//	224	//	②24		月村 太郎					
//	225	//	②25		足立 光生					
//	226	//	②26		井口 貢					
//	229	//	②29		川浦 昭彦					
//	230	//	②30		武蔵 勝宏					
//	232	//	②32		小谷 真理					
//	234	//	②34		畑本 裕介					
//	235	//	②35	藤本 哲史						
//	236	//	②36	三好 博昭						
//	237	//	②37	中田 喜文						
//	238	//	②38	野田 遊						
//	239	//	②39	新見 陽子						
//	240	//	②40	田中 秀樹						
//	241	//	②41	富樫 耕介						
//	242	//	②42	中尾 祐人						
10702149	101	プロジェクト演習	①01	2	川上 敏和 大島佳代子	秋 2				※詳細は 「政策学部登録要綱」 を参照のこと
[展開科目 A群]										
10701002		公 共 性 論		2	柿本 昭人	秋 2	今	2～	否	
10702151		政 策 形 成 論		2	風間 規男	春 2				
10702152		政 策 分 析		2	田中 宏樹	春 2				
10702153		政 治 行 動 学		4	OFER FELDMAN	春 4				
10702154		行 政 学		2	真山 達志	春 2				
10701013		地 方 自 治 論		2	野田 遊	春 2				
10701204		政 府 体 系 論		2	原田 徹	秋 2				
10702155		国 際 政 治 学		2	富樫 耕介	春 2				
10702156		国 際 法		2	坂田 雅夫	春 2				
10701207		地 域 政 策		2	松田 敏幸	春 2				
10702157		行 政 法 (総 論)		2	小谷 真理	春 2				
10702158		行 政 法 (救 済)		2	下村 誠	秋 2				
10702159		国 際 貿 易		2	岡本由美子	春 2				

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
10702160		国 際 金 融 入 門		2	根岸 祥子	春 2	今	2 ～	否	2020 年度生～ 2020 年度生～ 2021 年度生～
10702161		公 共 経 済 学		2	川浦 昭彦	春 2				
10701305		開 発 政 策		2	新見 陽子	春 2				
10702162		ア ジ ア 経 済 論		2	休講					
10701501		社 会 保 障 政 策		2	大竹 晴佳	秋 2				
10701502		社 会 保 障 制 度		2	畑本 裕介	春 2				
10700341		現 代 社 会 と 組 織		2	田中 秀樹	秋 2				
10702163		経 営 組 織 論		2	久保 真人	春 2				
10701042		意 思 決 定 論		2	多田 実	春 2				
10701407		人 的 資 源 管 理		2	川口 章	秋 2				
10701037		応用ミクロ経済学		2	三好 博昭	秋 2				
10701038		応用マクロ経済学		2	小巻 泰之	秋 2				
10702164		現 代 国 際 政 治		2	月村 太郎	春 2				
[展開科目 B 群]										
10702201		政 策 実 施 論		2	高橋 克紀	秋 2	今	2 ～	否	(注) 国際専修コース生は、 次項と同じマーク(★) 同士の科目のうち、 1 科目のみしか履修 できない。
10701202		政 策 評 価 論		2	山谷 清志	春 2				
10702202		応 用 政 策 分 析		2	田中 宏樹	秋 2				
10702203		行 政 管 理 論		2	休講					
10702204		国 際 政 治 史		2	月村 太郎	春 2				
10702205		応用公共経済学		2	原田 禎夫	秋 2				
10702206		グローバル経済論		2	岡本由美子	秋 2				
10702207		国際金融市場政策		2	根岸 祥子	秋 2				
10701505	001	国 際 協 力 政 策	①★	2	新見 陽子	秋 2				
//	002	//	②★		休講					
10701306		国 際 機 構		2	根岸 祥子	秋 2				
10702208		行 政 組 織 論		2	入江 容子	春 2				
10702209		NGO・NPO 論		2	大和田順子	春 2				
10702210		現 代 組 織 論		2	太田 肇	秋 2				
10701503		環 境 政 策		2	内藤登世一	春 2				
10701506		科 学 技 術 政 策		2	山谷 清志 南島 和久	秋 2				
10701507		文 化 政 策		2	井口 貢	春 2				
10702211		観 光 政 策		2	井口 貢	秋 2				
10702212		京 都 観 光 論		2	山田 大地	春 2				
10702213		環境マネジメント		2	西谷 公孝	春 2				
10702214		ジェンダーと福祉			休講					
10702217		ジェンダーと社会構造		2	藤本 哲史	春 2				
10701510		ジェンダー政策		2	川口 章	春 2				
10702215		スポーツ法政策		2	川井 圭司	春 2				
10701511		教 育 政 策		2	惣脇 宏	春 2				
10702216		リスク管理政策		2	永田 尚三	春 2				
10702218		国際平和政策論		2	富樫 耕介	秋 2				
10702219		比 較 政 治 学		2	吉田 徹	秋 2				
[展開科目 C 群]										
10702251		コミュニティ創造政策		2	野田 遊	秋 2	今	3 ～	否	
10701203		行 政 責 任 論		2	山谷 清志	春 2				
10702252		比 較 政 策 論		2	山谷 清志	秋 2				
10701406		公 務 員 制 度		2	入江 容子	秋 2				
10702253		行政苦情救済論		2	湯浅 孝康	秋 2				

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考				
科目コード	クラスコード													
10701201		政 策 法 務		2	武藏 勝宏	秋 2	今	3 ～	否	先行登録 ※詳細は 「政策学部登録要綱」 を参照のこと				
10702254		雇 用 関 係 法		2	坂井 岳夫	春 2								
10702257		環 境 法		2	小谷 真理	秋 2								
10701208		資 本 市 場 政 策		2	足立 光生	春 2								
10701504		金 融 政 策		2	野間 敏克	秋 2								
10702255		金 融 制 度		2	野間 敏克	春 2								
10702256		ベンチャー政策		2	足立 光生	秋 2								
10702291	001	外 書 講 読（ 英 ）	①	2	月村 太郎	春 2								
//	002	//	②	2	月村 太郎	秋 2								
//	003	//	③	2	川上 敏和	秋 2								
//	004	//	④	2	OFER FELDMAN	春 2								
//	005	//	⑤	2	柿本 昭人	秋 2								
[展開科目 E 群]														
〈国際教育インスティテュート B 群〉														
12001208		World Civilizations		2	Masumi IZUMI	秋 2	今	1 ～	否	国際専修コース生 (2015年度以降生) のみ履修可				
12001215		Asian Civilizations			Tomoko MAKIDONO	春 2		2 ～						
12001221		Social Inequalities in Japan			Jennifer MCGUIRE	春 2		3 ～						
12001224		Migration and Transnationalism			Jane SINGER	秋 2		2 ～						
12001310		Ecology and Economy in Japan			Yoshihiko WADA	秋 2								
12001313		The Financial System in Japan			Yukihiro NISHIMURA	秋 2		3 ～						
12001317		Economic Growth			Colin DAVIS	秋 2		1 ～						
12001401		The Politics of Growth in Developing Countries			Kushelevich HADAS	春 2		2 ～						
12001408		Peace and Conflict			Ian Robert GIBSON	秋 2								
12001409		Citizen Politics in Japan and Beyond			Gill STEEL	秋 2								
12001410		International Relations in East Asia			Viriya CHEAMPHAN	春 2								
12001411		Postwar Japan - U.S. Relations			Thomas FRENCH	秋 2								
12001412		What Makes Countries Poor?			Dirk HEBECKER	春 2								
12001413		International Human Rights Law			Jay KLAPHAKE	秋 2								
12001415		Civic Engagement			Ian Robert GIBSON	春 2					3 ～			
12001416		Public Opinion and Political Psychology			Esta Tina OTTMAN	春 2								
12001417		Topics in Public Policy			Viriya CHEAMPHAN	春 2								
12001418		Mass Media in the Policymaking Process			David ADEBAHR	春 2								
12001419		International Law and Organizations			Jay KLAPHAKE	春 2								
12001420		International Political Economy			Thomas SCHALOW	秋 2								
12001421		Development and Law			Jay KLAPHAKE	秋 2								
12001422		Topics in Japan's Contemporary International Relations			Garth WARRIES	春 2								
12001424		Politics through Film			Gill STEEL	春 2								
選択科目Ⅱ－2														
[展開科目 D 群]														
10702309	001	政策特殊講義Ⅰ 「意思決定論研究」	①	2	多田 実	秋 2	今	3 ～	否	先行登録 ※詳細は 「政策学部登録要綱」 を参照のこと				
10702313	002	政策特殊講義Ⅰ 「人とイノベーション」	②		中田 喜文	春 2								
10702324	003	政策特殊講義Ⅰ 「政治行動論研究」	③		OFER FELDMAN	秋 2								
10702330	004	政策特殊講義Ⅰ 「政策価値論研究」	④		柿本 昭人	秋 2								
10702364	006	政策特殊講義Ⅰ 「政策分析研究」	⑥		川上 敏和	秋 2								

登録コード		科目名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
10702365	007	政策特殊講義Ⅰ 「立法政策過程論研究」	⑦	2	武蔵 勝宏	春 2	今	3～	否	先行登録 ※詳細は 「政策学部登録要綱」 を参照のこと
10702368	009	政策特殊講義Ⅰ 「地方自治論研究」	⑨		野田 遊	春 2				
10702369	010	政策特殊講義Ⅰ 「組織行動論研究」	⑩		久保 真人	秋 2				
10702370	011	政策特殊講義Ⅰ 「人的資源戦略論研究」	⑪		中田 喜文	秋 2				
10702371	012	政策特殊講義Ⅰ 「国際政治学研究」	⑫		月村 太郎	春 2				
10702372	013	政策特殊講義Ⅰ 「グローバル経済論研究」	⑬		岡本由美子	春 2				
10702373	014	政策特殊講義Ⅰ 「現代社会起業研究」	⑭		大和田順子	春 2				
10702376	015	政策特殊講義Ⅰ 「ワーク・ライフ・バランス研究」	⑮		藤本 哲史	春 2				
10702380	017	政策特殊講義Ⅰ 「憲法解釈研究」	⑰		大島佳代子	春 2				
10702386	018	政策特殊講義Ⅰ 「現代行政法研究」	⑱		小谷 真理	秋 2				
10702389	019	政策特殊講義Ⅰ 「数理分析研究」	⑲		三好 博昭	春 2				
10702390	020	政策特殊講義Ⅰ 「消費者政策研究」	⑳		武蔵 勝宏	春 2				
10702391	021	政策特殊講義Ⅰ 「ソーシャル・マーケティング研究」	㉑		多田 実	春 2				
10702392	022	政策特殊講義Ⅰ 「金融経済教育」	㉒		足立 光生	秋 2				
10702393	023	政策特殊講義Ⅰ 「比較政治学研究」	㉓		吉田 徹	秋 2				
10702394	024	政策特殊講義Ⅰ 「人材・組織マネジメント研究」	㉔		田中 秀樹	春 2				
10702396	025	政策特殊講義Ⅰ 「ソーシャル・イノベーションの理論と技法」	㉕		中島 恵理	秋 2				
10702397	026	政策特殊講義Ⅰ 「政策評価論研究」	㉖		山谷 清志	春 2				
10702398	027	政策特殊講義Ⅰ 「公共選択論研究」	㉗		川浦 昭彦	秋 2				
10702399	028	政策特殊講義Ⅰ 「SDGs 概論」	㉘		川口 章 岡本由美子 川井 圭司 足立 光生 小谷 真理 新見 陽子 田中 秀樹	春 2				
10702400	029	政策特殊講義Ⅰ 「政策過程論研究」(合併:政策ネットワーク論研究)	㉙		風間 規男	秋 2				
10702401	030	政策特殊講義Ⅰ 「行政組織論研究」(合併:行政管理論研究)	㉚		入江 容子	春 2				

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
10702402	031	政 策 特 殊 講 義 I 「 政 策 実 施 論 研 究 」	③①	2	真山 達志	春 2	今	3 ～	否	先行登録 ※詳細は 「政策学部登録要綱」 を参照のこと
10702403	032	政 策 特 殊 講 義 I 「組織心理学」(合併:心理学《共通科目》)	③②		藤本 哲史	春集中				
10702501		政 策 特 殊 講 義 II		4	休講					

選択科目 Ⅲ 2013 年度以前生

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
		他 学 部 設 置 科 目						1 ～		他学部履修要項参照
		テュービンゲン大学 IES 科目								「ヨーロッパ・スタディーズ EU キャンパスプログラム」に参加する場合のみ履修可
		大学コンソーシアム京都単位互換科目						3 ～		※詳細は 「政策学部登録要領」 を参照のこと
		同志社女子大学単位互換科目						3 ～		
		日本語・日本文化教育科目								※外国人留学生のみ履修可
		国際教育インスティテュート設置科目								国際専修コース生のみ履修可 ※「Course Timetable For 2023 - Institute of Liberal Arts」を参照のこと

選択科目 Ⅲ 2014 年度以降生

備考欄に*の付いた科目は、京田辺校地にも開講クラスがあります。受講希望の場合は、学修支援システム DUET の履修科目登録画面で確認し、登録すること。

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考	
科目コード	クラスコード										
10270031	051	日 本 文 化 史 概 説	⑤1	4	北 康宏	春・秋 2	今	2～	否	*	2015 年度 以前生のみ
//	101	//	⑩1		北 康宏	春・秋 2					
10270316	051	日本文化史概説 (1)	⑤1	2	北 康宏	春 2	今	2～	否	*	2016年度生～
//	101	//	⑩1		北 康宏	春 2					
10270317	051	日本文化史概説 (2)	⑤1	2	北 康宏	秋 2	今	2～	否	*	2016年度生～
//	101	//	⑩1		北 康宏	秋 2					
10270117	051	東洋文化史概説 (1)	⑤1	2	城地 孝	春 2	NET	2～	否	*	※2014年度 以降生のみ、 選択科目Ⅲへ 算入される。
//	101	//	⑩1		城地 孝	秋 2	NET				
10270118	051	東洋文化史概説 (2)	⑤1	2	張 子康	秋 2	今	2～	否	*	
//	101	//	⑩1		張 子康	春 2	今				
10270101	051	西洋文化史概説 (1)	⑤1	2	増永 理考	春 2	今	2～	否	*	
//	052	//	⑤2		井福 剛	春 2	NET				
//	053	//	⑤3		増永 理考	秋 2	今				
//	101	//	⑩1		井福 剛	秋 2	NET				
10270102	051	西洋文化史概説 (2)	⑤1	2	吉門 昌宏	秋 2	今	2～	否	*	
//	052	//	⑤2		大谷 誠	秋 2					
//	053	//	⑤3		大谷 誠	春 2					
//	101	//	⑩1		中村 年延	春 2					
10270095		日 本 社 会 史 (1)		2	西岡 直樹	春 2	今	2～	否		2013年度 以前生は、 自由科目へ 算入される ため注意 すること。
10270096		日 本 社 会 史 (2)		2	西岡 直樹	秋 2	今	2～	否		
10307661		近 代 日 本 政 治 史		2	森 靖夫	春 2	今	2～	否		
10307662		現 代 日 本 政 治 史		2	森 靖夫	秋 2	今	2～	否		
10307663		近代ヨーロッパ政治史		2	力久 昌幸	春 2	今	2～	否		
10307664		現代ヨーロッパ政治史		2	力久 昌幸	秋 2	今	2～	否		
10270303	001	日本地域史研究 (1)	①	2	合同	春 2	今	2～	否		
//	011	//	⑪		辻川 敦						
//	012	//	⑫		生嶋 輝美						
10270304	001	日本地域史研究 (2)	①	2	合同	秋 2	今	2～	否		
//	011	//	⑪		辻川 敦						
//	012	//	⑫		生嶋 輝美						

登録コード		科目名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考	
科目コード	クラスコード										
10522441		日 本 商 業 史		2	山下 麻衣	秋 2	今	3 ~	否		2013年度生~
10270105		西 洋 社 会 史 (1)		2	藤原 辰史	春 2	今	2 ~	否		
10270106		西 洋 社 会 史 (2)		2	服部 伸	秋 2	今	2 ~	否		
10270127	051	人 文 地 理 学 (1)	(51)	2	本岡 拓哉	春 2	今	2 ~	否	*	
//	101	//	(101)		佐野 静代	春 2					
10270128	051	人 文 地 理 学 (2)	(51)	2	本岡 拓哉	秋 2	今	2 ~	否	*	
//	101	//	(101)		佐野 静代	秋 2					
10270420	051	地 理 学 総 論 (1)	(51)	2	津村 宏臣	春 2	今	2 ~	否	*	2013年度生~ ※⑧クラスは免許 資格取得のために 履修する場合のみ 履修可。免許資格 課程センターに事 前に相談のこと
//	101	//	(101)		古関 大樹	春 2					
10270421	051	地 理 学 総 論 (2)	(51)	2	津村 宏臣	秋 2	今	2 ~	否	*	
//	101	//	(101)		古関 大樹	秋 2					
10270078	051	地 誌 学	(51)	2	古関 大樹	春 2	今	2 ~	否	*	※2014年度 以降生のみ、 選択科目Ⅲへ 算入される。
//	052	//	(52)		佐野 静代	秋 2					
//	101	//	(101)		佐野 静代	春 2					
10912003	053	社 会 学 概 論	(53)	4	西岡 暁廣	春 4	今	1 ~	否	*	
//	101	//	(101)		武田 祐佳	秋 4					
10240107	051	哲 学 概 論 (1)	(51)	2	新 茂之	春 2	今	3 ~	否		2013年度 以前生は、 自由科目へ 算入される ため注意 すること。
10240108	051	哲 学 概 論 (2)	(51)	2	新 茂之	秋 2	今	3 ~	否		
10240109	051	倫 理 学 概 論 (1)	(51)	2	林 克樹	春 2	今	3 ~	否	*	
10240110	051	倫 理 学 概 論 (2)	(51)	2	林 克樹	秋 2	今	3 ~	否	*	
10240103	051	宗 教 学 概 論 (1)	(51)	2	古荘 匡義	春 2	今	3 ~	否	*	
10240104	051	宗 教 学 概 論 (2)	(51)	2	古荘 匡義	秋 2	今	3 ~	否	*	
11700001	051	心 理 学 概 論 (1)	(51)	2	井上 毅	春 2	今	2 ~	否	*	2018年度生~
//	052	//	(52)		敦賀麻理子						
//	053	//	(53)		谷口 康祐						
11700002	051	心 理 学 概 論 (2)	(51)	2	井上 毅	秋 2	今	2 ~	否	*	2018年度生~
//	052	//	(52)		敦賀麻理子						
//	053	//	(53)		谷口 康祐						
15030010	051	生 涯 学 習 概 論	(51)	2	神部 純一	春 2	今	1 ~	否	*	2018年度生~
//	052	//	(52)		神部 純一	秋 2					
15030020	051	図 書 館 情 報 学 概 論	(51)	2	原田 隆史	春 2	今	1 ~	否	*	2018年度生~
//	101	//	(101)		原田 隆史	秋 2					
15030030	051	図 書 館 制 度 ・ 経 営 論	(51)	2	嶋田 学	秋 2	今	2 ~	否	*	2018年度生~
//	101	//	(101)		嶋田 学	春 2					
15030040	051	図 書 館 情 報 技 術 論	(51)	2	原田 隆史	春 2	今	2 ~	否	*	2018年度生~
//	101	//	(101)		原田 隆史	秋 2					
15030050	051	図 書 館 情 報 サービス 論 I	(51)	2	嶋田 学	春 2	今	1 ~	否	*	2018年度生~
//	101	//	(101)		瀬戸口 誠						
15030060	051	図 書 館 情 報 サービス 論 II	(51)	2	松田 泰代	秋 2	今	1 ~	否	*	2018年度生~ 「図 書 館 情 報 サービス 論 I」を過学期まで に履修済であること
//	101	//	(101)		嶋田 学						
15030070	051	児 童 サ ー ビ ス 論	(51)	2	井上 靖代	秋 2	今	2 ~	否	*	2018年度生~
//	052	//	(52)		井上 靖代	春 2					
15030080	051	情 報 サービス 演 習 I	(51)	2	小松 泰信	春 2	今	2 ~	否	*	2018年度生~ 先行登録 「図 書 館 情 報 学 概 論」を過学期までに 履修済であること
//	052	//	(52)		小松 泰信	春 2					
//	053	//	(53)		瀬戸口 誠	春 2					
//	101	//	(101)		逸村 裕	秋 2					

登録コード		科目名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
15030090	051	情報サービス演習Ⅱ	⑤1	2	西浦ミナ子	春 2	今	2～	否	* 2018年度生～ 先行登録 「図書館情報学概論」を過学期までに履修済であること
//	052	//	⑤2		西浦ミナ子	秋 2				
//	053	//	⑤3		西浦ミナ子	秋 2				
//	101	//	⑩1		西浦ミナ子	春 2				
15030100	051	図書館情報資源概論	⑤1	2	逸村 裕	秋 2	今	2～	否	* 2018年度生～
//	101	//	⑩1		江上 敏哲	春 2				
15030110	051	情報資源組織論Ⅰ	⑤1	2	松田 泰代	春 2	今	2～	否	2018年度生～ 先行登録
//	101	//	⑩1		松田 泰代					
15030120	051	情報資源組織論Ⅱ	⑤1	2	松田 泰代	秋 2	今	2～	否	2018年度生～ 先行登録 「情報資源組織論Ⅰ」を過学期までに履修済であること。
//	101	//	⑩1		松田 泰代	秋 2				
15030130	051	情報資源組織演習Ⅰ	⑤1	2	松田 泰代	春 2	今	3～	否	2018年度生～ 先行登録 「情報資源組織論Ⅰ」を履修済もしくは同一セメスターに登録していること
//	052	//	⑤2		松田 泰代	春 2				
//	101	//	⑩1		松田 泰代	春 2				
15030140	051	情報資源組織演習Ⅱ	⑤1	2	佐藤 翔	秋 2	今	3～	否	2018年度生～ 先行登録 「情報資源組織論Ⅱ」を履修済もしくは同一セメスターに登録していること
//	052	//	⑤2		佐藤 翔	秋 2				
//	101	//	⑩1		佐藤 翔	秋 2				
15030150		図書館情報学特論		2	原田 隆史	春 2	今	2～	否	2018年度生～
15030160		学術情報利用教育論		2	井上 真琴	秋 2	今	2～	否	2018年度生～
15030170	051	図書館情報資源特論	⑤1	2	江上 敏哲	秋 2	今	2～	否	* 2018年度生～
15030180		図 書 ・ 図 書 館 史		2	佐藤 翔	春 2	今	2～	否	* 2018年度生～
15030190	051	図 書 館 演 習	⑤1	4	原田 隆史 佐藤 翔 西浦ミナ子	春秋 2	今	3～	否	2018年度生～ 先行登録 以下の 4 科目を登録時に履修済であること。 「図書館情報学概論」 「図書館制度・経営論」 「図書館情報サービスⅠ」 「図書館情報サービスⅡ」
//	052	//	⑤2		原田 隆史 佐藤 翔 西浦ミナ子					
//	101	//	⑩1		原田 隆史 逸村 裕 西浦ミナ子					
15040010		学校図書館サービス論		2	井上 靖代	春 2	今	2～	否	2011年度生～
		他 学 部 設 置 科 目						1～		他学部履修要項参照
		チュービンゲン大学 IES 科目								「ヨーロッパ・スタディーズ EU キャンパスプログラム」に参加する場合のみ履修可
		大学コンソーシアム京都単位互換科目						3～		※ 詳細は 「政策学部登録要領」 を参照のこと
		同志社女子大学単位互換科目						3～		
		日本語・日本文化教育科目								※ 外国人留学生のみ履修可。
		国際教育インスティテュート設置科目								国際専修コース生のみ履修可 ※ 「Course Timetable For 2023 - Institute of Liberal Arts」を参照のこと

全学共通教養教育科目

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
[外国語教育科目 A 群]										
16501131		Basic English (LS) 1		2				1 ～	否	* 2022 年度 以降生のみ 履修可 ※詳細は 「政策学部登録要領」、 「全学共通教養教 育科目履修要項」 を参照のこと
16501132		Basic English (LS) 2		2				1 ～		
16501121		Core English (LS) - Pre-Intermediate 1		2				1 ～		
16501122		Core English (LS) - Pre-Intermediate 2		2				1 ～		
16501111		Core English (LS) - Intermediate 1		2				1 ～		
16501112		Core English (LS) - Intermediate 2		2				1 ～		
16501133		Basic English (RW) 1		1				1 ～		
16501134		Basic English (RW) 2		1				1 ～		
16501123		Core English (RW) - Pre-Intermediate 1		1				1 ～		
16501124		Core English (RW) - Pre-Intermediate 2		1				1 ～		
16501113		Core English (RW) - Intermediate 1		1				1 ～		
16501114		Core English (RW) - Intermediate 2		1				1 ～		
16501101		Intensive Advanced English 1		3				1 ～		
16501102		Intensive Advanced English 2		3				1 ～		
16501151		General Academic English (LS) -Pre-Intermediate		1				2 ～		
16501152		General Academic English (RW) -Pre-Intermediate		1				2 ～		
16501141		General Academic English (LS) -Intermediate		1				2 ～		
16501142		General Academic English (RW) -Intermediate		1				2 ～		
16501161		English for Professional Purposes1		1				2 ～		
16501162		English for Professional Purposes2		1				2 ～		
16501171		English for Academic Purposes1		2				2 ～		
16501172		English for Academic Purposes2		2				2 ～		
16501173		English for Academic Purposes3		2	休講			3 ～		
16501013		コミュニケーション・イングリッシュ 1		1				1 ～	否	* 2021 年度 以前生のみ 履修可 ※詳細は 「政策学部登録要領」、 「全学共通教養教 育科目履修要項」 を参照のこと
16501014		コミュニケーション・イングリッシュ 2		1				1 ～		
16501023		アナリティカル・リーディング 1		1				1 ～		
16501024		アナリティカル・リーディング 2		1				1 ～		
16501031		イングリッシュ・セミナー 1		1				2 ～		
16501032		イングリッシュ・セミナー 2		1				2 ～		
16501033		イングリッシュ・セミナー 3		2	休講			2 ～		
16501041		イングリッシュ・ワークショップ 1		1				2 ～		
16501042		イングリッシュ・ワークショップ 2		1				2 ～		
16501043		イングリッシュ・ワークショップ 3		2	休講			2 ～		
16501061		アカデミック・イングリッシュ A		2				2 ～		
16501062		アカデミック・イングリッシュ B		2				2 ～		
16501065		プロフェッショナル・イングリッシュ A		2				2 ～		
16501066		プロフェッショナル・イングリッシュ B		2				2 ～		
16501071		イングリッシュ・プラクティクム 1		4	休講			1・2		
16501072		イングリッシュ・プラクティクム 2		4	休講			1・2		
16501075		プレ・イングリッシュ・プラクティクム		4	休講			1・2		
16501181		Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1		2				1 ～	否	2015 年度以降生 のみ履修可
16501182		Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2		2				1 ～		
16501191		Study Abroad Preparation (IELTS) 1		2				1 ～		
16501192		Study Abroad Preparation (IELTS) 2		2				1 ～		

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
[外国語教育科目 B 群]										
16509001		サマープログラム・英語 A		4				1～	否	※詳細は 「政策学部登録要領」、 「全学共通教養教育 科目履修要項」 を参照のこと
16509002		サマープログラム・英語 B		3				1～		
16509003		サマープログラム・英語 C		2				1～		
16509011		スプリングプログラム・英語 A		4				1～		
16509012		スプリングプログラム・英語 B		3				1～		
16509013		スプリングプログラム・英語 C		2				1～		
16509014		スプリングプログラム・英語 D		1	休講			1～		
16509081		セメスタープログラム・英語 I		4				2～	否	2021 年度 以前生のみ 履修可
16509082		セメスタープログラム・英語 II		4				2～		
16501081		言 語 文 化 研 究 1		2				3～		
16501082		言 語 文 化 研 究 2		2				3～		
16501051		現代地域事情・上級講読 (英語圏) 1		2				3～		
16501052		現代地域事情・上級講読 (英語圏) 2		2				3～		
[外国語教育科目 C 群]										
16502011		ド イ ツ 語 入 門 I		2				1～	否	※詳細は 「政策学部登録要領」、 「全学共通教養教育 科目履修要項」 を参照のこと
16502012		ド イ ツ 語 入 門 II		2				1～		
16502031		ド イ ツ 語 応 用 1		1				2～		
16502032		ド イ ツ 語 応 用 2		1				2～		
16502033		ド イ ツ 語 応 用 3		1				2～		
16502034		ド イ ツ 語 応 用 4		1				2～		
16503011		フ ラ ン ス 語 入 門 I		2				1～		
16503012		フ ラ ン ス 語 入 門 II		2				1～		
16503031		フ ラ ン ス 語 応 用 1		1				2～		
16503032		フ ラ ン ス 語 応 用 2		1				2～		
16503033		フ ラ ン ス 語 応 用 3		1				2～		
16503034		フ ラ ン ス 語 応 用 4		1				2～		
16504011		中 国 語 入 門 I		2				1～		
16504012		中 国 語 入 門 II		2				1～		
16504031		中 国 語 応 用 1		1				2～		
16504032		中 国 語 応 用 2		1				2～		
16504033		中 国 語 応 用 3		1				2～		
16504034		中 国 語 応 用 4		1				2～		
16505011		ス ペ イ ン 語 入 門 I		2				1～		
16505012		ス ペ イ ン 語 入 門 II		2				1～		
16505031		ス ペ イ ン 語 応 用 1		1				2～		
16505032		ス ペ イ ン 語 応 用 2		1				2～		
16505033		ス ペ イ ン 語 応 用 3		1				2～		
16505034		ス ペ イ ン 語 応 用 4		1				2～		
16506011		ロ シ ア 語 入 門 I		2				1～		
16506012		ロ シ ア 語 入 門 II		2				1～		
16506031		ロ シ ア 語 応 用 1		1				2～		
16506032		ロ シ ア 語 応 用 2		1				2～		
16506033		ロ シ ア 語 応 用 3		1				2～		
16506034		ロ シ ア 語 応 用 4		1				2～		

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
16507011		コ リ ア 語 入 門 I		2				1 ～	否	※詳細は 「政策学部登録要領」、 「全学共通教養教育 科目履修要項」 を参照のこと コリア語は 2013 年度以降生 のみ履修可
16507012		コ リ ア 語 入 門 II		2				1 ～		
16507031		コ リ ア 語 応 用 1		1				2 ～		
16507032		コ リ ア 語 応 用 2		1				2 ～		
16507033		コ リ ア 語 応 用 3		1				2 ～		
16507034		コ リ ア 語 応 用 4		1				2 ～		
[外国語教育科目 D 群]										
16502021		ドイツ語インテンシヴ I		3				1 ～	否	※詳細は 「政策学部登録要領」、 「全学共通教養教育 科目履修要項」 を参照のこと 「サマープログラ ム・ドイツ語 A」 は 2010 年度以降生 のみ履修可
16502022		ドイツ語インテンシヴ II		3				1 ～		
16502023		ドイツ語インテンシヴ III		3				2 ～		
16502024		ドイツ語インテンシヴ IV		3				2 ～		
16502025		ドイツ語インテンシヴ V		2				3 ～		
16502026		ドイツ語インテンシヴ VI		2				3 ～		
16502041		ドイツ語会話初級 1		1				1 ～		
16502042		ドイツ語会話初級 2		1				1 ～		
16502043		ドイツ語会話中級 1		1				1 ～		
16502044		ドイツ語会話中級 2		1				1 ～		
16502045		ドイツ語会話上級 1		1				1 ～		
16502046		ドイツ語会話上級 2		1				1 ～		
16502051		ドイツ語文化事情 1		2				3 ～		
16502052		ドイツ語文化事情 2		2				3 ～		
16502061		ド イ ツ 語 表 現 法 1		2				3 ～		
16502062		ド イ ツ 語 表 現 法 2		2				3 ～		
16502071		言語文化原典演習（ドイツ語） 1		2				3 ～		
16502072		言語文化原典演習（ドイツ語） 2		2				3 ～		
16502081		現代地域事情・上級講読（ドイツ語圏） 1		2				3 ～		
16502082		現代地域事情・上級講読（ドイツ語圏） 2		2				3 ～		
16502092		サマープログラム・ドイツ語 A	4		休講			2 ～		
16502093		サマープログラム・ドイツ語 B	3					2 ～		
16502095		スプリングプログラム・ドイツ語	3					1 ～		
16502101		セメスタープログラム・ドイツ語 I	4					2 ～		
16502102		セメスタープログラム・ドイツ語 II	4					2 ～		
16503021		フランス語インテンシヴ I	3					1 ～		
16503022		フランス語インテンシヴ II	3					1 ～		
16503023		フランス語インテンシヴ III	3					2 ～		
16503024		フランス語インテンシヴ IV	3					2 ～		
16503025		フランス語インテンシヴ V	2					3 ～		
16503026		フランス語インテンシヴ VI	2					3 ～		
16503027		フランス語インテンシヴ VII	2					4 ～		
16503028		フランス語インテンシヴ VIII	2					4 ～		
16503041		フランス語会話初級 1	1					1 ～		
16503042		フランス語会話初級 2	1					1 ～		
16503043		フランス語会話中級 1	1					1 ～		
16503044		フランス語会話中級 2	1					1 ～		
16503045		フランス語会話上級 1	1					1 ～		
16503046		フランス語会話上級 2	1					1 ～		
16503051		フランス語文化事情 1	2					3 ～		
16503052		フランス語文化事情 2	2					3 ～		

登録コード		科目名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
16503061		フランス語表現法 1		2				3～		
16503062		フランス語表現法 2		2				3～		
16503071		言語文化原典演習 (フランス語) 1		2				3～		
16503072		言語文化原典演習 (フランス語) 2		2				3～		
16503081		現代地域事情・上級講読 (フランス語圏) 1		2				3～		
16503082		現代地域事情・上級講読 (フランス語圏) 2		2				3～		
16503091		サマープログラム・フランス語		4				2～		
16503095		スプリングプログラム・フランス語		3				1～		
16504021		中国語インテンシヴⅠ		3				1～		
16504022		中国語インテンシヴⅡ		3				1～		
16504023		中国語インテンシヴⅢ		3				2～		
16504024		中国語インテンシヴⅣ		3				2～		
16504025		中国語インテンシヴⅤ		2				3～		
16504026		中国語インテンシヴⅥ		2				3～		
16504027		中国語インテンシヴⅦ		2				4～		
16504028		中国語インテンシヴⅧ		2				4～		
16504041		中国語会話初級 1		1				2～		
16504042		中国語会話初級 2		1				2～		
16504043		中国語会話中級 1		1				2～		
16504044		中国語会話中級 2		1				2～		
16504045		中国語会話上級 1		1				2～		
16504046		中国語会話上級 2		1				2～		
16504051		中国語文化事情 1		2				3～		
16504052		中国語文化事情 2		2				3～		
16504061		中国語表現法 1		2				3～		
16504062		中国語表現法 2		2				3～		
16504071		言語文化原典演習 (中国語) 1		2				3～		
16504072		言語文化原典演習 (中国語) 2		2				3～		
16504081		現代地域事情・上級講読 (中国語圏) 1		2				3～		
16504082		現代地域事情・上級講読 (中国語圏) 2		2				3～		
16504092		サマープログラム・中国語 B		4				2～		
16504095		スプリングプログラム・中国語		1				1～		
16505021		スペイン語インテンシヴⅠ		3				1～		
16505022		スペイン語インテンシヴⅡ		3				1～		
16505023		スペイン語インテンシヴⅢ		3				2～		
16505024		スペイン語インテンシヴⅣ		3				2～		
16505025		スペイン語インテンシヴⅤ		2				3～		
16505026		スペイン語インテンシヴⅥ		2				3～		
16505041		スペイン語会話初級 1		1				1～		
16505042		スペイン語会話初級 2		1				1～		
16505043		スペイン語会話中級 1		1				1～		
16505044		スペイン語会話中級 2		1				1～		
16505045		スペイン語会話上級 1		1				1～		
16505046		スペイン語会話上級 2		1				1～		
16505051		スペイン語文化事情 1		2				3～		
16505052		スペイン語文化事情 2		2				3～		
16505061		スペイン語表現法 1		2				3～		
16505062		スペイン語表現法 2		2				3～		

否

※詳細は
「政策学部登録要領」、
「全学共通教養教育
科目履修要項」
を参照のこと

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
16505071		言語文化原典演習（スペイン語）1		2				3～		※詳細は 「政策学部登録要領」、 「全学共通教養教育 科目履修要項」 を参照のこと
16505072		言語文化原典演習（スペイン語）2		2				3～		
16505081		現代地域事情・上級講読（スペイン語圏）1		2				3～		
16505082		現代地域事情・上級講読（スペイン語圏）2		2				3～		
16505091		サマープログラム・スペイン語		4				2～		
16505095		スプリングプログラム・スペイン語		1	休講			2～		
16505097		スプリングプログラム・スペイン語B		3				1～		
16506021		ロシア語インテンシヴⅠ		3				1～		
16506022		ロシア語インテンシヴⅡ		3				1～		
16506023		ロシア語インテンシヴⅢ		3				2～		
16506024		ロシア語インテンシヴⅣ		3				2～		
16506041		ロシア語会話初級1		1				1～		
16506042		ロシア語会話初級2		1				1～		
16506043		ロシア語会話中級1		1				1～		
16506044		ロシア語会話中級2		1				1～		
16506045		ロシア語会話上級1		1				1～		
16506046		ロシア語会話上級2		1				1～		
16506051		ロシア語文化事情1		2				3～		
16506052		ロシア語文化事情2		2				3～		
16506061		ロシア語表現法1		2				3～		
16506062		ロシア語表現法2		2				3～		
16506071		言語文化原典演習（ロシア語）1		2				3～		
16506072		言語文化原典演習（ロシア語）2		2				3～		
16506081		現代地域事情・上級講読（ロシア語圏）1		2				3～		
16506082		現代地域事情・上級講読（ロシア語圏）2		2				3～		
16506091		サマープログラム・ロシア語		4				2～		
16507021		ロシア語インテンシヴⅠ		3				1～		
16507022		ロシア語インテンシヴⅡ		3				1～		
16507023		ロシア語インテンシヴⅢ		3				2～		
16507024		ロシア語インテンシヴⅣ		3				2～		
16507025		ロシア語インテンシヴⅤ		2				3～		
16507026		ロシア語インテンシヴⅥ		2				3～		
16507041		ロシア語会話初級1		1				1～		
16507042		ロシア語会話初級2		1				1～		
16507043		ロシア語会話中級1		1				1～		
16507044		ロシア語会話中級2		1				1～		
16507045		ロシア語会話上級1		1				1～		
16507046		ロシア語会話上級2		1				1～		
16507051		ロシア語文化事情1		2				3～		
16507052		ロシア語文化事情2		2				3～		
16507061		ロシア語表現法1		2				3～		
16507062		ロシア語表現法2		2				3～		
16507071		言語文化原典演習（ロシア語）1		2				3～		
16507072		言語文化原典演習（ロシア語）2		2				3～		
16507081		現代地域事情・上級講読（ロシア語圏）1		2				3～		
16507082		現代地域事情・上級講読（ロシア語圏）2		2				3～		
16507091		サマープログラム・ロシア語		3				2～		
16507095		スプリングプログラム・ロシア語		3				1～		

否

ロシア語は
2013年度以降生
のみ履修可

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
16508001		基礎イタリア語Ⅰ		1				2～	否	
16508002		基礎イタリア語Ⅱ		1				2～		
16508003		基礎イタリア語Ⅲ		1				3～		
16508004		基礎イタリア語Ⅳ		1				3～		
[E 群]										
		同 志 社 科 目								※詳細は 「全学共通教 養教育科目 履修要項」を 参照のこと
		キャリア形成支援科目								
		国 際 教 養 科 目								
		クリエイティブ・ジャパン科目								
		人 文 科 学 系 科 目								
		社 会 科 学 系 科 目								
		自然・人間科学系科目								
		先端・複合領域科目								
		プロジェクト科目								
		保 健 体 育 科 目								

注意

政策学部では卒業に必要な単位の修得に関して、すべての科目を今出川校地で履修することを想定してカリキュラムが編成されています。

ただし、全学共通教養教育科目 E 群では科目によって今出川校地と京田辺校地の両校地で、あるいは京田辺校地のみで開講されるクラスがあります。各自で時間割を組む際に両キャンパスの移動時間、ならびに自身の卒業要件科目の単位修得状況を十分に考慮する必要がありますので注意してください。

京田辺校地開講クラスを受講希望の場合は時間割を確認することができます。

自由科目・免許資格関係科目

備考欄に*の付いた科目は、京田辺校地にも開講クラスがあります。受講希望の場合は、学修支援システム DUET の履修科目登録画面で確認し、登録すること。

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
10952201	051	教 職 概 論	⑤1	2	大橋 忠司	秋 2	今	1 ~	否	* 2017年度以前生のみ
//	052	//	⑤2		大橋 忠司	秋 2				
//	053	//	⑤3		沖田 悟傳	春 2				
//	054	//	⑤4		中瀬 浩一	秋 2				
//	055	//	⑤5		井上 浩史	春 2				
//	056	//	⑤6		中瀬 浩一	春 2				
15010010	051	教 職 概 論	⑤1	2	大橋 忠司	秋 2	今	1 ~	否	* 2018年度生~
//	052	//	⑤2		大橋 忠司	秋 2				
//	053	//	⑤3		沖田 悟傳	春 2				
//	054	//	⑤4		中瀬 浩一	秋 2				
//	055	//	⑤5		井上 浩史	春 2				
//	056	//	⑤6		中瀬 浩一	春 2				
10952202	051	教 育 原 理	⑤1	2	榎本 恵理	春 2	今	1 ~	否	* 2017年度以前生のみ
//	052	//	⑤2		榎本 恵理	秋 2				
//	053	//	⑤3		和田 充弘	春 2				
//	054	//	⑤4		森口 洋一	秋 2				
//	055	//	⑤5		長谷川精一	秋 2				
//	056	//	⑤6		長谷川精一	春 2				
15010020	051	教 育 原 理	⑤1	2	榎本 恵理	春 2	今	1 ~	否	* 2018年度生~
//	052	//	⑤2		榎本 恵理	秋 2				
//	053	//	⑤3		和田 充弘	春 2				
//	054	//	⑤4		森口 洋一	秋 2				
//	055	//	⑤5		長谷川精一	秋 2				
//	056	//	⑤6		長谷川精一	春 2				
11700405	051	発達と学習の心理学	⑤1	2	内山伊知郎	春 2	今	2 ~	否	* 2017年度以前生のみ
//	052	//	⑤2		田中 希穂	春 2				
//	053	//	⑤3		山口 洋介	秋 2				
//	054	//	⑤4		羽野ゆつ子	秋 2				
//	055	//	⑤5		山口 洋介	春 2				
15010030	051	発達と学習の心理学	⑤1	2	内山伊知郎	春 2	今	2 ~	否	2018年度生~ 2019年度生は 配当年次[1~]
//	052	//	⑤2		田中 希穂	春 2				
//	053	//	⑤3		山口 洋介	秋 2				
//	054	//	⑤4		羽野ゆつ子	秋 2				
//	055	//	⑤5		山口 洋介	春 2				
10952203	051	学 校 経 営 と 法 規	⑤1	2	柳澤 彰紀	春 2	今	2 ~	否	* 2017年度以前生のみ
//	052	//	⑤2		柳澤 彰紀	春 2				
//	053	//	⑤3		沖田 悟傳	秋 2				
15010040	051	学 校 経 営 と 法 規	⑤1	2	柳澤 彰紀	春 2	今	2 ~	否	* 2018年度生のみ
//	052	//	⑤2		柳澤 彰紀	春 2				
//	053	//	⑤3		沖田 悟傳	秋 2				
15010041	051	教育制度と学校経営	⑤1	2	柳澤 彰紀	春 2	今	2 ~	否	2019年度生~
//	052	//	⑤2		柳澤 彰紀	春 2				
//	053	//	⑤3		沖田 悟傳	秋 2				
10912107	051	教 育 社 会 学 (2)	⑤1	2	高山 育子	春 2	今	2 ~	否	* 2014年度以前生のみ
//	052	//	⑤2		高山 育子	秋 2				
10912117	051	学 校 教 育 社 会 学	⑤1	2	高山 育子	春 2	今	2 ~	否	* 2015~2017年度生のみ
//	052	//	⑤2		高山 育子	秋 2				

登録コード		科目名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
15010050	051	学 校 教 育 社 会 学	㊦	2	高山 育子	春 2	今	2～	否	* 2018年度生～
//	052	//	㊧		高山 育子	秋 2				
15010111	051	教育方法とICT活用の理論と実践	㊦	2	平野 哲司	春 2	今	2～	否	* 2022年度以降生のみ ㊦は先行登録
//	052	//	㊧		田中 希穂	秋 2				
//	053	//	㊨		沼田 潤	秋 2				
//	054	//	㊩		池田 恭浩	秋 2				
//	055	//	㊪		平野 哲司	春 2				
10952235	051	教 育 方 法 論	㊦	2	平野 哲司	春 2	今	2～	否	* 2013～2017年度生のみ ㊦は先行登録
//	052	//	㊧		田中 希穂	秋 2				
//	053	//	㊨		沼田 潤	秋 2				
//	054	//	㊩		池田 恭浩	秋 2				
//	055	//	㊪		平野 哲司	春 2				
15010110	051	教 育 方 法 論	㊦	2	平野 哲司	春 2	今	2～	否	* 2018～2021年度生のみ ㊦は先行登録
//	052	//	㊧		田中 希穂	秋 2				
//	053	//	㊨		沼田 潤	秋 2				
//	054	//	㊩		池田 恭浩	秋 2				
//	055	//	㊪		平野 哲司	春 2				
10952229	051	教 育 課 程 論	㊦	2	佐藤 光友	春 2	今	2～	否	* 2017年度以前生のみ
//	052	//	㊧		奥野 浩之	春 2				
//	053	//	㊨		奥野 浩之	春 2				
//	054	//	㊩		奥野 浩之	秋 2				
//	055	//	㊪		佐藤 光友	秋 2				
15010070	051	教 育 課 程 論	㊦	2	佐藤 光友	春 2	今	2～	否	* 2018年度生～
//	052	//	㊧		奥野 浩之	春 2				
//	053	//	㊨		奥野 浩之	春 2				
//	054	//	㊩		奥野 浩之	秋 2				
//	055	//	㊪		佐藤 光友	秋 2				
10952238	051	社会科・地理歴史科教育法	㊦	2	須原 洋次	秋 2	今	2～	否	* 2013～2017年度生のみ
//	052	//	㊧		森口 洋一	秋 2				
//	053	//	㊨		角田 将士	春 2				
//	054	//	㊩		須原 洋次	春 2				
15010230	051	社会科・地理歴史科教育法	㊦	2	須原 洋次	秋 2	今	2～	否	* 2018年度生～
//	052	//	㊧		森口 洋一	秋 2				
//	053	//	㊨		角田 将士	春 2				
//	054	//	㊩		須原 洋次	春 2				
10952239	051	社会科・公民科教育法	㊦	2	奥野 浩之	秋 2	今	2～	否	* 2013～2017年度生のみ
//	052	//	㊧		佐藤 光友	春 2				
//	053	//	㊨		本多 千明	春 2				
15010240	051	社会科・公民科教育法	㊦	2	奥野 浩之	秋 2	今	2～	否	* 2018年度生～
//	052	//	㊧		佐藤 光友	春 2				
//	053	//	㊨		本多 千明	春 2				
10952240	051	社 会 科 教 育 法 1	㊦	2	水山 光春	春 2	今	2～	否	* 2013～2017年度生のみ
//	052	//	㊧		奥野 浩之 菊井 雅志	春 2				
//	053	//	㊨		本多 千明	秋 2				
15010210	051	社 会 科 教 育 法 1	㊦	2	水山 光春	春 2	今	2～	否	* 2018年度生～
//	052	//	㊧		奥野 浩之 菊井 雅志	春 2				
//	053	//	㊨		本多 千明	秋 2				

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
10952241	051	社 会 科 教 育 法 2	㊦	2	水山 光春	秋 2	今	2 ～	否	* 2013～2017年度生のみ
//	052	//	㊧		児玉 祥一	秋 2				
//	053	//	㊨		本多 千明	春 2				
15010220	051	社 会 科 教 育 法 2	㊦	2	水山 光春	秋 2	今	2 ～	否	* 2018年度生～ 2019年度以降生は「社会科教育法1」を過学期に履修済であること
//	052	//	㊧		児玉 祥一	秋 2				
//	053	//	㊨		本多 千明	春 2				
10952209	051	公 民 科 教 育 法	㊦	2	本多 千明	春 2	今	2 ～	否	* 2017年度以前生のみ
//	052	//	㊧		本多 千明	秋 2				
//	053	//	㊨		森口 洋一	春 2				
15010260	051	公 民 科 教 育 法	㊦	2	本多 千明	春 2	今	2 ～	否	* 2018年度生～
//	052	//	㊧		本多 千明	秋 2				
//	053	//	㊨		森口 洋一	春 2				
15010091	051	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	㊦	2	柳澤 彰紀	春 2	今	2 ～	否	* 「特別活動論」を未履修かつ未登録であること 「特別活動論」を履修済で、卒業後に大学院生または科目等履修生として一種免許を取得する予定の者は、免許資格関係科目(M登録)としてのみ登録できる。履修を希望する者は、事前に免許資格課程センターに申し出ること。
//	052	//	㊧		大橋 忠司	春 2				
//	053	//	㊨		大橋 忠司	秋 2				
//	054	//	㊩		柳澤 彰紀	秋 2				
//	055	//	㊪		長谷川 豊	秋 2				
10952227	051	道徳教育の理論と実践	㊦	2	和田 充弘	春 2	今	2 ～	否	* 2017年度以前生のみ
//	052	//	㊧		倉本 香	春 2				
//	053	//	㊨		山口 洋介	春 2				
//	054	//	㊩		山口 洋介	秋 2				
//	055	//	㊪		和田 充弘	秋 2				
15010080	051	道徳教育の理論と実践	㊦	2	和田 充弘	春 2	今	2 ～	否	* 2018年度生～
//	052	//	㊧		倉本 香	春 2				
//	053	//	㊨		山口 洋介	春 2				
//	054	//	㊩		山口 洋介	秋 2				
//	055	//	㊪		和田 充弘	秋 2				
10952242	051	特別支援と福祉の教育	㊦	2	中瀬 浩一 空閑 浩人	春 2	今	1 ～	否	* 2017年度以前生のみ
//	052	//	㊧		中瀬 浩一 空閑 浩人	秋 2				
//	053	//	㊨		中瀬 浩一 空閑 浩人	春 2				
//	054	//	㊩		中瀬 浩一 空閑 浩人	秋 2				
//	055	//	㊪		中瀬 浩一 空閑 浩人	春 2				
//	056	//	㊫		中瀬 浩一 空閑 浩人	秋 2				

登録コード		科目名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
15010150	051	特別支援と福祉の教育	⑤①	2	中瀬 浩一 空閑 浩人	春 2	今	1～	否	* 2018年度生のみ
//	052	//	⑤②		中瀬 浩一 空閑 浩人	秋 2				
//	053	//	⑤③		中瀬 浩一 空閑 浩人	春 2				
//	054	//	⑤④		中瀬 浩一 空閑 浩人	秋 2				
//	055	//	⑤⑤		中瀬 浩一 空閑 浩人	春 2				
//	056	//	⑤⑥		中瀬 浩一 空閑 浩人	秋 2				
15010151	051	特別ニーズ教育論	⑤①	2	中瀬 浩一 空閑 浩人	春 2	今	1～	否	* 2019年度生～
//	052	//	⑤②		中瀬 浩一 空閑 浩人	秋 2				
//	053	//	⑤③		中瀬 浩一 空閑 浩人	春 2				
//	054	//	⑤④		中瀬 浩一 空閑 浩人	秋 2				
//	055	//	⑤⑤		中瀬 浩一 空閑 浩人	春 2				
//	056	//	⑤⑥		中瀬 浩一 空閑 浩人	秋 2				
15010160	051	スクールインターンシップ	⑤①	2	井上 浩史	秋集中	今	2～	否	* 2016年度生～ 先行登録 登録時までに「教職概論」を履修済であること。募集校種の免許状の教職課程登録を行っていること。
11700412	051	生徒・進路指導の理論と方法	⑤①	2	井上 浩史	春 2	今	2～	否	* 2013～2017年度生のみ
//	052	//	⑤②		大橋 忠司	春 2				
//	053	//	⑤③		井上 浩史	秋 2				
//	054	//	⑤④		大橋 忠司	春 2				
//	055	//	⑤⑤		山本 桂子	秋 2				
15010120	051	生徒・進路指導の理論と方法	⑤①	2	井上 浩史	春 2	今	2～	否	* 2018年度生～
//	052	//	⑤②		大橋 忠司	春 2				
//	053	//	⑤③		井上 浩史	秋 2				
//	054	//	⑤④		大橋 忠司	春 2				
//	055	//	⑤⑤		山本 桂子	秋 2				
11700411	051	学校カウンセリング	⑤①	2	藤井 恭子	秋 2	今	3～	否	* 2017年度以前生のみ
//	052	//	⑤②		中西 陽	秋 2				
//	053	//	⑤③		河崎 俊博	秋 2				
//	054	//	⑤④		中西 陽	春 2				
15010140	051	学校カウンセリング	⑤①	2	藤井 恭子	秋 2	今	3～	否	* 2018年度生のみ
//	052	//	⑤②		中西 陽	秋 2				
//	053	//	⑤③		河崎 俊博	秋 2				
//	054	//	⑤④		中西 陽	春 2				
15010141	051	教育相談の理論と方法	⑤①	2	藤井 恭子	秋 2	今	3～	否	2019年度生～
//	052	//	⑤②		中西 陽	秋 2				
//	053	//	⑤③		河崎 俊博	秋 2				
//	054	//	⑤④		中西 陽	春 2				

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
10704903		教職実践演習（中・高）		2	中尾 祐人 本多 千明 他	秋 2	今	4～	否	他学部合同
10704911		教 育 実 習 の 研 究		1	中尾 祐人	春・秋 1	今	4～	否	2012年度以前生のみ
10704912		教 育 実 習 指 導		1	中尾 祐人	春・秋 1	今	4～	否	2013年度生～
10704921		教 育 実 習 A		2	中尾 祐人	春・秋 2	今	3～	否	
10704922		教 育 実 習 B		2	中尾 祐人	春・秋 2	今	4～	否	
10704923		教 育 実 習 C		4	中尾 祐人	春・秋 2	今	4～	否	
10952237	052	人 権 教 育 論	⑤②	2	山口 洋介 林 克樹 中田 喜文 鈴木 良 本岡 拓哉	秋 2	今	1～	否	2013～2017年度生のみ
15010060	052	人 権 教 育 論	⑤②	2	山口 洋介 林 克樹 中田 喜文 鈴木 良 本岡 拓哉	秋 2	今	1～	否	2018年度生～
10952175		学校教育文化論（1）		2	田中 希穂	春 2	今	2～	否	2010年度生～
10952176		学校教育文化論（2）		2	未定	春 2	今	2～	否	2010年度生～
10952160		生 涯 教 育 計 画 論		2	中川 吉晴	春 2	今	2～	否	
10952161		比 較 生 涯 学 習 論		2	西平 直	春 2	今	2～	否	2017年度以前生のみ
10952181		多文化共生社会と生涯学習		2	西平 直	春 2	今	2～	否	2018年度生～
10952167	051	学 校 教 育 図 書 館 論	⑤①	2	坂下 直子	春 2	今	2～	否	* 2017年度以前生のみ
//	101	//	⑩①		佐藤 毅彦	春 2				
15020010	051	学 校 教 育 図 書 館 論	⑤①	2	坂下 直子	春 2	今	2～	否	* 2018年度生～
//	101	//	⑩①		佐藤 毅彦	春 2				
10952809	051	学校図書館メディアの構成	⑤①	2	坂下 直子	春 2	今	2～	否	* 2017年度以前生のみ
//	101	//	⑩①		坂下 直子	春 2				
15020020	051	学校図書館メディアの構成	⑤①	2	坂下 直子	春 2	今	2～	否	* 2018年度生～
//	101	//	⑩①		坂下 直子	春 2				
10952810	051	学習指導と学校図書館	⑤①	2	大平 睦美	春 2	今	2～	否	* 2017年度以前生のみ
//	101	//	⑩①		大平 睦美	春 2				
15020030	051	学習指導と学校図書館	⑤①	2	大平 睦美	春 2	今	2～	否	* 2018年度生～
//	101	//	⑩①		大平 睦美	春 2				
10952222	051	読書と豊かな人間性	⑤①	2	岩崎 れい	春 2	今	2～	否	* 2017年度以前生のみ
//	052	//	⑤②		井上 靖代	秋 2				
15020040	051	読書と豊かな人間性	⑤①	2	岩崎 れい	春 2	今	2～	否	* 2018年度生～
//	052	//	⑤②		井上 靖代	秋 2				
10952811	051	情報メディアの活用	⑤①	2	笠井 詠子	秋 2	今	2～	否	* 2017年度以前生のみ 先行登録
//	101	//	⑩①		笠井 詠子	春 2				
//	102	//	⑩②		休講					
15020050	051	情報メディアの活用	⑤①	2	笠井 詠子	秋 2	今	2～	否	* 2018年度生～ 先行登録
//	101	//	⑩①		笠井 詠子	春 2				
//	102	//	⑩②		休講					
10270031	051	日 本 文 化 史 概 説	⑤①	4	北 康宏	春・秋 2	今	2～	否	☆ * 2015年度以前生のみ
//	101	//	⑩①		北 康宏	春・秋 2				
10270316	051	日本文化史概説（1）	⑤①	2	北 康宏	春 2	今	2～	否	☆ * 2016年度生～
//	101	//	⑩①		北 康宏	春 2				
10270317	051	日本文化史概説（2）	⑤①	2	北 康宏	秋 2	今	2～	否	☆ * 2016年度生～
//	101	//	⑩①		北 康宏	秋 2				

☆がついている科目は、2014年度以降生のみ選択科目Ⅲへ算入されます。

登録コード		科目名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
10270117	051	東洋文化史概説 (1)	㉔	2	城地 孝	春 2	NET	2 ~	否	☆*
//	101	//	㉕		城地 孝	秋 2	NET			
10270118	051	東洋文化史概説 (2)	㉔	2	張 子康	秋 2	今	2 ~	否	☆*
//	101	//	㉕		張 子康	春 2	今			
10270101	051	西洋文化史概説 (1)	㉔	2	増永 理考	春 2	今	2 ~	否	☆*
//	052	//	㉔		井福 剛	春 2	NET			
//	053	//	㉔		増永 理考	秋 2	今			
//	101	//	㉕		井福 剛	秋 2	NET			
10270102	051	西洋文化史概説 (2)	㉔	2	吉門 昌宏	秋 2	今	2 ~	否	☆*
//	052	//	㉔		大谷 誠	秋 2				
//	053	//	㉔		大谷 誠	春 2				
//	101	//	㉕		中村 年延	春 2				
10270095		日 本 社 会 史 (1)		2	西岡 直樹	春 2	今	2 ~	否	☆
10270096		日 本 社 会 史 (2)		2	西岡 直樹	秋 2	今	2 ~	否	☆
10307661		近 代 日 本 政 治 史		2	森 靖夫	春 2	今	2 ~	否	☆
10307662		現 代 日 本 政 治 史		2	森 靖夫	秋 2	今	2 ~	否	☆
10307663		近代ヨーロッパ政治史		2	力久 昌幸	春 2	今	2 ~	否	☆
10307664		現代ヨーロッパ政治史		2	力久 昌幸	秋 2	今	2 ~	否	☆
10270303	001	日本地域史研究 (1)	①	2	合同	春 2	今	2 ~	否	☆
//	011	//	①		辻川 敦					
//	012	//	②		生嶋 輝美					
10270304	001	日本地域史研究 (2)	①	2	合同	秋 2	今	2 ~	否	☆
//	011	//	①		辻川 敦					
//	012	//	②		生嶋 輝美					
10522441		日 本 商 業 史		2	山下 麻衣	秋 2	今	3 ~	否	☆2013年度生~
10270105		西 洋 社 会 史 (1)		2	藤原 辰史	春 2	今	2 ~	否	☆
10270106		西 洋 社 会 史 (2)		2	服部 伸	秋 2	今	2 ~	否	☆
10270127	051	人 文 地 理 学 (1)	㉔	2	本岡 拓哉	春 2	今	2 ~	否	☆*
//	101	//	㉕		佐野 静代	春 2				
10270128	051	人 文 地 理 学 (2)	㉔	2	本岡 拓哉	秋 2	今	2 ~	否	☆*
//	101	//	㉕		佐野 静代	秋 2				
10270420	051	地 理 学 総 論 (1)	㉔	2	津村 宏臣	春 2	今	2 ~	否	☆*2013年度生~ ※㉔クラスは免許資格取得目的の場合のみ、履修可。 免許資格課程センターへ要事前相談)
//	101	//	㉕		古関 大樹	春 2				
10270421	051	地 理 学 総 論 (2)	㉔	2	津村 宏臣	秋 2	今	2 ~	否	☆*
//	101	//	㉕		古関 大樹	秋 2				
10270078	051	地 誌 学	㉔	2	古関 大樹	春 2	今	2 ~	否	☆*
//	052	//	㉔		佐野 静代	秋 2				
//	101	//	㉕		佐野 静代	春 2				
10912003	053	社 会 学 概 論	㉔	4	西岡 暁廣	春 4	今	1 ~	否	☆*
//	101	//	㉕		武田 祐佳	秋 4				
10240107	051	哲 学 概 論 (1)	㉔	2	新 茂之	春 2	今	3 ~	否	☆
10240108	051	哲 学 概 論 (2)	㉔	2	新 茂之	秋 2	今	3 ~	否	☆
10240109	051	倫 理 学 概 論 (1)	㉔	2	林 克樹	春 2	今	3 ~	否	☆*
10240110	051	倫 理 学 概 論 (2)	㉔	2	林 克樹	秋 2	今	3 ~	否	☆*
10240103	051	宗 教 学 概 論 (1)	㉔	2	古荘 匡義	春 2	今	3 ~	否	☆*
10240104	051	宗 教 学 概 論 (2)	㉔	2	古荘 匡義	秋 2	今	3 ~	否	☆*

☆がついている科目は、2014年度以降生のみ選択科目Ⅲへ算入されます。

登録コード		科 目 名	クラス	単位	担当者	期間 時間	開講 校地	配当 年次	他学部生 履修可否	備 考
科目コード	クラスコード									
11700001	051	心 理 学 概 論 (1)	⑤①	2	井上 毅	春 2	今	2 ～	否	☆* 2018年度生～
//	052	//	⑤②		敦賀麻理子					
//	053	//	⑤③		谷口 康祐					
11700002	051	心 理 学 概 論 (2)	⑤①	2	井上 毅	秋 2	今	2 ～	否	☆* 2018年度生～
//	052	//	⑤②		敦賀麻理子					
//	053	//	⑤③		谷口 康祐					
10402643	051	日 本 の 憲 法	⑤①	2	二宮 貴美	春 2	今	1 ～	否	* 2016年度生～
//	052	//	⑤②		田中 謙太	秋 2				
//	053	//	⑤③		宮村 教平	秋 2				
10704931		教職コンピュータ実習		2	小阪 真也	春 2	今	1 ～	否	先行登録

☆がついている科目は、2014 年度以降生のみ選択科目Ⅲへ算入されます。

日本語・日本文化教育科目

日本語・日本文化教育科目は、外国人留学生が一日も早く本学での生活に慣れ、学習研究の実をあげることができるように、また日本語・日本文化を深く学び、日本での学習研究を生きたものにすることができるように設置されている科目です。

具体的な開講科目や、登録方法、その他注意事項等は、「日本語・日本文化教育科目 履修の手引き」を入手し、熟読の上、登録手続を行なってください。

カリキュラム上の取扱い（正規学生時に認定される群・類等）

《2016年度以降生対象》

科目名	政策学部
日本語1（読解 A VI）	外国語教育科目 C 群(※)
日本語1（読解 A VII）	〃
日本語1（読解 A VIII）	〃
日本語1（読解 A IX）	〃
日本語1（読解 B VI）	〃
日本語1（読解 B VII）	〃
日本語1（読解 B VIII）	〃
日本語1（読解 B IX）	〃
日本語1（語彙 VI）	〃
日本語1（語彙 VII）	〃
日本語1（語彙 VIII）	〃
日本語1（語彙 IX）	〃
日本語1（文章表現 III）	履修不可
日本語1（文章表現 IV）	〃
日本語1（文章表現 V）	〃
日本語1（文章表現 VI）	外国語教育科目 C 群(※)
日本語1（文章表現 VII）	〃
日本語1（文章表現 VIII）	〃
日本語1（文章表現 IX）	〃
日本語1（口頭表現 A I）	履修不可
日本語1（口頭表現 A II）	〃
日本語1（口頭表現 A VI）	外国語教育科目 C 群(※)
日本語1（口頭表現 A VII）	〃
日本語1（口頭表現 A VIII）	〃
日本語1（口頭表現 A IX）	〃
日本語1（口頭表現 B I）	履修不可
日本語1（口頭表現 B II）	〃
日本語1（口頭表現 B III）	〃
日本語1（口頭表現 B IV）	〃
日本語1（口頭表現 B V）	〃
日本語1（口頭表現 B VI）	外国語教育科目 C 群(※)
日本語1（口頭表現 B VII）	〃
日本語1（口頭表現 B VIII）	〃
日本語1（口頭表現 B IX）	〃
日本語1（文法 I）	履修不可
日本語1（文法 II）	〃
日本語1（文法 III）	〃
日本語1（文法 IV）	〃
日本語1（文法 V）	〃
日本語1（文法 VI）	外国語教育科目 C 群(※)
日本語1（文法 VII）	〃
日本語1（文法 VIII）	〃
日本語1（文法 IX）	〃
日本語2（読解 A VI）	〃
日本語2（読解 A VII）	〃
日本語2（読解 A VIII）	〃
日本語2（読解 A IX）	〃
日本語2（読解 B VI）	〃
日本語2（読解 B VII）	〃
日本語2（読解 B VIII）	〃
日本語2（読解 B IX）	〃
日本語2（語彙 VI）	〃
日本語2（語彙 VII）	〃
日本語2（語彙 VIII）	〃
日本語2（語彙 IX）	〃
日本語2（文章表現 III）	履修不可
日本語2（文章表現 IV）	〃
日本語2（文章表現 V）	〃

科目名	政策学部
日本語2（文章表現 VI）	外国語教育科目 C 群(※)
日本語2（文章表現 VII）	〃
日本語2（文章表現 VIII）	〃
日本語2（文章表現 IX）	〃
日本語2（口頭表現 A I）	履修不可
日本語2（口頭表現 A II）	〃
日本語2（口頭表現 A VI）	外国語教育科目 C 群(※)
日本語2（口頭表現 A VII）	〃
日本語2（口頭表現 A VIII）	〃
日本語2（口頭表現 A IX）	〃
日本語2（口頭表現 B I）	履修不可
日本語2（口頭表現 B II）	〃
日本語2（口頭表現 B III）	〃
日本語2（口頭表現 B IV）	〃
日本語2（口頭表現 B V）	〃
日本語2（口頭表現 B VI）	外国語教育科目 C 群(※)
日本語2（口頭表現 B VII）	〃
日本語2（口頭表現 B VIII）	〃
日本語2（口頭表現 B IX）	〃
日本語2（文法 I）	履修不可
日本語2（文法 II）	〃
日本語2（文法 III）	〃
日本語2（文法 IV）	〃
日本語2（文法 V）	〃
日本語2（文法 VI）	外国語教育科目 C 群(※)
日本語2（文法 VII）	〃
日本語2（文法 VIII）	〃
日本語2（文法 IX）	〃
ビジネス日本語 A	履修不可
ビジネス日本語 B	〃
ビジネス日本語 C	外国語教育科目 C 群(※)
ビジネス日本語 D	〃
日本の文学 A	選択科目 III
日本の歴史 1	〃
日本の歴史 2	〃
日本の文化 1	〃
日本の文化 2	〃
日本の社会 1	〃
日本の社会 2	〃
日本の思想・宗教 1	〃
日本の思想・宗教 2	〃
日本の教育	〃
日本の法と政治	〃
日本の伝統と人間形成	〃
日本の伝統と美	〃
日本の伝統と文化	〃
日本の伝統と芸能	〃
日本の伝統と能楽	〃
日本の伝統と芸術	〃
日本の芸術 1	〃
日本の芸術 2	〃
異文化間コミュニケーション A	〃
異文化間コミュニケーション B	〃
世界の歴史 1	〃
世界の歴史 2	〃
歴史の歴史	〃

※ 英語圏からの留学生は外国語教育科目 A 群の単位に認定される。

※1・2 「異文化間コミュニケーション A・B」は、2021年度学則より廃止。2020年度以前の学則における扱いは休講となる。

※3 「歴史の歴史」は、2017年度学則より廃止。2016年度学則における扱いは休講となる。

《2011～2015年度生対象》

科目名	政策学部
日本語1(読解 A VI)	外国語教育科目 C 群(※)
日本語1(読解 A VII)	〃
日本語1(読解 A VIII)	〃
日本語1(読解 A IX)	〃
日本語1(読解 B VI)	〃
日本語1(読解 B VII)	〃
日本語1(読解 B VIII)	〃
日本語1(読解 B IX)	〃
日本語1(語彙 VI)	〃
日本語1(語彙 VII)	〃
日本語1(語彙 VIII)	〃
日本語1(語彙 IX)	〃
日本語1(文章表現 III)	履修不可
日本語1(文章表現 IV)	〃
日本語1(文章表現 V)	〃
日本語1(文章表現 VI)	外国語教育科目 C 群(※)
日本語1(文章表現 VII)	〃
日本語1(文章表現 VIII)	〃
日本語1(文章表現 IX)	〃
日本語1(口頭表現 A I)	履修不可
日本語1(口頭表現 A II)	〃
日本語1(口頭表現 A VI)	外国語教育科目 C 群(※)
日本語1(口頭表現 A VII)	〃
日本語1(口頭表現 A VIII)	〃
日本語1(口頭表現 A IX)	〃
日本語1(口頭表現 B I)	履修不可
日本語1(口頭表現 B II)	〃
日本語1(口頭表現 B III)	〃
日本語1(口頭表現 B IV)	〃
日本語1(口頭表現 B V)	〃
日本語1(口頭表現 B VI)	外国語教育科目 C 群(※)
日本語1(口頭表現 B VII)	〃
日本語1(口頭表現 B VIII)	〃
日本語1(口頭表現 B IX)	〃
日本語1(文法 I)	履修不可
日本語1(文法 II)	〃
日本語1(文法 III)	〃
日本語1(文法 IV)	〃
日本語1(文法 V)	〃
日本語1(文法 VI)	外国語教育科目 C 群(※)
日本語1(文法 VII)	〃
日本語1(文法 VIII)	〃
日本語1(文法 IX)	〃
日本語2(読解 A VI)	〃
日本語2(読解 A VII)	〃
日本語2(読解 A VIII)	〃
日本語2(読解 A IX)	〃
日本語2(読解 B VI)	〃
日本語2(読解 B VII)	〃
日本語2(読解 B VIII)	〃
日本語2(読解 B IX)	〃
日本語2(語彙 VI)	〃
日本語2(語彙 VII)	〃
日本語2(語彙 VIII)	〃
日本語2(語彙 IX)	〃
日本語2(文章表現 III)	履修不可
日本語2(文章表現 IV)	〃
日本語2(文章表現 V)	〃

科目名	政策学部
日本語2(文章表現 VI)	外国語教育科目 C 群(※)
日本語2(文章表現 VII)	〃
日本語2(文章表現 VIII)	〃
日本語2(文章表現 IX)	〃
日本語2(口頭表現 A I)	履修不可
日本語2(口頭表現 A II)	〃
日本語2(口頭表現 A VI)	外国語教育科目 C 群(※)
日本語2(口頭表現 A VII)	〃
日本語2(口頭表現 A VIII)	〃
日本語2(口頭表現 A IX)	〃
日本語2(口頭表現 B I)	履修不可
日本語2(口頭表現 B II)	〃
日本語2(口頭表現 B III)	〃
日本語2(口頭表現 B IV)	〃
日本語2(口頭表現 B V)	〃
日本語2(口頭表現 B VI)	外国語教育科目 C 群(※)
日本語2(口頭表現 B VII)	〃
日本語2(口頭表現 B VIII)	〃
日本語2(口頭表現 B IX)	〃
日本語2(文法 I)	履修不可
日本語2(文法 II)	〃
日本語2(文法 III)	〃
日本語2(文法 IV)	〃
日本語2(文法 V)	〃
日本語2(文法 VI)	外国語教育科目 C 群(※)
日本語2(文法 VII)	〃
日本語2(文法 VIII)	〃
日本語2(文法 IX)	〃
ビジネス日本語 A	履修不可
ビジネス日本語 B	〃
ビジネス日本語 C	外国語教育科目 C 群(※) [2015年度生履修可]
ビジネス日本語 D	〃
日本の文学 A	選択科目 III
日本の歴史 1	〃
日本の歴史 2	〃
日本の文化 1	〃
日本の文化 2	〃
日本の社会 1	〃
日本の社会 2	〃
日本の思想・宗教 1	〃
日本の思想・宗教 2	〃
日本の教育	〃
日本の法と政治	〃
日本の伝統と人間形成	〃
日本の伝統と美	〃
日本の伝統と文化	〃
日本の伝統と芸能	〃
日本の伝統と能楽	〃
日本の伝統と芸術	〃
日本の芸術 1	〃
日本の芸術 2	〃
異文化間コミュニケーション A	〃 ※1
異文化間コミュニケーション B	〃 ※2
人から人間への道	〃 ※3
アイデンティティの社会格差	〃
世界の歴史 1	〃
世界の歴史 2	〃
歴史の歴史	〃 ※4

※ 英語圏からの留学生は外国語教育科目 A 群の単位に認定される。

※1・2 「異文化間コミュニケーション A・B」は、2021年度学則より廃止。2015年度以前の学則における扱いは休講となる。

※3 「人から人間への道」は、2016年度学則より廃止。2015年度以前の学則における扱いは休講となる。

※4 「歴史の歴史」は、2017年度学則より廃止。2015年度以前の学則における扱いは休講となる。

外国語による科目の開講について

外国語による授業科目として、下記科目が開講されている。※

開講 校地	登録コード		科目名・クラス	担当者	期間	週時間	単位	配当 年次	備考
	科目	クラス							
今	10103147		アメリカ史における宗教 (American Society and Religion)	GAVIN J.CAMPBELL	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	10103751		古代イスラエル史演習 (マリ・メジ文書から見た古代イスラエル史)	ADA TAGGAR-COHEN	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	10103754		古代近東学入門 (古代近東の文化史入門)	ADA TAGGAR-COHEN	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10103961		一神教研究演習 1 (Japanese Religion and Monotheism(1))	小 原 克 博 ELBALTI BELIGH	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	10103962		一神教研究演習 2 (Japanese Religion and Monotheism(2))	小 原 克 博 ELBALTI BELIGH	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	10912157		ジェンダーの社会学	KIM VIKTORIYA	秋学期	4	4	2～	英語により授業を行う
今	10912301		Contemporary Japanese Culture and Society	Mattias Van Ommen	秋学期	4	4	2～	英語により授業を行う
今	10932148		国際コミュニケーション論	BRIAN COVERT	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	10952140		Education and World Culture (1)	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	10952135		Globalization, Education, and Culture(1)	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016・2017 年度生のみ登録可)
今	10952131		Globalization and Education(1)	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	10952141		Education and World Culture (2)	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	10952136		Globalization, Education, and Culture(2)	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016・2017 年度生のみ登録可)
今	10952132		Globalization and Education(2)	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	10952162		Topics in Education and Development	乾 美 紀	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (社会学部 2018 年度以降生お よびILA 所属学生のみ登録可)
今	10952172		Topics in Overseas Education	乾 美 紀	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (社会学部 2017 年度以前生お よびILA 所属学生のみ登録可)
今	10952180		Topics in Multiculturalism and Education	柴 川 真由美	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	10952174		Special Topics in Education and Culture	柴 川 真由美	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2017年度以前生のみ登録可)
今	10305811	015	特殊講義 A [英語講義 : International Dispute Resolution Advocacy Workshop]	ANSELMO REYES 前 川 直 輝	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	10305821	026	特殊講義 B [英語講義 : Basic Academic English for Political Studies]	PETER TREBILCO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	10305821	027	特殊講義 B [英語講義 : Intermediate Academic English for Political Studies]	PETER TREBILCO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	10305823	603	特殊講義 B [英語講義 : International History in the Asia-Pacific Region]	中 達 啓 示	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10307414	000	アメリカ法	COLIN P.A. JONES	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10308851	001	Japanese Constitution	東 川 浩 二	春学期	集中	2	3～	英語により授業を行う (法学部 2012 年度以降生のみ登録可)
今	10308852	001	Japanese Private Law	植 松 真 生	春学期	2	2	3～	英語により授業を行う (法学部 2012 年度以降生のみ登録可)
今	10308853	001	Special Course in Japanese Law	湊 川 和 彦	春学期	2	2	3～	英語により授業を行う (法学部 2012 年度以降生のみ登録可)
今	10308854	001	Current Issues in Japanese Law	KARYN KANDELL	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う (法学部 2012 年度以降生のみ登録可)

開講 校地	登録コード		科目名・クラス	担当者	期間	週時間	単位	配当 年次	備考
	科目	クラス							
今	10308855	001	American Law	SHAWN MICHAEL HUIZENGA	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308855	002	American Law	SHAWN MICHAEL HUIZENGA	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308856	001	Asian Law	黄 ジン霆	秋学期	集中	2	3～	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308857	001	European Law	笠 原 宏	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308858	001	Current Issues in Comparative Law	高 橋 宏 司	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308858	002	Current Issues in Comparative Law	JAY KLAPHAKE	春学期	2	2	3～	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308858	003	Current Issues in Comparative Law	西 谷 祐 子	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308858	004	Current Issues in Comparative Law	ISABELLE RORIVE	春学期	集中	2	3～	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308859	001	International Law	新 井 京	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308860	001	International Arbitration	高 橋 宏 司	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308861	001	International Institutions and Global Law	ANSELMO REYES	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308862	001	Current Issues in Global Law	COLIN P.A. JONES	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308862	002	Current Issues in Global Law	JAY KLAPHAKE	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308863	000	International Commercial Arbitration Moot 1	廣 田 浩	春学期	2	2	3～	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308864	000	International Commercial Arbitration Moot 2	廣 田 浩	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308865	000	International Law Moot 1	新 井 京	春学期	2	2	3～	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308875	000	Public Opinion and Political Participation in Japan	西 澤 由 隆	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う (法学部2013年度以降生のみ登録可)
今	10308876	000	Development and Democracy in East Asia	鈴 木 絢 女	春学期	2	2	3～	英語により授業を行う (法学部2013年度以降生のみ登録可)
今	10523620	001	専門外国語特講-1 Language and Culture in International Business	佐 藤 研 一	春学期	2	2	3～	英語による講義 (商学部生のみ登録可)
今	10523620	002	専門外国語特講-2 International Career Development	ALEX M.HAYASHI	秋学期	2	2	3～	英語による講義 (商学部生のみ登録可)
今	10523620	003	専門外国語特講-3 Global Business History	西 村 成 弘	秋学期	2	2	3～	英語による講義 (商学部生のみ登録可)
今	10702003	007	アカデミック・スキル1(読解) 「探究型学習による文献読解/グループ研究」	伊 川 萌 黄	秋学期	2	2	1	英語による講義 (政策学部生のみ登録可)
今	10702003	008	アカデミック・スキル1(読解) 「探究型学習による文献読解/グループ研究」	伊 川 萌 黄	秋学期	2	2	1	英語による講義 (政策学部生のみ登録可)
今	10702004	208	アカデミック・スキル2(伝達) 「映像から読み解く「現代世界と差異」」	増 渕 あさ子	春学期	2	2	2	英語による講義 (政策学部生のみ登録可)
今	10702004	209	アカデミック・スキル2(伝達) 「映像から読み解く「現代世界と差異」」	増 渕 あさ子	春学期	2	2	2	英語による講義 (政策学部生のみ登録可)
今	10702626	026	政策トピックス-②⑥ 「エネルギー政策に関する現代課題」	伊 川 萌 黄	秋学期	2	2	2～	英語による講義
田	11610202		技術英語 I	IVAN TANEV	春学期	2	1	3～	英語により授業を行う (理工学部インテリジェント 情報工学科生のみ登録可)
田	11615046		技術英語	IVAN TANEV	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う (理工学部情報システムデ ザイン学科生のみ登録可)

開講 校地	登録コード		科目名・クラス	担当者	期間	週時間	単位	配当 年次	備考
	科目	クラス							
田	11615084		マルチエージェント工学	IVAN TANEV	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う (理工学部情報システムデザイン学科生のみ登録可)
田	11615113		インテリジェントアルゴリズム	IVAN TANEV	春学期	2	2	3～	英語により授業を行う (理工学部情報システムデザイン学科生のみ登録可)
田	11502064		スポーツ健康科学グローバル演習 (スポーツを通して実践英語を身に着けよう)	橘 未 都	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う (スポーツ健康科学部 2018 年度以降生のみ登録可)
今	12232708		南北アメリカ地域文化特論 3	SUSANNA PAVLOSKA	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う (2017年度以前生のみ登録可)
今	12232724		南北アメリカ地域の文化 4	SUSANNA PAVLOSKA	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	12234051		Global and Regional Cultural Studies Seminar 1	MATTHEW LARKING	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う (グローバル地域文化 学部生のみ登録可)
今	12234052		Global and Regional Cultural Studies Seminar 2	BLAKE TURNBULL	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う (グローバル地域文化 学部生のみ登録可)
今	12234053		Global and Regional Cultural Studies Seminar 3	崎 田 智 子	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う (グローバル地域文化 学部生のみ登録可)
今	12234054		Global and Regional Cultural Studies Seminar 4	AYSUN UYAR	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う (グローバル地域文化 学部生のみ登録可)
今	16000224	053	比較言語文化論 1 - 53	ESTA TINA OTTMAN	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000225	051	比較言語文化論 2 - 51	潘 哲 毅	秋学期	2	2	1～	中国語により授業を行う
今	16000200	000	ジョイント・セミナー 比較文化論	和 泉 真 澄	秋学期	4	4	2～	主に英語により授業を行う
今	16000205	053	日本の伝統と芸能	高 永 珍	春学期	2	2	1～	コリア語により授業を行う (2017年度以前生のみ登録可)
今	16000215	052	日本とアジア 2	高 永 珍	秋学期	2	2	1～	コリア語により授業を行う
今	(クラスにより異なる)		スタンフォード大学科目	(複数クラス開講)	春学期 秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (複数クラス開講) 春学期科目は2年次生以上が登録可能 秋学期科目は開講予定
今	(クラスにより異なる)		A K P 科目	(複数クラス開講)	春学期 秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (複数クラス開講) 春学期科目は2年次生以上が登録可能 秋学期科目は開講予定
今	(クラスにより異なる)		K C J S 科目	(複数クラス開講)	春学期 秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (複数クラス開講) 春学期科目は2年次生以上が登録可能 秋学期科目は開講予定
今	16606500	051	チュービンゲン大学科目	MICHAEL WACHUTKA	春学期	2	2	1～	ドイツ語により授業を行う 春学期科目は2年次生以上が登録可能
今	16606500	052	チュービンゲン大学科目	MICHAEL WACHUTKA	秋学期	2	2	1～	ドイツ語により授業を行う
田	16000702	001	Introduction to Japanese Culture in the Global Context	ANYA CLARISSA BENSON	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000702	002	Introduction to Japanese Culture in the Global Context	ANYA CLARISSA BENSON	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000702	051	Introduction to Japanese Culture in the Global Context	ANYA CLARISSA BENSON	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000702	052	Introduction to Japanese Culture in the Global Context	DIAZ SANCHO IVAN	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000703	001	Introduction to Japanese Society in the Global Context	ROBERT WILLIAM ASPINALL	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う

開講 校地	登録コード		科目名・クラス	担当者	期間	週時間	単位	配当 年次	備考
	科目	クラス							
今	16000703	051	Introduction to Japanese Society in the Global Context	ROBERT WILLIAM ASPINALL	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000703	052	Introduction to Japanese Society in the Global Context	ROBERT WILLIAM ASPINALL	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000704	001	Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context	有 井 健	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000704	002	Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context	有 井 健	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000704	051	Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context	有 井 健	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000704	052	Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context	有 井 健	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000705	001	Humanities and Global Issues	ANYA CLARISSA BENSON	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	16000705	051	Humanities and Global Issues	ANYA CLARISSA BENSON	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	16000705	052	Humanities and Global Issues	ESTA TINA OTTMAN	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	16000706		Social Sciences and Global Issues	ROBERT WILLIAM ASPINALL	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う
田	16000707	001	Natural Sciences and Global Issues	有 井 健	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	16000707	051	Natural Sciences and Global Issues	有 井 健	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	16000708	051	Japan in Modern World History	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000708	052	Japan in Modern World History	DIAZ SANCHO IVAN	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000709	051	International Relations in the Postwar Era	GARTH WARRIES	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000709	052	International Relations in the Postwar Era	GARTH WARRIES	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000710	001	Issues in Japanese Culture	ANYA CLARISSA BENSON	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000710	051	Issues in Japanese Culture	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000710	052	Issues in Japanese Culture	ANYA CLARISSA BENSON	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000711	001	Japanese Thought and Religion 1	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016～2017年度生のみ登録可)
今	16000711	051	Japanese Thought and Religion 1	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016～2017年度生のみ登録可)
田	16000212	001	日本の思想・宗教 1	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	16000212	052	日本の思想・宗教 1	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
田	16000712	001	Japanese Thought and Religion 2	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016～2017年度生のみ登録可)
今	16000712	051	Japanese Thought and Religion 2	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016～2017年度生のみ登録可)
田	16000213	001	日本の思想・宗教 2	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	16000213	052	日本の思想・宗教 2	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
田	16000713	001	Tradition and Art in Japan 1	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016～2017年度生のみ登録可)
今	16000713	051	Tradition and Art in Japan 1	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016～2017年度生のみ登録可)

開講 校地	登録コード		科目名・クラス	担当者	期間	週時間	単位	配当 年次	備考
	科目	クラス							
田	16000207	002	日本の伝統と芸術	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	16000207	054	日本の伝統と芸術	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
田	16000714	001	Tradition and Art in Japan 2	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016～2017年度生のみ登録可)
今	16000714	051	Tradition and Art in Japan 2	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016～2017年度生のみ登録可)
田	16000207	001	日本の伝統と芸術	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	16000207	053	日本の伝統と芸術	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	16000216	051	Japan Today 1	OMAR YUSEF BAKER	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2017年度以前生のみ登録可)
今	16000216	052	Japan Today 1	OMAR YUSEF BAKER	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2017年度以前生のみ登録可)
今	16000217	051	Japan Today 2	OMAR YUSEF BAKER	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2017年度以前生のみ登録可)
今	16000217	052	Japan Today 2	OMAR YUSEF BAKER	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2017年度以前生のみ登録可)
田	16000715	001	Democracy and Politics : A Comparative Perspective	ROBERT WILLIAM ASPINALL	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000715	051	Democracy and Politics : A Comparative Perspective	ROBERT WILLIAM ASPINALL	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000716	001	Education in the Age of Globalization	ROBERT WILLIAM ASPINALL	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000716	051	Education in the Age of Globalization	ROBERT WILLIAM ASPINALL	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000717	001	Issues in Intercultural Communication	ROBERT WILLIAM ASPINALL	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000717	051	Issues in Intercultural Communication	ROBERT WILLIAM ASPINALL	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000718		Economy and Business in the Global Context 1	森 宏一郎	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000719		Economy and Business in the Global Context 2	森 宏一郎	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000720	051	Critical Social Issues in Contemporary Japan 1	WILLIAM BRADLEY	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016年度以降生のみ登録可)
今	16000720	052	Critical Social Issues in Contemporary Japan 1	WILLIAM BRADLEY	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016年度以降生のみ登録可)
今	16000218	051	日本の社会事情	WILLIAM BRADLEY	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	16000218	052	日本の社会事情	WILLIAM BRADLEY	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	16000721	051	Critical Social Issues in Contemporary Japan 2	WILLIAM BRADLEY	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000721	052	Critical Social Issues in Contemporary Japan 2	WILLIAM BRADLEY	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000723	051	The Divisions of Identity in Society	安 武 留 美	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う 学部所属正規学生(2016年度以降生)
今	16000211	051	アイデンティティの社会格差	安 武 留 美	春学期	2	2	1～	学部所属正規一般学生(2015年度以前生)
今	16000723	052	The Divisions of Identity in Society	GARTH WARRIES	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う 学部所属正規学生(2016年度以降生)
今	16000211	052	アイデンティティの社会格差	GARTH WARRIES	秋学期	2	2	1～	学部所属正規一般学生(2015年度以前生)
今	16000724		Statistics for the Social Sciences and Humanities	MYGDALSKYY VOLODYMYR	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う

開講 校地	登録コード		科目名・クラス	担当者	期間	週時間	単位	配当 年次	備考
	科目	クラス							
今	16000725		Introduction to Computer Science and Information Technology	MYGDALSKYY VOLODYMYR	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000727		Introduction to Quantitative Data Analysis	BENJAMIN POIGNARD	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000728		Conservation of Japanese Nature and Environment	有 井 健	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000730		Science of Natural Disasters	有 井 健	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000731		Principles of Economics	森 宏一郎	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000732		Environmental Economics and Sustainability	森 宏一郎	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16091201	051	Advanced Seminar 1	ANYA CLARISSA BENSON	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16091201	052	Advanced Seminar 1	ANYA CLARISSA BENSON	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16091202	051	Advanced Seminar 2	ROBERT WILLIAM ASPINALL	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16091202	052	Advanced Seminar 2	ROBERT WILLIAM ASPINALL	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16091203	051	Advanced Seminar 3	有 井 健	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000803	053	日本の伝統と芸能	高 永 珍	春学期	2	2	1～	コリア語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
田	16000806	001	Japanese Thought and Religion 1	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	16000806	051	Japanese Thought and Religion 1	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
田	16000807	001	Japanese Thought and Religion 2	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	16000807	051	Japanese Thought and Religion 2	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
田	16000808	001	Tradition and Art in Japan 1	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	16000808	051	Tradition and Art in Japan 1	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
田	16000809	001	Tradition and Art in Japan 2	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	16000809	051	Tradition and Art in Japan 2	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	16000810	051	Japan Today 1	OMAR YUSEF BAKER	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	16000810	052	Japan Today 1	OMAR YUSEF BAKER	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	16000811	051	Japan Today 2	OMAR YUSEF BAKER	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	16000811	052	Japan Today 2	OMAR YUSEF BAKER	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)

※ 先行登録が必要な科目があります。各学部の履修要項・登録要領で確認すること。

※ 学部によっては履修できない科目や記載されている配当年次では履修できない場合があります。必ず自分が所属する学部の履修要項・登録要領で確認すること。

※ 文学部およびグローバル・コミュニケーション学部の一部の授業科目ならびに国際教育インスティテュートの授業科目は外国語で開講されているが、この表には記載していない。

※ 「日本語・日本文化教育科目」、「外国語による科目」についてわからないことがあれば、所属の学部・研究科事務室、各キャンパスの教務センターで相談すること。

Ⅱ．充実した学生生活を過ごすために

Ⅱ. 充実した学生生活を過ごすために

◎授業支援について

・政策学部専任教員研究室（新町キャンパス溪水館 1・2 階・臨光館 4 階、烏丸キャンパス志高館 2 階）

政策学部専任教員に相談等がある場合は各自でコンタクトをとってください。溪水館、志高館に研究室のある教員については、1 階の表示板で各教員が在室しているかを確認できます。また、研究室番号等、教員の詳しい紹介は『政策学部・総合政策科学研究科ハンドブック』をご確認ください。教員との積極的なコミュニケーションを図り、有意義な学生生活を送ってください。

・政策学部専任教員オフィスアワー

みなさんの学業や日常生活に関する疑問や悩みに、政策学部専任教員が所定の時間・場所を設けて相談に応じます。詳しくは『政策学部・総合政策科学研究科ハンドブック』をご確認ください。

・政策学部事務室（新町キャンパス臨光館 1 階）

みなさんの学籍や成績の管理、レポートの受付など教務に関するさまざまな窓口となります。履修やその他のことなど気軽にご相談ください。

・掲示板

みなさんへの連絡は、すべて掲示板による連絡が基本となっていますので、登校の際は、必ず掲示板を見るようにして下さい。なお、掲示板に加え、大学が交付した電子メールアドレス宛にも連絡する場合があります。必要に応じて、普段使用するメールアドレスへ転送設定をしておくことをお勧めします。

今 出 川	良心館 1 階 教務センター北側	授業時間割・休講・補講・教室変更等
新 町	臨光館 1 階 政策学部事務室前廊下	政策学部連絡事項・試験・レポート等
	尋真館 1 階 講師控室前廊下	授業時間割・休講・補講・教室変更等

同志社大学ホームページ (<https://www.doshisha.ac.jp>) でも様々な情報を得ることができますが、変更等が生じることやデータ更新までのタイムラグがありますので、必ず掲示板でも確認するようにしてください。

・情報処理環境利用ユーザ ID

入学式当日、入学前サポートサイトにて本学の情報処理環境を利用するためのユーザ ID を交付します。ただし、入学式から講義開始までのオリエンテーション期間に実施される「ネットワーク利用資格認定試験」を受講しない、または受講しても認定試験に不合格の場合、学内 LAN や電子メールを利用することができません。詳しくは「ネットワーク利用資格認定試験」のテキストを参照してください。

なお、電子メールや学修支援システム DUET 等のサービスの利用については、同志社大学 IT サポートオフィスホームページ (<https://it.doshisha.ac.jp/index.html>) を参照してください。

・政策学会

同志社大学政策学会は、政策に関する学術の研究を助成し、政策学の確立と発展を目的として、政策学部開設と同時に発足しました。本会は紀要、論文集の発行、研究会および講演会の開催、小クラス科目運営補助等の事業を行います。詳細はその都度掲示します。なお、講演会は学生のみなさんへも公開しますので、積極的に参加してください。

・授業用レジュメ等印刷室

演習Ⅰ～Ⅲ、卒業研究演習Ⅰ・Ⅱ、FYE、AS 等小クラスの授業において、発表のためレジュメ等を準備する必要がある場合に使用することができます。詳しくは政策学部事務室へ問合せってください。

・ゼミ準備室

演習Ⅰ～Ⅲ、卒業研究演習Ⅰ・Ⅱ、FYE、ASの各科目クラスのグループ単位で、臨光館1階および3階ラーニングテリアにあるゼミ準備室を授業準備に利用することができます。詳しくは『政策学部・総合政策科学研究科ハンドブック』をご確認ください。

◎在学留学、早稲田大学学生交流について

(1) 在学留学制度

同志社大学に在学したまま、本学と交流協定を結んでいる外国の大学などへ留学することを在学留学といいます。留学先の大学で修得した単位については、授業内容等を勘案したうえで単位認定をします。協定校や在学留学制度の詳細は本学国際センターが発行している『海外留学ロードマップ』を参照してください。

(2) 早稲田大学学部学生交流制度（国内留学）

同志社大学と早稲田大学は学生交流に関する協定を締結し、毎年相互に学部学生の派遣および受入れを行っています。早稲田大学で修得した単位については、授業内容等を勘案したうえで単位認定をします。詳細は毎年9月下旬頃に発表される募集要項を参照してください。

◎やむを得ず休学等を考えることとなった場合

卒業要件に関わる科目等について休学後の履修計画をあらかじめ想定しておくことが望まれます。事前にFYEや演習の担当教員および政策学部事務室で相談してください。

◎やむを得ない事情が生じた場合に第2年次から第3年次に転学部を考える

同志社大学では、やむを得ない事情が生じた場合に限り、第2年次から第3年次に進むときに希望先学部教授会の決定を経て転学部を認められることがあります。ただし、本学部での履修状況によっては希望先学部の出願基準（修得単位数、GPA等）を満たさない場合もありますので、第2年次の科目登録の時期までに政策学部事務室および希望先の学部事務室へ相談してください。

◎大学院進学について

・総合政策科学研究科

2010年4月に、「政策」を教育・研究のキーワードとしている政策学部と総合政策科学研究科が一体化し、学部の上に大学院が位置づけられる組織形態となりました。これにより、教育・研究面におけるより一層の連携体制が構築されたこととなり、学生の皆さんにとってもより深く政策に関する研究に取り組むことが可能となりました。政策学部から総合政策科学研究科への進学については、通常の入試のほか、政策学部生のみを対象にした特別推薦入学制度を利用することができます。詳細は政策学部事務室へ問合せください。なお、政策学部は社会科学の研究にとって必要な基礎をしっかりと身につけることができる学部ですから、法学研究科、経済学研究科、商学研究科などの大学院へ進学することも可能です。

大学院進学を目指す人は、外国語の学修について1・2年次に卒業必要単位を修得するだけでなく、上級クラスを積極的に履修し外国語の力を養ってください。

・早期卒業制度について

政策学部では2008年度以降生を対象に、3年次秋学期終了時に卒業できる「早期卒業制度」を設けています。

本制度は、同志社大学大学院総合政策科学研究科との連携教育システムに位置づけ、優れた才能を一層伸ばできると期待できる学生を早期に総合政策科学研究科へ進学させる制度として運用するものです。

制度の詳細または申請の要領については掲示板または政策学部事務室で確認してください。また、本履修要項P. XXIにも運用内規を掲載していますので、そちらも確認してください。

◎公務員試験について

政策学部には公務員試験に関連のある科目が多くあります。また、本学キャリアセンターでは、公務員に関する資料の設置や公務員講座の実施等も行っています。同センターに設置されている「就職活動体験記」を読むなどして、自分に適した勉強方法とペース配分を早くつかみ、一步一步確実に、正確な知識を積み上げていってください。なお、キャリアセンターでは公務員試験だけでなく、通常の就職活動全般のサポートも行っています。積極的に活用してください。

学 業 履 修 に つ い て

本学のカリキュラム（教育課程）は、各学部・学科の教育上の目的を達成するために、学部ごとに定められています。本学において卒業するためには、所定の単位を修得し、この課程を修めなければなりません。

各学部のカリキュラムに定める授業科目の登録・履修にあたっての詳細な説明・手続については、本要項および各学部ごとに作成されている『登録要領』を参照してください。なお、各授業科目の内容については『シラバス』を参照してください。

障がいのある学生への受講に対する配慮

身体、精神・発達等に障がいのある学生が、他の学生と等しい条件のもとで科目を受講できるよう、「合理的配慮」について検討します。

合理的配慮を希望される場合は、スチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室（SDA 室）までご相談ください。

単 位 制

単位制とは、各学部ごとに定められた授業科目を登録・履修し、試験に合格することによりそれぞれの授業科目の所定の単位を得、修業年限中に卒業に必要な単位数を修得していく制度です。

現在の我が国の大学制度は単位制度を基本としており、下記に記載している学則のとおり、1単位は、教室等での授業時間と準備学習や復習の時間を合わせて標準45時間の学修を要する教育内容をもって構成されています。授業だけでなく、準備学習や復習の時間の重要性をよく理解しておくようにしてください。

卒業必要単位数は学部によって異なるので、所属学部の欄を参照してください。学部授業科目の単位数の計算は、次の基準によります（学則第9条 3項 4項）。

- 3 授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、次の基準による。
 - (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 実験、実習、実技等については、30時間から45時間までの範囲で本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
 - (3) 第1号に規定する授業の方法と前号に規定する授業の方法を併用する場合の単位数の基準は、前2号に規定する基準を考慮して本大学が定める。
- 4 前項の規定にかかわらず、卒業論文等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定める。

授業時間

本学における授業時間は1講時について90分とし、これを2時間と計算しています。例えば、「春学期・週2時間」とは、春学期期間中に90分の授業が週1回行われるということであり、「秋学期・週4時間」とは、秋学期期間中に90分の授業が週2回行われるということです。

講 時	授 業 時 間
1	9：00～10：30
2	10：45～12：15
3	13：10～14：40
4	14：55～16：25
5	16：40～18：10
6	18：25～19：55
7	20：10～21：40

休 講

授業は、学年暦によって行われますが、担当者の公務、出張、学会、病気などによって休講となる場合もあります。休講に関する情報は本学学修支援システム DUET（以下 DUET という）で確認することができます。急な休講や休講取消もありますので、DUET を適宜確認するようにしてください。なお、休講情報もなく、講義が始まらない場合は各キャンパスの教務センターへ申し出て、確かめるようにしてください。

補 講

補講に関する情報は、DUET で確認することができます。日時、教室などをよく確認して受講してください。

集 中 講 義

科目によっては、特定期間内に集中して行う講義（集中講義）があります。詳細については、すべて掲示によって連絡します。

授業教室

- (1) 学部授業時間割表は、科目登録・履修に必要な書類とともに、各自に配付されますが、それ以後の教室変更などは、DUET でお知らせしますので、よく注意してください。なお、秋学期開講科目の学部授業時間割表は、9月中旬にあらためて公開、配付します。
- (2) 開講当初の授業教室は、学部授業時間割表に記載しています。授業教室は登録者数の増減により変更することがありますので、DUET で変更教室を確認のうえ、授業に出席してください。
- (3) 授業教室名はすべて略号と教室番号で記載されています（次頁表）。例えば、京田辺校地の場合「Iー201」は知真館1号館201番教室（2階）、「KD202」は恵道館202番教室（2階）を、また、今出川校地の場合「Z地1（ZBI）」は尋真館地下1番教室（地階）、「S32」は至誠館32番教室（3階）を表すものです。
- (4) 授業教室は、臨時に変更することがあります。この場合は「臨時教室変更」として DUET でお知らせしますので、その講時のみ変更された教室で受講してください。

〔京田辺キャンパス〕

略 号	館 名
(TC) 1	知真館1号館
(TC) 2	知真館2号館
(TC) 3	知真館3号館
KD	恵 道 館
TS	頌 真 館
MK	夢 告 館
JM	情報メディア館
RM	ローム記念館
KR	交 隣 館
RG	理 化 学 館
IN	医 心 館
YE	有徳館西館
YM	有徳館東館
SC	至 心 館
KC	香 知 館
HS	報 辰 館
SO	創 考 館
CG	知 源 館
SJ	知証館南館 心理学実験室
D	知証館南館 電気系実験実習棟
IJ	知証館北館 機械系実験実習棟
MS1	知証館北館 機械実習工場
MS2	実習工場別棟
HC	訪 知 館
BJ	磐 上 館
KHH	香柏館高層棟
KHL	香柏館低層棟
DV	デイヴィス記念館
TW	体育シャワー棟

〔今出川キャンパス〕

N	寧 静 館
M	明 徳 館
S	至 誠 館
K	弘 風 館
G	神 学 館
F	扶 桑 館
CL	クラーク記念館
H	博 遠 館
T	徳 照 館
KE	光 塩 館
RY	良 心 館

〔新町キャンパス〕

Z	尋 真 館
R	臨 光 館
SS	新 創 館
KS	湊 水 館

〔烏丸キャンパス〕

SK	志 高 館
----	-------

〔室町キャンパス〕

KMB	寒 梅 館
-----	-------

〔大阪サテライト〕

OS	大阪サテライト
----	---------

情報教室（京田辺キャンパス）

略 称	教 室 名	館 名
JM101	情報メディア館演習室1	情報メディア館1階
JM102A～C	情報メディア館情報道場1～3	情報メディア館1階
JM201～206	情報メディア館201～206番教室	情報メディア館2階
JM301～306	情報メディア館301～306番教室	情報メディア館3階
JM402～406	情報メディア館402～406番教室	情報メディア館4階
TS101・102	頌真館101・102番教室	頌真館1階
TS202	頌真館202番教室	頌真館2階

情報教室（今出川キャンパス）

K21・22・25	弘風館21・22・25番教室	弘風館2階
RY307～315	良心館307～315番教室	良心館3階

情報教室（新町キャンパス）

R303・304	臨光館303・304番教室	臨光館3階
----------	---------------	-------

情報教室（烏丸キャンパス）

SK地1・地9	志高館地下1・地下9番教室	志高館地階
---------	---------------	-------

KSR	継 志 寮
-----	-------

授業の録音・録画等について

科目担当者が事前に許可した場合を除き、次の行為を禁止します。

- (1)授業の撮影（黒板・スクリーン等の撮影を含む）
- (2)授業の録音・録画
- (3)授業において配付した資料の複写
- (4)視聴のためにサーバ等に保存した授業動画のダウンロード
- (5)上記(1)～(4)により取得したものの第三者への譲渡・公開等

試験および授業内に行われる多面的評価について

本学の成績評価は、試験と授業内に行われる多面的評価により行います。

1. 試 験

試験には下記の種類があります。

- (1)定期試験
各学期末の定められた期間に行われる試験を定期試験といいます。
- (2)臨時試験
定められた期間以外に行われる試験を臨時試験といいます。
- (3)追試験
病気またはやむを得ない理由のために、定期試験または学部教授会が認める臨時試験を受験できなかった場合に限り行われる試験を追試験といいます。受験希望者は以下の点に注意してください。
 - a. 当該科目の試験日の翌日から起算して3日以内（窓口業務休止日を除く）に、追試験願を所属学部・研究科窓口に提出しなければならない。ただし、課外活動のために受験できない場合、追試験願は事前に提出し承認を受けなければならない。
 - b. 追試験願には、当該試験を受験できなかった事由を証明する以下の書類を添付しなければならない。
 - c. 1科目につき1,000円の追試験料を必要とする。ただし、裁判員制度および検察審査会制度を事由とする追試験については、追試験料を免除する。なお、追試験を未受験であった場合でも追試験料は返還しない。
 - d. 追試験は通常の試験と同等に評価される。減点はされない。
 - e. レポート試験は追試験の対象にはなりませんが、提出締切日・時間に突発的な事故等やむを得ない事由により、提出締切時間に間に合わなくなった場合は、必ず提出締切時間までに提出先に連絡を取り、指示を受けること。
 - f. 追試験も何らかの事情により受験できなかった場合には、これに対する追試験は実施しない。

対象事由例	必要な証明書類
本人の病気、怪我	医師の診断書（試験当日安静が必要である旨の記載が必要） 学校感染症の場合は、『「学校において予防すべき感染症」罹患証明書』でも可
親族（2親等内）死亡 （適用期間は次のとおりとする。 ・死亡日を1日目とした7日以内。 ・死亡前日を1日目として遡った3日以内。）	死亡診断書、会葬案内等
教 育 実 習	免許資格課程センター事務室の証明書
介 護 等 体 験	免許資格課程センター事務室の証明書
館 園 実 習	免許資格課程センター事務室の証明書
社会福祉援助、精神保健福祉援助に関する実習	社会学部・社会学研究科事務室の証明書
公認心理師に係る心理実習	心理学部・心理学研究科事務室の証明書
就 職 試 験 (注1)	企業等が発行する就職試験受験証明書 (大学所定用紙あり)
大 学 院 入 学 試 験	当該大学院が発行する受験証明書
正課科目のインターンシップ	キャリアセンター、または大学コンソーシアム京都が発行する証明書
大学コンソーシアム京都単位互換科目の定期試験	当該科目設置大学が発行する受験証明書
国 家 試 験	当該試験の受験票
課 外 活 動	事前届出に基づく学生支援センターの証明書
災 害	被災証明書
交通機関の事故、不通 (1時間以上(注2)の延着の場合に限る。)	交通機関の延着証明書
裁判員制度 ・裁判員候補者として裁判員等選任手続に参加 ・裁判員、補充裁判員として職務に従事	裁判所が発行する証明書
検察審査会制度 ・検察審査員、補充員として職務に従事	検察審査会事務局が発行する証明書

(注1) 採用に関わらないセミナー、説明会を除く。追試験の対象事由について判断しかねる場合は、キャリアセンターに問い合わせてください。

(注2) 1時間未満の場合は、その都度教務部で対応を決定する。

2. 試験上の注意

- (1) 受験のためには次の条件を備えていることが必要です。
 - a. 有効な登録がなされた科目であること。
 - b. 学費納入が済んでいること。
 - c. 科目担当者の指定する条件を備えていること。なお、授業日数の3分の2以上の出席がない場合は、科目担当者の判断によって、受験資格を取消すことがある。
- (2) 試験場においては次のことを守らなければなりません。
 - a. 指定された試験場で受験すること。
 - b. 必ず学生証を持参し、机上に提示すること。万一、持参しなかった場合は、その試験の始まる前に証明書自動発行機(発行手数料100円)で仮学生証を発行すること。
 - c. 持込みを許された物以外はすべて鞆・袋などに入れること。なお、携帯電話(スマートフォンを含む)、パソコン(モバイルPC等を含む)、タブレット端末、スマートウォッチ等の通信機器、携帯音楽プレーヤー等の携帯型録音再生機器等(以下「携帯機器類」という。)については、電源を切って鞆や袋などにしまうこと(携帯機器類は時計代わりの使用も認めない)。
 - d. 試験開始より15分以上遅刻したものは受験できない。また、試験開始後30分を経過するまでは退室できない。
 - e. 受験者は学生証と答案用紙の氏名との照合確認を受けること。
 - f. 答案用紙の学生ID、氏名は必ずペン書とする。
 - g. 試験を放棄する場合も答案用紙に学生ID、氏名を記入して提出すること。答案用紙を持ち帰ってはならない。
 - h. その他すべて試験監督者の指示に従うこと。
- (3) 次の場合には、その答案は無効とみなされることがあります。
 - a. 無記名の場合。
 - b. 指定された試験場で受験しなかった場合。
 - c. 氏名を訂正した場合。
- (4) 次の行為は、不正行為として取り扱います。
 - a. 本人以外の者が、本人になりすまして試験を受けること。
 - b. 試験を受験するにあたって、机上や衣服、身体等に書き込みをすること。
 - c. 試験を受験するにあたって、持ち込みや使用を認められたものに書き込みをする等、本来の使用目的と異なる使い方をすること。
 - d. 試験時間中に、カンニングペーパー類や持ち込みを許可されていない参考書・ノート類を持ち込んだり、他の受験生の答案を見ること、他の人から答えを教わること。
 - e. 試験時間中に、答えを教える等の他の受験生を利用するような行為をすること。
 - f. 答案用紙配付から回収までの私語や答案の見せ合い、交換をすること。
 - g. その他、試験監督者の指示に従わないこと。
- (5) 次の行為は、不正行為として取り扱う場合があります。
 - a. 試験時間中に、使用を認められていない用具を使用して解答すること。

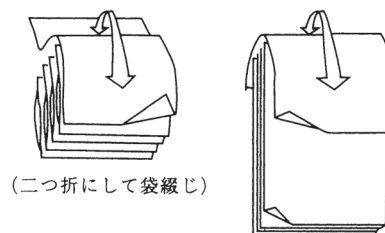
講 時	試 験 時 間
1	9:20～10:30
2	11:00～12:10
3	13:25～14:35
4	15:05～16:15
5	16:45～17:55
6	18:25～19:35
7	20:05～21:15

- b. 試験監督者の試験開始の指示の前に解答を始めること。
 - c. 試験監督者の試験終了の指示の後に、筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、解答を続けていたりすること。
 - d. 試験場において、他の受験生の迷惑となる行為をすること。
 - e. 試験時間中に、携帯電話(スマートフォンを含む)、パソコン(モバイルPC等を含む)、タブレット端末、スマートウォッチ等の通信機能を有する機器、携帯音楽プレーヤー等の携帯型録音再生機器等(以下「携帯機器類」という。)を身に付けていたり、指示された以外の場所・状態で保管していること。
 - f. 試験時間中に、携帯機器類・時計等の音(着信、アラーム、振動音等)を鳴らすこと。
 - g. その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
- (6) 前2項の不正行為があつて、当該学部教授会がそれを認定した場合は、その試験が実施された学期中の全科目を不合格(2004年度生以降)または0点(2003年度生以前)とし、これを公表する(ただし、当該教授会が定める科目については除く)。

3. 論文・レポート試験の注意

- (1) 論文・レポート提出時は、次のことに注意すること。
 - a. 論文・レポートには所定の表紙(同志社生協で販売又は、https://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/exam_type.htmlでダウンロード可)を付けること。
 - b. 表紙およびレポート受領書は、ペン書きのこと。
 - c. 学生証を持参のうえ、必ず本人が提出すること。郵送は認めない。
 - d. 提出締切日・時間に遅れた論文・レポートは、受け付けない。ただし、提出締切日の突発的な事故等やむを得ない事由により、提出締切時間に間に合わない場合、必ず提出締切時間までに提出先に連絡を取り指示を受けること。
 - e. 一度提出したレポートは、提出締切日前であっても加筆・修正はできない。
 - f. レポート受領書は、評価が出るまで大切に保管すること。

〈見本〉 原稿用紙 レポート用紙



(二つ折にして袋綴じ)

- (2) 論文・レポートに関する不正行為について。
 次のような論文・レポートの不正作成は、筆記試験におけると同様に不正行為として取扱い、教授会が認定した場合は学部一般内規に従って処分の対象とします。
 - a. 論文・レポートの作成にあたって、他人の著作物やWEB上の情報等を参照・引用したにもかかわらず、引用部分の明示や出典の記載もなく、自身で作成したように記述すること。
 - b. 他人が作成した論文・レポートを自分のものとして提出すること。

窓口受付時間(開講期間)

		月～金曜日	土曜日
今 出 川 ※	今出川キャンパス教務センター 文学部、法学部、経済学部、今出川校地教務課、 免許資格課程センター事務室、 全学共通教養教育センター事務室	9:00～11:30 12:30～17:00 総合窓口 8:40～17:00	総合窓口のみ 8:40～11:30 12:30～17:00
	新町総合窓口 社会学部事務室、政策学部事務室	9:00～11:30 12:30～17:00 総合窓口 8:40～17:00	閉 室
	神学部事務室	9:00～11:30 12:30～17:00	
	商学部事務室	9:00～11:30 12:30～17:00	
	グローバル地域文化学部事務室	9:00～11:30 12:30～17:00	
京 田 辺 ※	国際教育インスティテュート事務室 国際教養教育院事務室	9:00～11:30 12:30～17:00	閉 室
	京田辺キャンパス教務センター 生命医科学部、スポーツ健康科学部、心理学部、 グローバル・コミュニケーション学部、 免許資格課程センター事務室、京田辺校地教務課	9:00～11:30 12:30～17:00 総合窓口 9:00～17:00	閉 室
	文化情報学部事務室 理工学部事務室	9:00～11:30 12:30～17:00	閉 室

登録期間、休暇期間は受付時間が変わります。窓口受付時間が変更になる場合は、大学HP、掲示等によってお知らせします。
 ※ 教務センターの総合窓口では、一般的な質問やレポートの受付等を行います。

- c. 他人に依頼し作成された論文・レポートを自分のものとして提出すること。
- d. 他人に依頼されて論文・レポートを作成すること。
- e. 転記目的で他人が作成した論文・レポートの提供を受けること、また自身が作成した論文・レポートを転記目的で他人に提供すること。
- f. その他、論文・レポートの公平性を損なう行為をすること。

4. e-learning 等 Learning Management System (LMS) による試験に関する注意

e-learning 等 LMS による試験を受験する場合は、次のことに注意すること。

- a. パスワードを他人に教えたり、IC 学生証を貸し借りしたりしないこと。
- b. 上記行為による、なりすまし、代理解答は不正行為にあたり、当該学部教授会がそれを認定した場合は、通常の筆記試験と同等に処分の対象となる。

5. 授業内に行われる多面的評価について

評価の方法により、「1. (3)追試験」、「2. 試験上の注意」、「3. 論文・レポート試験の注意」、「4. e-learning 等 Learning Management System (LMS) による試験に関する注意」を適用することがある。

学 業 成 績

成績評価

(1) 2004年度生以降

- a. 学業成績は以下の基準にしたがい A、B、C、D、F の 5 段階で評価され、D 以上が合格、F が不合格です。就職用成績証明書等、本学以外で使用するために発行する学業成績証明書には、D 以上の評価を得た科目とその成績に加えて、履修した全ての科目の G P A (Grade Point Average) が記載されます。

判定基準

評価	評点	判 定 内 容
A	4.0	特に優れた成績を示した
B	3.0	優れた成績を示した
C	2.0	妥当と認められる成績を示した
D	1.0	合格と認められる最低限度の成績を示した
F	0.0	合格と認められるに足る成績を示さなかった

- b. G P A は、A～F の段階で評価された全科目の評価を評点に換算して、その単位数で加重平均することによって算出されます。G P A の算出方法は次のとおりです。

$$G P A = \frac{(A \times 4.0 + B \times 3.0 + C \times 2.0 + D \times 1.0 + F \times 0.0)}{(A + B + C + D + F)}$$

(A～F は A～F の評価が付いた科目の単位数の合計)

(2) 2003年度生以前

- a. 学業成績の評価は、100点満点で60点以上が合格、それに満たないものは不合格です。ただし、就職用成績証明書等、本学以外で使用するために発行する学業成績証明書には優、良、可（英文の場合は A、B、C）による評価が使用されます。優（A）は100～80点、良（B）は79～70点、可（C）は69～60点です。
- b. 平均点は、合格点に達している科目の得点を、その単位数で加重平均することによって算出されます。加重平均の算出方法は次のとおりです。

$$\text{平均点} = \frac{(\text{各科目の得点} \times \text{単位数}) \text{の合計}}{\text{総単位数}}$$

成績発表

履修科目の成績は、春学期末（9月中旬）と秋学期末（3月中旬）に各自に通知します。それ以前の成績の照会には応じません。

採点質問

成績評価に関する質問や異議申し立てをしたい場合は、定められた成績通知日から1週間以内に、所属の学部・研究科窓口に採点質問票を提出してください。

不合格科目

(1) 2004年度生以降

F 評価であった科目を再び履修して D 以上の評価を得た場合は、直近の F 評価についてのみ GPA に算入されません。

ただし、一部の科目については取扱いが異なる場合がありますので、各学部の配布物等を参照してください。

(2) 2003年度生以前

不合格となった科目を再び履修して合格点を得た場合は、以前の不合格点は合格点に変更されます。

卒業の可否発表

卒業の可否の発表は2月下旬から3月上旬の卒業判定教授会終了後、各学生（父母住所宛）に通知します。それまでは、成績および卒業可否についての問合わせには一切応じません。

クレーム・コミットティ制度

科目担当者との直接的なコミュニケーションでは解決できない授業内容や授業方法に関する改善の要望がある場合は、所属の学部・研究科窓口に相談してください。学部・研究科で相談の内容を確認後、必要に応じて各学部等のクレーム・コミットティが事実関係を調査し、クレームに関わる一連の対応について回答します。

なお、いかなる場合であっても、相談者の学生 I D や氏名が科目担当者に明かされることはなく、また相談によって決して不利益を被ることはありません。

欠 席 届

授業に欠席し、その理由を科目担当者へ伝える場合は、欠席届を利用します。欠席届の用紙は学部・研究科事務室または各キャンパス教務センターで配布していますので、必要事項を記入の上、科目担当者に直接提出してください。なお、欠席届は任意で提出するものですので、届出必要科目は各自で判断してください。

○提出の際の留意点

- ・欠席届は、欠席の事由を科目担当者へ伝える届です。本学には「公欠」の制度はありませんので、「追試験の対象となる事由」に該当する事由か否かにかかわらず、欠席届の取扱い（欠席扱いにしない・する等）は、担当者の判断に委ねられます。
- ・欠席の事由を客観的に証明する書類がある場合は、欠席届に添付して提出してください（コピーでも可）。

例）病気の場合は「診断書」、就職試験の場合は「受験先企業等が発行する就職試験受験証明書（本学所定用紙あり）」など

※ただし、欠席の事由が以下に該当する場合は、まずそれぞれの窓口に申し出て相談してください。

事由	相談窓口
学校感染症罹患による出席停止	所属の学部窓口
免許資格課程が必修としている 正課科目の実習（教育実習、博 物館実習、図書館演習）や介護 等体験に参加	免許資格課程センター事務室 （各キャンパス教務センター内）
資格取得に必修となっている 正課科目の実習に参加、など	当該科目の設置学部・研究科 事務室、所属の学部窓口
裁判員制度によるもの	所属の学部窓口
検察審査会制度によるもの	所属の学部窓口

第1章 総 則

第1条 本大学は、教育基本法にのっとり、学校教育法の定める大学として、学術を教授研究し、あわせてキリスト教的教育の特色を発揮し、国家社会に有用な人物を養成することを目的とする。

第1条の2 本大学は、教育研究水準の向上を図り、本大学の目的及び社会的使命を達成するため、文部科学大臣の定めるところにより、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するとともに、その結果を踏まえ、教育研究活動等について不断の見直しを行う。

2 点検及び評価に関する規程は、別に定める。

3 本大学は、第1項の点検及び評価の結果について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

第1条の3 本大学は、教育研究活動等の状況について、適切な体制を整えた上で、刊行物への掲載、インターネットの利用その他広く周知を図ることができる方法によって、公表するものとする。

第2条 本大学に、学部、大学院その他の教育研究組織を置く。

2 大学院に関する学則は、別にこれを定める。

第2条の2 本大学は、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を各学部において学科毎に定め、別表Ⅱに記載する。

第2章 学 部

第1節 修業年限、学年、学期及び休業日

第3条 学部の修業年限は、4年とする。

2 在学年限は、8年を超えることができない。

第4条 削除

第5条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

2 学年を次の2学期に分ける。

春学期 4月1日から9月20日まで

秋学期 9月21日から翌年3月31日まで

第6条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 「国民の祝日に関する法律」に定める休日
- (3) 創立記念日 11月29日
- (4) キリスト降誕日 12月25日
- (5) 夏期、冬期及び春期休業に関しては、別に定める。

2 前項に規定する休業日において、必要ある場合は授業を行うことがある。また休業日は、臨時に定めることができる。

第2節 学部学科等の組織

第7条 本大学に、次の学部学科を置く。

神学部

神学科

文学部

英文学科

哲学科

美学芸術学科

文化史学科

国文学科

社会学部

社会学科

社会福祉学科

メディア学科

産業関係学科

教育文化学科

法学部

法律学科

政治学科

経済学部

経済学科

商学部

商学科

政策学部

政策学科

文化情報学部

文化情報学科

理工学部

インテリジェント情報工学科

情報システムデザイン学科

電気工学科

電子工学科

機械システム工学科

機械理工学科

機能分子・生命化学科

化学システム創成工学科

環境システム学科

数理システム学科

生命医科学部

医工学科

医情報学科

医生命システム学科

スポーツ健康科学部

スポーツ健康科学科

心理学部

心理学科

グローバル・コミュニケーション学部

グローバル・コミュニケーション学科

グローバル地域文化学部

グローバル地域文化学科

第7条の2 削除

第7条の3 本大学にキリスト教文化センターを置く。

2 キリスト教文化センターに関する規程は、別に定める。

第7条の4 本大学にハリス理化学研究所を置く。

2 ハリス理化学研究所に関する規程は、別に定める。

第7条の5 削除

第7条の6 本大学に歴史資料館を置く。

2 歴史資料館に関する規程は、別に定める。

第7条の7 本大学に日本語・日本文化教育センターを置く。

2 日本語・日本文化教育センターに関する規程は、別に定める。

第7条の8 本大学に全学共通教養教育センターを置く。

2 全学共通教養教育センターに関する規程は、別に定める。

- 第7条の9 本大学に国際教育インスティテュートを置く。
- 2 国際教育インスティテュートに関する規程は、別に定める。
- 第7条の10 本大学に免許資格課程センターを置く。
- 2 免許資格課程センターに関する規程は、別に定める。
- 第7条の11 本大学に学習支援・教育開発センターを置く。
- 2 学習支援・教育開発センターに関する規程は、別に定める。
- 第7条の12 本大学にグローバル教育センターを置く。
- 2 グローバル教育センターに関する規程は、別に定める。
- 第7条の13 本大学に文部科学省共同利用・共同研究拠点として、赤ちゃん学研究センターを置く。
- 2 赤ちゃん学研究センターに関する規程は、別に定める。

第3節 教育課程及び履修方法

- 第8条 各学部学科の教育課程は、各学部学科が学校教育法施行規則第165条の2第1項により定める方針に基づき編成し、履修方法とともに別表Ⅱにこれを定める。
- 第8条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。
- 2 本大学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 3 本大学は、第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
- 第8条の3 本大学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。
- 第9条 学生は、所属学部学科の規定に従って、一定単位数の授業科目を履修しなければならない。
- 2 教育職員免許状を得るための資格及び司書、司書教諭、学芸員の資格を得たい者は、特に指定された授業科目を履修しなければならない。
- 3 授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、次の基準による。
- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習、実技等については、30時間から45時間までの範囲で本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 第1号に規定する授業の方法と前号に規定する授業の方法を併用する場合の単位数の基準は、前2号に規定する基準を考慮して本大学が定める。
- 4 前項の規定にかかわらず、卒業論文等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定める。
- 第9条の2 本大学は、各学部において教育上有益と認めるときは、学生が学部の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で認定することができる。
- 2 第27条の2により留学した大学において単位を修得した者には、前項により認定した単位と合わせて60単位を超えない範囲で認定することができる。

- 3 外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し修得した単位及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修し修得した単位を、前2項により認定した単位と合わせて60単位を超えない範囲で認定することができる。
- 第9条の3 本大学は、各学部において教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、学部教授会の定めるところにより単位を与えることができる。
- 2 前項の単位数は、前条第1項、第2項及び第3項と合わせて60単位を超えないものとする。
- 第9条の4 本大学は、各学部において教育上有益と認めるときは、学生が入学前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本大学において修得したものとして認定することができる。
- 2 本大学は、各学部において教育上有益と認めるときは、学生が入学前に行った短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、学部の定めるところにより単位を与えることができる。
- 3 前2項の単位数は、転入学及び編入学の場合を除き、本大学において修得した単位以外のものについては、第9条の2第1項、第2項及び第3項並びに前条第1項により修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
- 第9条の5 第8条の2第2項の授業の方法により修得する単位は、各学部における卒業に必要な単位数から64単位を除いた単位数を上限として、卒業に必要な単位とすることができる。
- 第9条の6 本大学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示する。
- 2 本大学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行う。
- 第10条 削除

第4節 試験

- 第11条 履修した授業科目については、春学期及び秋学期の終りに定期試験を行う。また臨時に試験を行うことがある。
- 第12条 削除
- 第13条 試験の成績は、A、B、C、D及びFで評価し、D以上の成績を合格とする。ただし、学部の定めるところにより、特定の授業科目については試験の成績を、合格又は不合格で評価することができる。
- 第14条 疾病その他やむを得ない事由により受験できなかった場合は、その授業科目の試験日の翌日から起算して3日以内に願ひ出れば、追試験を行うことがある。

第5節 卒業及び学位の授与

第15条 学部学科所定の教育課程に従って授業科目を履修し、所定の単位を修得した者に卒業の認定を行い、卒業した学部学科の種類により次の学士の学位を授与する。在学期間に関しては、学部の定めるところにより、所定の単位を優れた成績で修得したと認められる者については、3年以上在学すれば足りるものとする。

学士（神学、英文学、哲学、美学芸術学、文化史学、国文学、社会学、社会福祉学、メディア学、産業関係学、教育文化学、法学、政治学、経済学、商学、政策学、文化情報学、工学、理学、スポーツ健康科学、心理学、グローバル・コミュニケーション学、グローバル地域文化学、国際教養）

2 前項に規定する学位には、「学士（神学）（同志社大学）」のように明記することを必要とする。

第6節 収容定員及び教育研究実施組織

第16条 各学部の入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学部学科別	入学定員	編入学定員	収容定員
神学部	63名		252名
神学科	63名		252名
文学部	705名		2,820名
英文学科	315名		1,260名
哲学科	70名		280名
美学芸術学科	70名		280名
文化史学科	125名		500名
国文学科	125名		500名
社会学部	442名		1,768名
社会学科	90名		360名
社会福祉学科	98名		392名
メディア学科	88名		352名
産業関係学科	87名		348名
教育文化学科	79名		316名
法学部	893名		3,572名
法律学科	683名		2,732名
政治学科	210名		840名
経済学部	893名		3,572名
経済学科	893名		3,572名
商学部	893名		3,572名
商学科	893名		3,572名
政策学部	420名		1,680名
政策学科	420名		1,680名
文化情報学部	294名		1,176名
文化情報学科	294名		1,176名
理工学部	756名	20名	3,064名
インテリジェント情報工学科	83名	2名	336名
情報システムデザイン学科	83名	2名	336名
電気工学科	80名	2名	324名
電子工学科	86名	2名	348名
機械システム工学科	96名	2名	388名
エネルギー機械工学科	70名	2名	284名
機能分子・生命化学科	83名	2名	336名
化学システム創成工学科	83名	2名	336名
環境システム学科	51名	2名	208名
数理システム学科	41名	2名	168名
生命医科学部	265名		1,060名
医工学科	100名		400名
医情報学科	100名		400名
医生命システム学科	65名		260名
スポーツ健康科学部	221名		884名
スポーツ健康科学科	221名		884名
心理学部	158名		632名
心理学科	158名		632名
グローバル・コミュニケーション学部	158名		632名
グローバル・コミュニケーション学科	158名		632名
（うち、英語コース	85名		340名）
グローバル地域文化学部	190名		760名
グローバル地域文化学科	190名		760名
計	6,351名	20名	25,444名

- 第17条 本大学に、教授、准教授、助教及び助手を置く。
- 2 本大学に、特別任用教授、特別任用助教（有期研究員）及び特別任用助手（有期研究員）を置くことができる。
- 3 本大学に、客員教授、客員准教授及び客員助教を置くことができる。
- 第17条の2 本大学に、実験講師を置く。
- 第18条 本大学に、学長を置く。
- 2 学長は、本学を代表するとともに、校務をつかさどり、教職員を統括する。
- 3 学長は、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、教職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修等を実施する。
- 4 学長に関し必要な事項は、別に定める。
- 第18条の2 本大学に、副学長を置く。
- 2 副学長に関し必要な事項は、別に定める。
- 第18条の3 本大学に、学部長を置く。
- 2 学部長は、学部に関する校務をつかさどる。
- 第18条の4 本大学に、機構長、部長、所長、館長、室長、別科長等を置く。
- 第18条の5 本大学に、学長補佐を置くことができる。
- 2 学長補佐に関し必要な事項は、別に定める。
- 第18条の6 本大学に、その事務を遂行するため、職員を置く。
- 2 事務組織に関する規程は、別に定める。
- 第19条 本大学の各学部に教授会を置く。
- 2 教授会は、学部に関する次の事項を審議する。
- (1) 学生の入学、退学、休学、卒業等に関する事項及び学位の授与に関する事項
 - (2) 教育課程に関する事項
 - (3) 教員の人事に関する事項
 - (4) 学則、学部諸規程に関する事項
 - (5) その他、学部長をつかさどる教育研究に関する事項
- 3 教授会は、学長から諮問された事項について審議する。
- 4 教授会は、学生の入学、卒業及び学位の授与、その他教育研究に関する重要な事項で教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるものについて、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
- 5 教授会の組織及び運営に関する事項は、各学部教授会において定める。
- 第19条の2 本大学に部長会を置く。
- 2 大学及び各学部に通ずる重要事項は、部長会で審議する。
- 3 部長会に関する規定は、別に定める。
- 第19条の3 本大学に大学評議会を置く。
- 2 大学評議会は、本学の中長期的方針に関わる事項を審議し、その達成状況を検証する。
- 3 大学評議会に関する規則は、別に定める。
- 第19条の4 本大学に大学教授会を置く。
- 2 大学教授会は、大学の重要な事項に関し学長の諮問に応じる。

第7節 入学、転入学、編入学、休学、留学、退学、除籍及び再入学

- 第20条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、学部が必要とする時には、入学の時期を学期の始めとすることができる。
- 第21条 学部第1年次に入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当しなければならない。
- (1) 高等学校卒業者
 - (2) 中等教育学校卒業者
 - (3) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）
 - (4) 高等学校に文部科学大臣の定める年数以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本学の定める分野において特に優れた資質を有すると認めたもの
 - (5) 大学への入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として、学校教育法施行規則第150条に規定された者
- 第22条 前条の資格を有する入学志願者について、各学部が学校教育法施行規則第165条の2第1項により定める方針に基づき、高等学校卒業程度の入学試験を行い、入学を許可する。
- 第23条 学部第2年次及び第3年次では、第2項又は第3項の各号のいずれかに該当する入学志願者について選考を行い、転入学又は編入学を許可することがある。
- 2 第3年次に転入学又は第2年次若しくは第3年次に編入学することができる者は、次のとおりとする。
- (1) 大学第2年次修了者
 - (2) 短期大学卒業者
 - (3) 高等専門学校卒業者
 - (4) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
 - (5) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として、学校教育法施行規則第155条第2項又は同第177条に規定された者並びに文部省令第1号により大学への編入学を認められた者
 - (6) 高等学校の専攻科の課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- 3 第2年次に転入学することができる者は、次のとおりとする。
- (1) 大学第1年次修了者
 - (2) 外国の大学において前号に準じる課程を修了した者
- 4 第3年次に転入学又は編入学することを許可された転入学生及び編入学生の修業年限は2年とし、在学年限は6年を超えることができない。
- 5 第2年次に転入学又は編入学することを許可された転入学生及び編入学生の修業年限は3年とし、在学年限は7年を超えることができない。
- 第24条 入学志願者は、指定期日までに所定の書類を提出し、別表Ⅰの5に定める入学検定料を納入しなければならない。
- 2 災害等の特別な事情により入学検定料の納入が困難であると認められる入学志願者には、申請に基づき、入学検定料を免除することがある。

3 前項の入学検定料の免除の詳細は、別に定める。

第25条 入学許可を得た者は、指定期日までに所定の書類を提出し、定められた学費を納入しなければならない。

2 本大学の複数の学部・学科・コース（以下「学部等」という。）の入学許可を得て、一方の学部等の学費を納入した者が、もう一方の学部等へ入学を希望する場合は、申請に基づき、既に納入した学費を、もう一方の学部等の学費に振替を認めることがある。

3 前項の振替の詳細は、別に定める。

第26条 連帯保証人は1名とし、父又は母（父母のいない者は、これにかわる親戚等）とする。

2 連帯保証人は、その学生の在籍中、本学学費及び本学に損害を与えた場合の損害賠償等の債務につき、極度額の範囲において連帯保証しなければならない。極度額は別表Ⅰに定める学費1年分とする。

3 連帯保証人が転籍、転居等をしたときは、その旨直ちに届け出なければならない。

4 連帯保証人が死亡したとき、又はその資格を失ったときは、あらたに連帯保証人を定めて、届け出なければならない。

第27条 学生が疾病その他やむを得ない事由により、休学しようとするときは、連帯保証人連署のうえ、春学期又は秋学期授業開始日までにその旨願い出て、許可を得なければならない。

2 休学期間は、1年又は半年とする。

3 休学の期間は、通算して4年を超えることができない。

4 休学期間は、第3条並びに第23条第4項及び第5項に定める修業年限、在学年限には算入しない。

第27条の2 学生は、在学中当該学部教授会が本人の教育上有益と認め、学長が承認した場合に限り、本学の認定する外国の大学に留学することができる。

2 留学の期間は、第3条並びに第23条第4項及び第5項に定める修業年限及び在学年限に算入できる。

3 留学の取扱いについては、別にこれを定める。

第28条 学生が、疾病その他やむを得ない事由により、退学しようとするときは、連帯保証人連署のうえ、その旨願い出なければならない。

第29条 学長は学力劣等にして成業見込みなしと認める者、又は出席常でない者を、当該学部教授会の審議を経て、論旨退学させることがある。

第30条 学長は品行不良の者、学業怠慢の者、学校の秩序を乱した者、その他学生としての本分に反した者で、当該学部教授会において懲戒の対象となりうると認められたときには、けん責、停学又は退学に処することができる。

2 前項の懲戒に関する規程は、別に定める。

第30条の2 次の各号のいずれかに該当する者は、除籍する。ただし、第1号については、春学期末卒業予定者は春学期末、それ以外の者は該当学年末（秋学期入学者は春学期末）、また第2号並びに第3号については、該当学期末に除籍する。

(1) 学費の納入を怠り、督促を受けても納入しない者

(2) 在学期間が第3条第2項並びに第23条第4項及び第5項に規定する在学年限を超える者

(3) 学費未納で履修科目の登録をしていない者

第30条の3 退学者及び前条第1項第1号又は第3号により除籍

された者が、連帯保証人連署のうえ、再入学を願い出た場合は、それを許可することがある。

なお、除籍された者が再入学を願い出る場合は、事前に未納学費を完納しなければならない。

第30条の4 再入学許可を得た者は、指定期日までに所定の書類を提出し、定められた学費を納入しなければならない。

第8節 科目等履修生、聴講生及び外国人留学生

第31条 各学部等に設置する一又は複数の授業科目を履修し単位を修得しようとする者があるときは、相当の資格があると認めた者につき、科目等履修生とすることができる。

2 科目等履修生のうち、他の大学の学生で、協定に基づき本大学の授業科目を履修する者については、交流学生又は単位互換履修生として受け入れることができる。

第32条 科目等履修生が履修した授業科目について試験を受け合格したときは、所定の単位を与える。

2 前項に定めるもののほか、科目等履修生に関する内規は、別に定める。

第33条 削除

第34条 削除

第35条 各学部等に設置する一又は複数の授業科目を聴講しようとする者があるときは、相当の資格があると認めた者につき、聴講生とすることができる。

第36条 聴講生に関する内規は、別に定める。

第36条の2 外国人留学生に関する内規は、別に定める。

第9節 学 費

第37条 在学生の学費は、春学期及び秋学期の学年暦に定める日までに納入しなければならない。ただし、春学期の学費を納入するときに、当該年度の秋学期の学費も納入することができる。

2 外国人留学生（特別学生）研修料は、春学期及び秋学期の学年暦に定める日までに納入しなければならない。

3 履修料及び聴講料は、所定の期間内に納入しなければならない。

第38条 学費は、入学金、授業料（履修料、聴講料、研修料を含む。）、教育充実費、特別在籍料及び休学在籍料とし、その額は、別表Ⅰから別表Ⅱの4にこれを定める。

2 協定に基づくダブルディグリープログラムにより、本大学から1学期間以上留学する者は、特別在籍料を納入するものとし、入学金を除く他の学費の納入を要しない。

3 休学を許可された者は、休学在籍料を納入するものとし、入学金を除く他の学費の納入を要しない。

4 第31条第2項に定める、協定に基づき本大学の授業科目を履修するため、他の大学から受け入れた交流学生及び単位互換履修生の学費については、当該大学との協定に基づき設定する。

5 いったん納入した学費は、返還しない。ただし、入学許可を得た者で、入学日の前日までに入学手続の取消しを願い出たものについては、入学金又はこれに相当する金額を除く学費を返還することがある。

6 履修科目の登録に際して実験実習料を要する科目及びその実験実習料については、別に定める。

7 退学者又は除籍された者については、別に定める場合を除き、当該学期の学費を徴収する。

8 第30条第1項に基づく停学到处せられた者については、その期間中も学費を徴収する。

第39条 やむを得ない事情があると認められる場合は、申請に基づき、学費（特別在籍料及び休学在籍料を除く。）を延納又は分納することができる。

2 前項の学費の延納又は分納の詳細は、別に定める。

第39条の2 本大学は、大学等における修学の支援に関する法律に基づき、授業料及び入学金の減免を行う。

2 前項の授業料及び入学金の減免の詳細は、別に定める。

第39条の3 災害等の特別な事情により学費の納入が困難であると認められる者には、申請に基づき、学費の一部を免除することがある。

2 前項の学費の一部免除の詳細は、別に定める。

第3章 附属施設

第40条 図書館を設け、図書、学術雑誌、電磁的方法により提供される学術情報等を系統的に整備し、教育研究を促進する。

2 大学には学部研究室、実験室、研究所等を設ける。

第41条 寄宿舎を設け、一部学生を入舎させる。

第42条 学生支援機構保健センターを設け、教職員及び学生の保健医療に当る。

附 則

1 この学則は、2005年4月1日から施行する。

2 第27条第3項の規定は、1989年度入学生から適用する。

3 第9条に規定する教育職員免許状を得るための資格（高等学校地理歴史・公民科）については、1990年度入学生から適用する。

4 第7条、第16条は、知識工学科設置、機械工学科、機械工学第二学科の機械システム工学科、エネルギー機械工学科への名称変更及び工業化学科、化学工学科の機能分子工学科、物質化学工学科への改組転換により1994年4月1日から改正施行する。

5 第7条は、学部第2部を1997年度入学生から学生募集停止及び文学部第1部、法学部第1部、経済学部第1部、商学部第1部の文学部、法学部、経済学部、商学部への名称変更により1997年4月1日から改正施行する。

第16条は、文学部英文学科、文化学科国文学専攻、法学部法律学科、政治学科、経済学部、商学部を昼間主コース、夜間主コースを設置。これにともなう学部、学科の収容定員増加変更により1997年4月1日から改正施行する。

なお、各学部の第2部は、当該学部の第2部に在学する者がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。（1997年4月1日改正）

6 第7条、第16条は、神学部を神学科、経済学部を経済学科、商学部を商学科の学科名明示により、1999年4月1日から改正施行する。（1999年4月1日改正）

7 第7条、第16条は、文学部社会学科新聞学専攻のメディア学専攻への名称変更、政策学部政策学科、工学部情報システムデザイン学科及び環境システム学科の設置により2004年4月1日から改正施行する。（2004年4月1日改正）

8 第7条は、文学部の改組・再編による文化学科、社会学科及び各学科内の専攻の廃止、それに伴う文学部哲学科、心理学科、美学芸術学科、文化史学科、国文学科及び社会学部社会学科、

社会福祉学科、メディア学科、産業関係学科、教育文化学科の設置並びに文化情報学部文化情報学科の設置により2005年4月1日から改正施行する。

第16条は、文学部の改組・再編に伴う学部・学科の設置及び文化情報学部の設置並びに法学部及び経済学部の昼間主コース、夜間主コースの廃止により2005年4月1日から改正施行する。

なお、廃止する文化学科及び社会学科の各専攻並びに法学部及び経済学部の昼間主コース及び夜間主コースは、2005年度より学生募集を停止する。ただし、各学科・専攻及びコースは、当該学科・専攻及びコースに在学する者がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。（2005年4月1日改正）

9 第13条に規定する試験の成績評価は、2004年度第1年次入学生から適用し、2003年度以前の入学生については、従前の規程による。

10 第15条に規定する学位は、2005年度第1年次入学生から適用し、2004年度以前の入学生については、従前の規程による。

11 第30条の3に規定する再入学は、2004年度第1年次入学生から適用する。

12 第8条の別表Ⅱの各学部教育課程表は、2005年度第1年次入学生から適用し、2004年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の教育課程表による。

13 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2005年度入学生に適用する。2004年度以前の入学生については、従前の学費による。

14 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、休学在籍料については、2003年度以降在学の学生に適用する。ただし、2002年度以前の入学生のうち、従前の学費による休学中の学費が休学在籍料を下回る場合は、その額とする。

附 則

1 この学則は、2006年4月1日から施行する。

2 第7条及び第16条は、工学部知識工学科の名称変更により、改正・施行する。なお、知識工学科は、2006年度より学生募集を停止する。ただし、当該学科は、当該学科に在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規定は、従前によるものとする。

3 第8条の別表Ⅱの各学部教育課程表は、2006年度第1年次入学生から適用し、2005年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の教育課程表による。

4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2006年度入学生に適用する。2005年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

1 この学則は、2007年4月1日から施行する。

2 第16条は、文学部英文学科及び国文学科の昼間主コース、夜間主コースの廃止により、改正・施行する。なお、文学部英文学科及び国文学科の昼間主コース及び夜間主コースは、2007年度より学生募集を停止する。ただし、当該コースは、当該コースに在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。

3 第8条の別表Ⅱの各学部教育課程表は、2007年度第1年次入学生から適用し、2006年度以前の入学生については、別に

定めるもののほか、従前の教育課程表による。

- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2007年度入学生に適用する。2006年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2008年4月1日から施行する。
- 2 第7条は、理工学部数理システム学科、生命医科学部医工学科、医情報学科、医生命システム学科及びスポーツ健康科学部スポーツ健康科学学科の設置並びに工学部、機能分子工学科及び物質化学工学科の理工学部、機能分子・生命化学科及び化学システム創成工学科への名称変更により、改正・施行する。

第16条は、政策学部政策学科の昼間主コース及び夜間主コースの廃止、理工学部数理システム学科、生命医科学部及びスポーツ健康科学部の設置並びにこれにともなう学部・学科の収容定員変更及び工学部、機能分子工学科及び物質化学工学科の理工学部、機能分子・生命化学科及び化学システム創成工学科への名称変更により改正・施行する。

なお、政策学部政策学科の昼間主コース及び夜間主コース並びに工学部は、2008年度より学生募集を停止する。ただし、各学部・学科及びコースは、当該学部・学科及びコースに在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。

- 3 第8条の別表Ⅱの各学部教育課程表は、2008年度第1年次入学生から適用し、2007年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の教育課程表による。
- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2008年度入学生に適用する。2007年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2009年4月1日から施行する。
- 2 第7条は、心理学部心理学科の設置及びそれにとりなう文学部心理学科の廃止により、改正・施行する。

第16条は、心理学部心理学科の設置及びそれにとりなう文学部心理学科の廃止並びに学部・学科の収容定員変更により改正・施行する。

なお、文学部心理学科は、2009年度より学生募集を停止する。ただし、文学部心理学科は、当該学科に在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。

- 3 第8条の別表Ⅱの各学部教育課程表は、2009年度第1年次入学生から適用し、2008年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の教育課程表による。
- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2009年度入学生に適用する。2008年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2010年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部教育課程表は、2010年度第1年次入学生から適用し、2009年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の教育課程表による。
- 3 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、

教育充実費及び実験実習料については、2010年度入学生に適用する。2009年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2011年4月1日から施行する。
- 2 第7条及び第16条は、グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科の設置により、改正・施行する。
- 3 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2011年度第1年次入学生から適用し、2010年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。

附 則

- 1 この学則は、2012年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2012年度第1年次入学生から適用し、2011年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。

附 則

- 1 この学則は、2013年4月1日から施行する。
- 2 第7条は、グローバル地域文化学部グローバル地域文化学科の設置により、改正・施行する。

第16条は、学部・学科の収容定員変更、商学部商学科の昼間主コース及び夜間主コースの廃止並びにグローバル地域文化学部グローバル地域文化学科の設置により、改正・施行する。

なお、商学部商学科の昼間主コース及び夜間主コースは、2013年度より学生募集を停止する。ただし、当該コースは、当該コースに在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。

- 3 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2013年度第1年次入学生から適用し、2012年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。

附 則

- 1 この学則は、2014年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2014年度第1年次入学生から適用し、2013年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。

附 則

- 1 この学則は、2015年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2015年度第1年次入学生から適用し、2014年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 3 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2015年度入学生に適用する。2014年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2016年4月1日から施行する。
- 2 留学生別科は、2016年度より学生募集を停止する。ただし、当該組織に在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。
- 3 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2016年度第1年次入学生から適用し、2015年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課定表による。
- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2016年度入学生に適用する。2015年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2017年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2017年度第1年次入学生から適用し、2016年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 3 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2017年度入学生に適用する。2016年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2018年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2018年度第1年次入学生から適用し、2017年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 3 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2018年度入学生に適用する。2017年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2019年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2019年度第1年次入学生から適用し、2018年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 3 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2019年度入学生に適用する。2018年度以前の入学生については、従前の学費による。
なお、再入学生の入学金に関する規定のただし書きについては、2020年4月1日以降に再入学する学生に適用する。
- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、特別在籍料については、2019年4月1日以降に派遣を決定する学生に適用する。

附 則

- 1 この学則は、2020年4月1日から施行する。
- 2 第7条及び第16条は、理工学部エネルギー機械工学科の名称変更により改正・施行する。
なお、理工学部エネルギー機械工学科は、2020年度より学生募集を停止する。ただし、当該学科は、当該学科に在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。
- 3 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2020年度第1年次入学生から適用し、2019年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2020年度入学生に適用する。2019年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2021年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2021年度第1年次入学生から適用し、2020年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。

附 則

- 1 この学則は、2022年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2022年度第1年次入学生から適用し、2021年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 3 第26条に規定する連帯保証人は、2022年度第1年次入学生から適用し、2021年度以前の入学生については、従前の規程による。

附 則

- 1 この学則は、2023年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2023年度第1年次入学生から適用し、2022年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 3 第26条第2項に規定する極度額は、2023年度第1年次入学生から適用する。2022年度の入学生については、従前の規定による。
- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料及び教育充実費については、2023年度入学生に適用する。2022年度以前の入学生については、従前の学費による。

別表Ⅰ 学 費

入学金、授業料及び教育充実費

(年額)

		入 学 金	授 業 料	教育充実費
神 学 部 文 学 部 社 会 学 部 法 学 部 経 済 学 部 商 学 部 政 策 学 部 グローバル地域文化学部	第1年次	200,000円	753,000円	162,000円
	第2年次		953,000円	162,000円
	第3年次		953,000円	162,000円
	第4年次		953,000円	162,000円
文化情報学部	第1年次	200,000円	862,000円	175,000円
	第2年次		1,062,000円	175,000円
	第3年次		1,062,000円	175,000円
	第4年次		1,062,000円	175,000円
理 工 学 部 (数理システム 学科を除く) 生命医科学部	第1年次	200,000円	1,250,000円	245,000円
	第2年次		1,450,000円	245,000円
	第3年次		1,450,000円	245,000円
	第4年次		1,450,000円	245,000円
理 工 学 部 (数理システム 学 科)	第1年次	200,000円	1,173,000円	245,000円
	第2年次		1,373,000円	245,000円
	第3年次		1,373,000円	245,000円
	第4年次		1,373,000円	245,000円
ス ポ ー ツ 健 康 学 部	第1年次	200,000円	895,000円	175,000円
	第2年次		1,095,000円	175,000円
	第3年次		1,095,000円	175,000円
	第4年次		1,095,000円	175,000円
心 理 学 部	第1年次	200,000円	912,000円	183,000円
	第2年次		1,112,000円	183,000円
	第3年次		1,112,000円	183,000円
	第4年次		1,112,000円	183,000円
グ ローバル・ コ ミュニケー シ ョ ン 学 部	第1年次	200,000円	862,000円	183,000円
	第2年次		1,062,000円	183,000円
	第3年次		1,062,000円	183,000円
	第4年次		1,062,000円	183,000円

- (1) 授業料及び教育充実費については、各々2分の1を春学期学費及び秋学期学費とする。
- (2) 4年を超えて在籍した場合（再修生）の学費は、第4年次の学費を適用する。
- (3) 転入学生及び編入学生の入学金は、200,000円とし、授業料及び教育充実費は、転入学又は編入学を許可された年次に在籍する学生と同額とする。ただし、本学卒業生に限り、入学金は2分の1とする。
- (4) 再入学生の入学金は、100,000円とし、授業料及び教育充実費は、再入学を許可された年次に在籍する学生と同額とする。ただし、学費未納により学年末をもって除籍された者が翌年度4月30日までに再入学手続をする場合及び春学期末をもって除籍された者が次の秋学期10月31日までに再入学手続をする場合の入学金は、50,000円とする。

ダブルディグリープログラム による留学期間	特別在籍料
1 年	300,000円
1 学期	150,000円

休学在籍料

休 学 期 間	休学在籍料
1 年	120,000円
半 年	60,000円

- ・母国における兵役義務による休学が認められた者は、休学在籍料の納入を要しない。

別表Ⅰの２ 履修料

履修登録料	全 学 部	25,000円
履 修 料 (1単位につき)	神、文、社会、法、経済、商、 政策、グローバル地域文化学部	21,000円
	文化情報、スポーツ健康科学部	23,000円
	理工、生命医科学部	31,000円
	心理、グローバル・コミュニケーション学部	24,000円

- (1) 履修料の総額が当該年度の第1年次の「授業料及び教育充実費の合計額」を超える場合は、その額にとどめる。
- (2) 本学出身者及び前年度から継続の履修生の履修登録料は、2分の1とする。
- (3) 学期をまたがって履修する場合、履修登録料は、重複して徴収しない。
- (4) 複数の学部併願する場合、履修登録料は、重複して徴収しない。

別表Ⅰの３ 聴講料

聴講登録料	全 学 部	25,000円
聴 講 料 (1単位につき)	神、文、社会、法、経済、商、 政策、グローバル地域文化学部	14,000円
	文化情報、スポーツ健康科学部	15,000円
	理工、生命医科学部	21,000円
	心理、グローバル・コミュニケーション学部	16,000円

- (1) 聴講料の総額が当該年度の第1年次の「授業料及び教育充実費の合計額」を超える場合は、その額にとどめる。
- (2) 本学出身者及び前年度から継続の聴講生の聴講登録料は、2分の1とする。
- (3) 学期をまたがって聴講する場合、聴講登録料は、重複して徴収しない。
- (4) 複数の学部併願する場合、聴講登録料は、重複して徴収しない。

別表Ⅰの４ 外国人留学生（特別学生）入学金及び研修料

	入 学 金	研 修 料 (年額)	研 修 料 (年度内の在学期間が 7月以内の場合)
神学部 文学部 社会学部 法学部 経済学部 商学部 政策学部 グローバル地域文化学部	25,000円	420,000円	210,000円
文化情報学部 スポーツ健康科学部	25,000円	460,000円	230,000円
理工学部 生命医科学部	25,000円	620,000円	310,000円
心理学部 グローバル・コミュニケーション学部	25,000円	480,000円	240,000円
グローバル教育センター 日本語・日本文化教育センター	25,000円	636,000円	318,500円

- (1) 研修料については、2分の1を春学期学費及び秋学期学費とする。
- (2) 特別学生が正規課程に進学した場合、正規課程の入学金は特別学生時の入学金相当額を差し引いた額とする。
- (3) 期間延長者（同志社大学外国人留学生内規第4条第2項該当者）については、重複して入学金を徴収しない。また、研修料は入学年度の額を適用する。
- (4) 秋学期入学者の学費については、入学年度の春学期入学者の学費を適用する。
- (5) 特別学生が、年度内に20単位（グローバル教育センター及び日本語・日本文化教育センターは、30単位）を超えて学科目登録をする場合は、超過する分1単位につき上記入学金及び研修料のほかに、学部授業科目を登録するときは学則別表Ⅰの2に定める履修料相当額を、ビジネス研究科ビジネス専攻を除く大学院授業科目を登録するときは大学院学則別表Ⅰの2に定める履修料相当額を、ビジネス研究科ビジネス専攻授業科目を登録するときは専門職大学院学則別表Ⅰの2に定める履修料相当額を、グローバル教育プログラム科目、日本語・日本文化教育プログラム科目及び日本語・日本文化教育科目を登録するときは学則別表Ⅰの2に定める神、文、社会、法、経済、商、政策、グローバル地域文化学部の履修料相当額を研修料として納入すること。

- (6) 研修料の総額が当該年度の第1年次の授業料を超える場合は、その額にとどめる。
- (7) 外国の大学の教育計画で在学する特別学生又は本学と特定の外国の大学との協定により在学する特別学生その他特別の事情のある場合は、部長会の審議を経てこの学費を適用しないときがある。

別表Ⅰの５ 入学検定料

区 分		金 額
一般選抜入学試験 推薦入学試験 転入学試験 編入学試験		35,000円
大学入学共通テストを利用する 入学試験	個別学力検査を課す場合	25,000円
	個別学力検査を課さない場合	15,000円
アドミッションズオフィスによる入学者選抜	第1次審査	25,000円
	第2次審査	10,000円
推薦選抜入学試験 自己推薦入学試験 その他特別入学試験		35,000円
推薦選抜入学試験における二段階選考 自己推薦入学試験における二段階選考 その他特別入学試験における二段階選考	第1次選考	10,000円
	第2次選考	25,000円
外国人留学生入学試験 その他外国人留学生特別入学試験 外国人留学生転入学試験 外国人留学生編入学試験	書類選考および学部独自試験を課す場合	15,000円
	書類選考のみの場合	10,000円
グローバル・コミュニケーション学部 (日本語コース) 入学試験	書類選考および学部独自試験を課す場合	15,000円
	書類選考のみの場合	10,000円
国際教育インスティテュート（国際教養コース）入学試験		15,000円

別表Ⅱ 各学部人材養成目的及び教育課程表（省略）

学 部 一 般 内 規

(2022 年 4 月 1 日改正)

学 年 暦

別に定める「学年暦」は、年間の行事を示し特別の通知・掲示がない限り、このとおり行われる。行事の詳細については、その都度指示する。

学 籍 番 号

- 1 学生には、入学と同時に学籍番号が付与され、在学する期間を通じて変わらない。
- 2 第2年次転入学生及び編入学生には、第2年次生の入学年度を冠した学籍番号が付与される。
- 3 第3年次転入学生及び編入学生には、第3年次生の入学年度を冠した学籍番号が付与される。
- 4 再入学生には、再入学を許可された年次に該当する入学年度を冠した学籍番号が付与される。

学 生 証

- 1 学生証は、本学の学生であることを証明するもので、常に携帯しなければならない。
- 2 学生証は、卒業、退学及び除籍の場合は、直ちに返納しなければならない。
- 3 学生証を紛失したときは、直ちに届け出て再交付を受けなければならない。ただし、別に定める手数料を納入することを要する。
- 4 学生証は、他人に貸与又は譲渡してはならない。

履修科目の登録

- 1 履修する科目は、学年暦に定められた期間に登録しなければならない。ただし、在学留学が認められた場合は、これによらないことがある。
- 2 合格となった科目は、再度登録履修することはできない。
- 3 各年次で登録履修できる単位数は、春学期及び秋学期合計50単位に満たない範囲内において学部の定めるところによる。
- 4 前項の規定にかかわらず、転入学生及び編入学生の登録履修できる最高単位数は、学部の定めるところによる。

学 業 成 績

- 1 学修の成果は、定められた期間に実施される定期試験、臨時に行われる試験及び授業内に行われる多面的評価等に基づき、成績として評価される。
- 2 成績は、成績原簿に記録される。
- 3 不合格となった科目を再履修し、合格となった場合は、直近の不合格の評価のみ改変される。

試 験

1 試験上の注意

- (1) 学費未納のままでは受験できない。
- (2) 未登録の授業科目は、受験できない。
- (3) 授業日数の3分の2以上の出席がない場合は、科目担当者の判断によって、受験資格を取り消すことがある。
- (4) 試験には、必ず学生証を持参しなければならない。
- (5) 試験に15分以上遅刻した者は、受験を許さない。また、試験開始後30分経過するまでは退室できない。
- (6) 論文・レポート試験及びe-learning等 Learning Management System (LMS) による試験に関する注意事項等は別に定める。
- (7) 試験にかかる不正行為があつて、当該学部教授会がそれを認定した場合は、その試験が実施された学期中の全科目を不合格とし、これを公表する。ただし、当該学部が定める科目については除く。
- (8) その他、試験に関する注意事項等は別に定める。
- (9) 試験上の注意は授業内に行われる多面的評価に適用することがある。

2 追試験

- (1) 病気又はやむを得ない事由のために、定期試験又は学部教授会が認める臨時試験を受験できなかった者に追試験を行うことがある。やむを得ない事由は別に定める。
- (2) 受験希望者は、追試験願を、当該科目試験日の翌日から起算して3日以内に提出しなければならない。ただし、課外活動のため受験できない場合、追試験願は事前に提出し承認を受けなければならない。
- (3) 追試験願には、当該試験を受験できなかった事由を証明する書類を添付しなければならない。必要な証明書類は別に定める。
- (4) 1科目につき1,000円の追試験料を納入しなければならない。

届書・願書

届書及び願書には、次のようなものがある。

1 届 書

- (1) 欠 席 届 授業科目担当者名明記、理由書（診断書等）添付のこと。
- (2) 改 姓(名)届 戸籍抄本添付のこと。
- (3) 住 所 変 更 届 新旧住所併記のこと。
- (4) 連帯保証人変更届 新旧連帯保証人併記のこと。

2 願 書

- (1) 休 学 願 理由書（診断書等）添付のこと。
- (2) 退 学 願 理由書添付のこと。

- (3) 再入学願 理由書添付のこと。
- (4) 在学留学願 留学する大学の入学許可書添付のこと。
- (5) 転学部・転学科願 理由書添付のこと。
- (6) 追 試 験 願 理由及び受験科目名記載のこと。

以上の各種届書及び願書は、所定様式により提出する。必要によっては、当該学部教授会の審議を経て処理される。

教室使用願、物品使用願等は、願い出責任者を明記のうえ、教育支援機構教務部に提出すること。

再入学

- 1 退学日又は除籍日から5年以内は、当該学部教授会の審議を経て、再入学を許可する。5年を経過したときは、試験のうえ、教授会の判定によって再入学を許可する。
- 2 再入学の時期は、学期の始めとする。
- 3 再入学を許可する学部・学科等は、退学又は除籍時の学部・学科等とする。ただし、退学又は除籍時の学部・学科等が存在しない場合及び学生募集が停止されている場合は、当該学生の再入学願を審議する学部教授会は、学長が指定する。
- 4 再入学を許可する年次、修業年限及び在学年限は、再入学前に在籍していた期間により定める。
- 5 再入学生教育課程は、再入学を許可された年次に在籍する学生と同様とする。

転学部・転学科

- 1 転学部及び転学科は、やむを得ない事情の生じた場合に限り、第2年次から第3年次に進むとき、関係学部教授会の審議を経て許可することがある。なお、学部教授会が特に必要と認めた場合は、第1年次から第2年次に進むときも当該学部内において転学科を許可することがある。
- 2 いったん転学部・転学科を許可した学生の再転学部・転学科は認めない。

- 3 転学部・転学科願書の受付期限は秋学期講義最終日とし、許可決定の時期は、当該年度の終わりとする。

学士入学

学士入学は、転入学・編入学試験を受けなければならない。ただし、本学卒業生は、同一学部学科への学士入学は認められない。

免許資格課程登録料

免許資格課程に登録する者は、次の各号の免許資格課程登録料を納入しなければならない。

- (1) 教職課程 30,000円
- (2) 博物館学芸員課程 10,000円
- (3) 図書館司書課程 10,000円

- 2 免許資格課程登録料の詳細は、別に定める。

教育実習費

教育実習に登録する者は、登録と同時に実習費を納めなければならない。

諸会費

本学が代理徴収を行う学会、父母会及び卒業生団体の諸会費は、所定の期日までに納入しなければならない。

定期健康診断

学生は、毎年、学期始めに行う定期健康診断を必ず受けなければならない。疾病その他やむを得ない理由によって定期健康診断を受けることができなかった者は、その理由のなくなった後、速やかに受けなければならない。

附 則

この内規は、2022年4月1日から施行する。

外国留学に関する諸規程

外国の大学に留学する学生の取扱いに関する内規

(設置)

第1条 本学の学部又は大学院の学生が、本学の教育課程の一環として学則第27条の2、大学院学則第20条の2、専門職大学院学則第29条又は法科大学院学則第15条により留学する場合は、この内規の定めるところによる。

(教育機関の定義)

第2条 この内規にいう外国の大学とは、外国における正規の高等教育機関で学位授与権を有するもの、又はこれに相当する教育機関をいう。

2 外国の大学の調査認定は、学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会が行う。

(留学の定義)

第3条 この内規にいう留学とは、本学の許可を受けて外国の大学に在学し、科目を履修し、又は研究指導を受けることをいう。

(条件)

第4条 この内規の適用を受けて留学する学生は、次の要件を満たさなければならない。ただし、大学院学生には適用しない。

(1) 本学に1年以上在学していること。

(2) 30単位以上修得していること。

2 前項第2号は、当該学部教授会の認める特別の事情がある場合には、適用しない。

(学籍)

第5条 この内規の適用を受けて留学する学生の本学学籍上の取扱いは、在学留学とし、休学としない。ただし、学生が休学を認められ、外国の大学で学修する場合は、この内規は適用しない。

(期間)

第6条 在学中に留学できる期間は、1年以内とする。在学留学期間の算定は、留学先大学の別にかかわらず、当該教育課程における在学留学期間の通算にて行う。

2 当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会の認める特別の事情がある場合は、1年間を限度として、在学留学期間の延長を許可する。

(履修)

第7条 留学する大学での履修については、留学前に留学する大学の授業科目を検討した上、当該学部又は研究科の指導を受けなければならない。

(学生納付金)

第8条 この内規の適用を受けて留学する学生は、留学中所定の学生納付金を納入しなければならない。

(手続)

第9条 外国の大学に留学する学生で、この内規の適用を希望する場合は、在学留学願を当該学部長又は研究科長を通じて学長に提出するものとする。

2 出発・帰国に際しては、留学出発・帰国届を当該学部長又は研究科長を経て、学長に提出しなければならない。

3 在学留学期間の延長を願い出る場合は、在学留学延長願を当該学部長又は研究科長を通じて、学長に提出するものとする。

(単位認定)

第10条 単位認定を受けようとする者は、帰国後速やかに、次に掲げる必要書類（留学した大学の発行するもの）を添付した取得単位認定願を、当該学部長又は研究科長に提出するものとする。

(1) 成績証明書（時間数、単位数、科目名を明記したもの）

(2) 指導教員又はこれに準ずる教員の所見を記したもの

(3) 受講した科目の内容を説明した教授細目

(4) 大学履修要項

2 当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会は、関係機関と協議の上審議し、留学した大学での取得単位を学則の定めるところにより認定することができる。

(帰国後の登録及び履修)

第11条 留学した学生の帰国直後の春学期又は秋学期における登録及び履修については、当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会が出国時までの履修状況等を勘案し、特別の措置を講ずることがある。なお、設置科目によっては関係機関との協議を必要とする。

(事務)

第12条 この内規に関する事務は、国際連携推進機構国際センター国際課が取り扱う。

(改廃)

第13条 この内規の改廃は、教務〔国際〕主任会議及び部長会の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この内規は、2015年4月1日から施行する。

同志社大学外国協定大学派遣留学生に関する内規

（目的）

第1条 この内規は、同志社大学外国協定大学派遣留学生制度を設け、本学の外国協定大学に学生を派遣し、もって本学建学の精神である国際主義を体得した学生を養成することを目的とする。

（定義）

第2条 この制度による外国協定大学派遣留学生とは、本学と外国の大学との大学間協定に基づき、学長の推薦により、外国の大学に留学する学生をいう。

（取扱い）

第3条 外国協定大学派遣留学生として留学をする場合は、この内規によるほか、「外国の大学に留学する学生の取扱いに関する内規」の定めるところによる。

（出願条件）

第4条 外国協定大学派遣留学生として出願できる学生は、学力、人物共に優秀で本制度の趣旨をよく理解し、留学年度の4月1日現在、学部2年次生以上の者又は大学院に在学中の者とする。

（義務）

第5条 外国協定大学派遣留学生として留学を希望する学生は、募集要項に定める出願書類を指定された期日までに提出しなければならない。

（推薦方法）

第6条 外国協定大学派遣留学生は、学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会の推薦に基づき、教務〔国際〕主任会議の審議を経て、学長が候補者を決定し、留学先大学に推薦する。

（候補者の決定）

第7条 外国協定大学派遣留学生の最終決定は、留学先大学による当該留学生の受入れ決定に基づき、学長がこれを行う。

（留学期間）

第8条 留学期間は、留学先大学の正規の1年以内とする。ただし、当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会の認める特別の事情がある場合は、教務〔国際〕主任会議の審議を経て、学長が外国協定大学への在学留学期間の延長を認めることがある。

（事務）

第9条 この内規に関する事務は、国際連携推進機構国際センター国際課が取り扱う。

（改廃）

第10条 この内規の改廃は、教務〔国際〕主任会議及び部長会の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この内規は、2015年4月1日から施行する。

同志社大学 政策学部早期卒業制度運用内規

制定 2008 年 5 月 14 日

(総則)

第 1 条 この運用内規は、同志社大学学則第 15 条ただし書の規定に基づき、同志社大学政策学部で 3 年間に在学した者に卒業の認定を行うこと（以下、「早期卒業」という。）に関し必要な事項を定める。

(趣旨)

第 2 条 政策学部では、早期卒業制度を大学院総合政策科学研究科との連携教育システムに位置づけ、優れた才能を一層伸長できると期待できる学生を早期に総合政策科学研究科へ進学させる制度として運用するものとする。

(早期卒業の要件)

第 3 条 早期卒業を希望し、その認定を受けることができる者は、次に掲げるすべての要件を満たしていなければならない。

- (1) 3 年次終了時において、卒業に必要な所定の授業科目の単位をすべて修得していること。
- (2) 前号の卒業に必要な修得単位に対する成績評価の総合平均点（以下「GPA」という。）が 3.0 以上であること。
- (3) 本学総合政策科学研究科の入学試験を受験し、合格した者。
- (4) 所属する演習担当教員からの推薦状がある者。

(早期卒業希望登録、早期卒業候補者の決定および指導)

第 4 条 早期卒業を希望する者は、別に定める要領ならびに期日までに、早期卒業希望登録を行わなければならない。

2 早期卒業希望登録を行った者が、2 年次終了時において、次に掲げる要件を満たす場合、当該登録を行った者を早期卒業候補者とする。

卒業に必要な所定の授業科目の修得単位数に算入可能な単位として、80 単位以上を修得し、かつ、当該修得単位数に対する GPA が 3.0 以上であること。

3 本条第 1 項の登録を行おうとする者は、保証人の早期卒業同意書を政策学部長に届け出なければならない。

4 本条第 1 項の登録を行った者は、登録後、所属する演習担当教員に学業の進捗状況を随時報告し、適切な履修指導を受けなければならない。

5 早期卒業候補者であって、第 3 条の早期卒業要件を満たす見込みの者は、本学総合政策科学研究科の入学試験を受験しなければならない。

(早期卒業登録の対象者)

第 5 条 転入、編入、転学部、再入学、および入学後に休学した者は、早期卒業の希望登録を認めない。

(早期卒業希望登録の取消し)

第 6 条 早期卒業希望登録の取消しは、原則として認めない。

(早期卒業の時期)

第 7 条 早期卒業の時期は 3 年次の 3 月とする。

(内規の改廃)

この細則は、2008 年 4 月 1 日から施行し、2008 年度入学者から適用する。

交通機関の不通と暴風警報・特別警報発表に伴う 授業・試験の実施について（司法研究科以外）

交通機関が不通の場合および暴風警報、特別警報が発表された場合、授業ならびに試験の実施については、以下の措置をとります。

I. 交通機関の不通（原因の如何を問わず）の場合

- ・以下のいずれかに該当する交通機関の不通が発生した場合、発生時の次の講時からその日の授業・試験の一部あるいは全部についてその実施を中止します。
- ・その後の授業・試験の開始等措置は、以下の表のとおり、開通時刻により開始講時を決定します。（早朝からの不通が6時30分までに開通した場合は、平常通り授業を実施します。）
- ・該当交通機関での事故等による一時的な運転見合わせの際には、平常通り授業・試験を実施しますので、ご注意ください。

1. 対象となる交通機関

[今出川校地]

- イ. 京都市営バスと地下鉄が同時に全面不通の場合
- ロ. 阪急電車（京都河原町～大阪梅田間）、京阪電車（出町柳～淀屋橋間）、近鉄電車（京都～大和西大寺間、大和西大寺～大阪難波間）、JR（神戸～米原間）のうち、2以上の交通機関が同時に不通（全面または部分を問わず）の場合

[京田辺校地]

- イ. 京都市営バスと地下鉄が同時に全面不通の場合
- ロ. 阪急電車（京都河原町～大阪梅田間）、京阪電車（出町柳～淀屋橋間）、近鉄電車（京都～大和西大寺間、大和西大寺～大阪難波間）、JR（神戸～米原間、木津～京橋間）のうち、2以上の交通機関が同時に不通（全面または部分を問わず）の場合
- ハ. 近鉄電車（京都～大和西大寺間）が全面不通の場合

2. 交通機関開通時刻と授業・試験開始講時

開通時刻	授業・試験開始講時
6時30分までに開通	1 講時から実施
6時31分から10時30分までに開通	3 講時から実施
10時31分から15時30分までに開通	6 講時から実施
15時31分以後に開通	全講時休講

II. 暴風警報あるいは特別警報発表の場合

- ・以下の区域において暴風警報あるいはなんらかの特別警報が発表された場合、発表時の次の講時からその日の授業・試験の実施を中止します。
- ・ただし、発表された時点で、すでに実施中あるいは開始直前の授業・試験については、警報の緊急性等を考慮の上で、大学がその中止を判断します。
- ・特別警報が発表された場合、該当地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。警報発表地域にいる学生は、各自ただちに命を守る行動をとってください。特別警報の種類は問いません。ただし、特別警報発表時に大学構内にいる学生は、大学の指示に従って行動してください。また自宅や通学中の学生で特別警報が発表された地域にいる場合は、自身の判断により、命を守るために最善と思われる行動をとってください。
- ・警報解除の後、危険が回避されたことが確認された場合には、以下の表のとおり、警報解除時刻により授業開始講時を決定します。それ以外の場合、状況判断の上、別途指示します。（早朝からの警報が6時30分までに解除となった場合は、平常通りの授業を実施します。）

I. 警報発表対象地域

- ・予報一次細分区域における
京都府南部、大阪府
- ・予報二次細分区域における
京都・亀岡、南丹・京丹波、山城中部、山城南部、大阪市、北大阪、東部大阪、南河内、泉州

■警報・注意報が市町村を対象区域として発表される※ようになっていることから、以下の表に示す市町村のいずれかに警報が発表された場合は、該当の予報二次細分区域に警報が発表されたものとして、授業・試験の実施は中止します。

※テレビやラジオの放送では、これまでどおり「市町村をまとめた地域の名称」で発表される場合があります。

京都府南部

予報二次細分区域	市町村
京都・亀岡	京都市、亀岡市、向日市、長岡京市、大山崎町
南丹・京丹波	南丹市、京丹波町
山城中部	宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、宇治田原町
山城南部	木津川市、笠置町、和束町、精華町、南山城村

大阪府

予報二次細分区域	市町村
大阪市	大阪市
北大阪	豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町
東部大阪	守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四条畷市、交野市
南河内	富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村
泉州	堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、高石市、泉南市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町

2. 警報解除時刻と授業・試験開始講時

警報が解除される時間帯によって、以下のとおり授業・試験を実施します。

警報解除時刻	授業・試験開始講時
6時30分までに解除	1 講時から実施する。
9時30分までに解除	1・2 講時は実施しない。3 講時から実施する。
14時30分までに解除	1～5 講時は実施しない。6 講時から実施する。
14時31分時点で警報が発表中	全講時実施しない。

Ⅲ. I、Ⅱにかかわらず、授業・試験を行うことが困難あるいは危険であると学長が判断した場合、休講・中止とすることがあります。

Ⅳ. 試験期間中にこの措置が適用された場合、当該試験の実施に関しては、必要に応じて大学 HP、DUET あるいは学内掲示板等を利用して案内します。

Ⅴ. 特別警報、暴風警報等の発表時には、必要に応じ、大学 HP、DUET あるいは学内掲示板等を利用して、大学から学生に対して連絡を行います。

大学 HP、DUET 等を確認するようご注意ください。

以上

